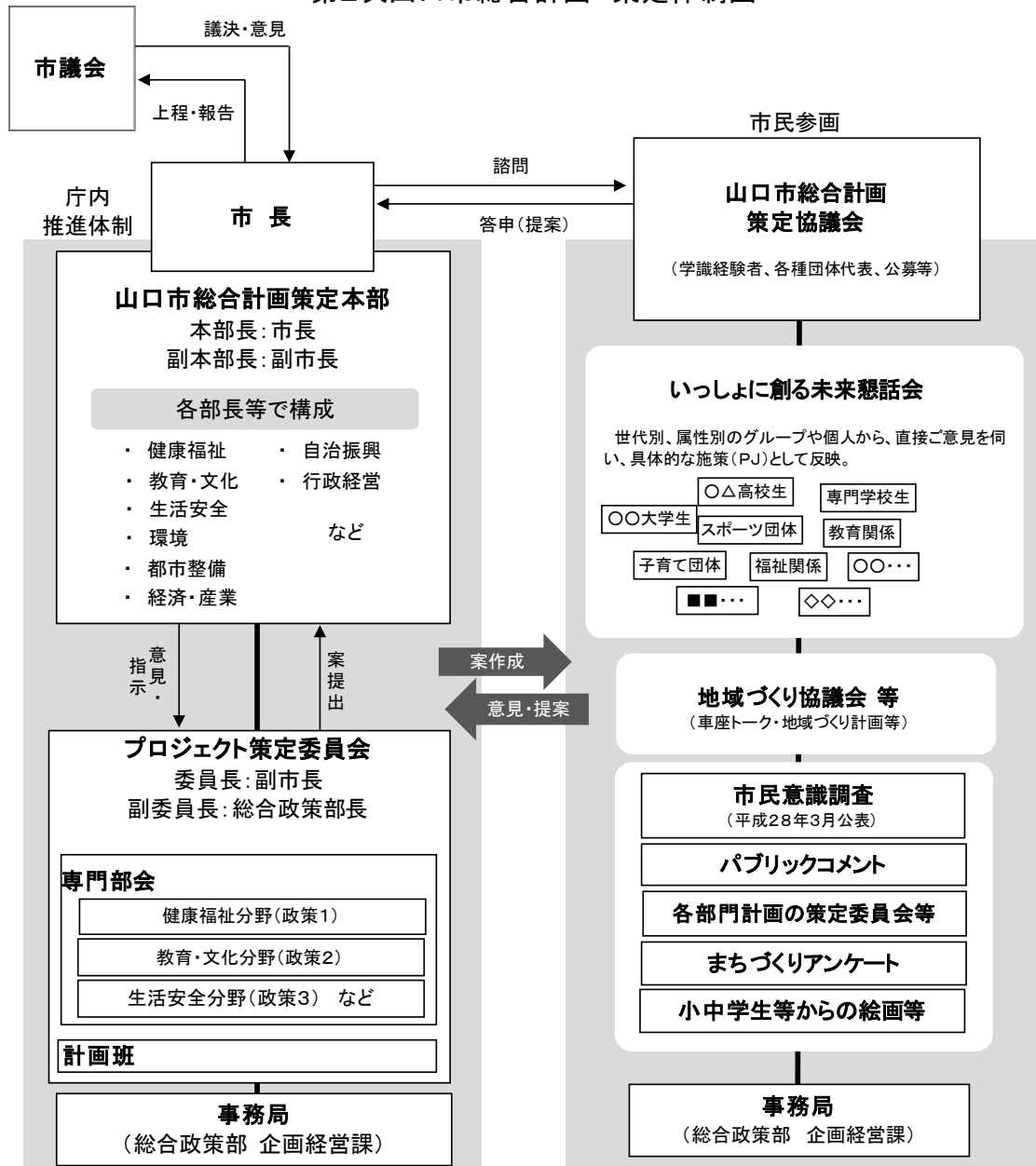


資料編

1. 策定体制	1
2. 策定経過	2
2-1 これまでの経過	
2-2 山口市総合計画策定本部	
2-3 山口市総合計画プロジェクト策定委員会	
2-4 山口市総合計画策定協議会	
・諮問とその答申	
・委員名簿	
・総合計画策定協議概要	
2-5 いっしょに創る未来懇話会	
2-6 総合計画策定に案する山口市議会一般質問	
3. 「大好きなまち山口」絵画コンクール	78
4. 市民意識調査結果概要	85
5. パブリックコメント	94
6. 参考資料	101
7. 用語集	101

1. 策定体制

第2次山口市総合計画 策定体制図



2. 策定経緯

2-1 これまでの経緯

年	月	市民	市・市議会
27年度	9月	市民意識調査	
28年度	4月	総合計画策定協議会公募委員募集	
	5月		第1回山口市総合計画策定本部会議(23日)
	6月	第1回山口市総合計画策定協議会(3日) いっしょに創る未来懇話会(1回)	平成28年山口市議会第2回定例会
	7月	いっしょに創る未来懇話会(1回)	
	8月	いっしょに創る未来懇話会(2回) 第2回山口市総合計画策定協議会(19日)	プロジェクト策定委員会キックオフ会議(10日) 第2回山口市総合計画策定本部会議(8日)
	9月	いっしょに創る未来懇話会(8回)	平成28年山口市議会第4回定例会
	10月	いっしょに創る未来懇話会(4回)	第3回山口市総合計画策定本部会議(31日)
	11月	第3回山口市総合計画策定協議会(10日) いっしょに創る未来懇話会(2回)	プロジェクト策定委員会計画班情報交換会(22日)
	12月	いっしょに創る未来懇話会(7回)	平成28年山口市議会第6回定例会
	1月	いっしょに創る未来懇話会(5回)	
	2月	第4回山口市総合計画策定協議会(16日) いっしょに創る未来懇話会(6回)	第4回山口市総合計画策定本部会議(6日) 平成29年山口市議会第1回定例会
	3月	いっしょに創る未来懇話会(4回)	プロジェクト策定委員会中間報告(13日)
29年度	5月	第5回山口市総合計画策定協議会(26日)	第5回山口市総合計画策定本部会議(22日)
	6月		平成29年山口市議会第2回定例会
	7月	いっしょに創る未来懇話会(2回)	第6回山口市総合計画策定本部会議(3日)
	9月		平成29年山口市議会第3回定例会
	10月	第6回山口市総合計画策定協議会(18日)	第7回山口市総合計画策定本部会議(10日)

29年度	11月	第二次山口市総合計画(案)に対する パブリック・コメント実施	
	1月	第7回山口市総合計画策定協議会(31日)	第8回山口市総合計画策定本部会議(22日)

2-2 山口市総合計画策定本部

本部員

市	長
副	市 長
教	育 長
上	下 水 道 事 業 管 理 者
総	務 部 長
総	合 政 策 部 長
ふ	る さ と 創 生 部 長
地	域 生 活 部 長
環	境 部 長
健	康 福 祉 部 長
経	済 産 業 部 長
都	市 政 策 部 長
都	市 建 設 部 長
上	下 水 道 局 長
消	防 本 部 消 防 長
教	育 部 長
北	部 振 興 局 長
南	部 振 興 局 長

監	査 委 員 事 務 局 長
農	業 委 員 会 事 務 局 長
会	計 管 理 者
山	口 総 合 支 所 長
徳	地 総 合 支 所 長
阿	東 総 合 支 所 長
小	郡 総 合 支 所 長
秋	穂 総 合 支 所 長
阿	知 須 総 合 支 所 長
参	与
防	災 統 括 監
総	務 部 次 長
総	合 政 策 部 次 長
ふ	る さ と 創 生 部 次 長
地	域 生 活 部 次 長

2-2 山口市総合計画プロジェクト策定委員会

専門部会員名簿

健康福祉専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	健康福祉部	次長	中川 孝
2	健康福祉部	補佐	石川 映子

教育・文化専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	ふるさと創生部	次長	増田 肇
2	地域生活部(H28)	次長	磯部 素男
	地域生活部(H29)	次長	宮崎 高行
3	教育委員会(H28)	次長	末貞 収一
	教育委員会(H29)	次長	磯部 素男
4	ふるさと創生部	補佐	中村 定博
5	ふるさと創生部	副主幹	後藤 大介
6	地域生活部	補佐	山田 一夫
7	教育委員会	補佐	石川 暁男

生活安全専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	総務部(H28)	次長	宮崎 高行
	総務部(H29)	次長	村田 尚士
2	地域生活部(H28)	次長	磯部 素男
	地域生活部(H29)	次長	宮崎 高行
3	消防本部(総務担当)	兼次長	田中 功夫
4	総務部	補佐	松尾 彰
5	地域生活部	補佐	山田 一夫
6	消防本部	補佐	石川 直志

環境専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	環境部	次長	塩見 富士雄
2	上下水道局	次長	藤村 克彦
3	環境部	補佐	瀧本 英正
4	上下水道局(H28)	補佐	岡村 慎一
	上下水道局(H29)	補佐	杉田 則夫

都市整備専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	都市政策部	次長	坂本 公昭
2	都市建設部	次長	荒瀬 秀治
3	都市政策部	補佐	藤原 健司
4	都市建設部	補佐	高村 永悟

経済産業専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	経済産業部(H28)	次長	村田 尚士
	経済産業部(H29)	次長	飯田 学
2	ふるさと創生部	次長	増田 肇
3	経済産業部	補佐	吉賀 彰子
4	ふるさと創生部	補佐	中村 定博
5	ふるさと創生部	副主幹	後藤 大介

自治振興専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	地域生活部(H28)	次長	磯部 素男
	地域生活部(H29)	次長	宮崎 高行
2	地域生活部	補佐	山田 一夫

行政経営専門部会			
NO	所 属	職 位	氏 名
1	総合政策部	次長	田中 和人
2	総務部(H28)	次長	宮崎 高行
	総務部(H29)	次長	村田 尚士
3	総合政策部	補佐	中村 武司
4	総務部	補佐	松尾 彰

計画班

【計画班①】住民自治・日常生活機能の確立			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	協働推進課	課長	山崎 里恵
1	協働推進課	副主幹	田中 新治
2	阿東地域交流センター	主幹	板垣 正
3	定住促進課	主幹	杉本 一平
4	高齢福祉課	主幹	末永 しのぶ
5	高齢福祉課	副主幹	岡谷 広子
6	交通政策課	副主幹	田邊 幸治

【計画班②】くらしの安心安全			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	防災危機管理課	課長	中村 千里
1	防災危機管理課	主幹	岸本 剛志
2	総合浸水対策室	主幹	大石 正憲
3	生活安全課	主幹	浅川 清治
4	消防本部	補佐	石川 直志
5	消防総務課	主任	三隅 祐一
6	環境政策課	主幹	竹内 遼

【計画班③】交流創出都市ブランドの形成			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	観光交流課	課長	岡村 萬利雄
1	創生推進課	副主幹	後藤 大介
2	観光交流課	主幹	白澤 靖子
3	スポーツ交流課(H28) 市議会事務局(H29)	主幹	金田 貴之
4	スポーツ交流課(H29)	主幹	赤野 誠
5	文化交流課	副主幹	横沼 美穂
6	広報広聴課	主幹	時安 洋
7	ふるさと産業振興課	主幹	金子 忠正
8	文化財保護課	副主幹	北島 大輔

【計画班④】雇用の場づくり			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	ふるさと産業振興課(H28)	課長	飯田 学
	ふるさと産業振興課(H29)	課長	眞砂 義明
1	ふるさと産業振興課(H28)	主幹	赤野 誠
	ふるさと産業振興課(H29)	主幹	久保 明宏
2	産業立地推進室	主幹	中川 修
3	産業立地推進室(H28)	主査	藤村 俊一
	産業立地推進室(H29)	主査	久保 謙一郎
4	農林政策課(H28)	主幹	藤井 幸夫
	徳地総合サービス課(H29)		
5	農林政策課(H29)	主幹	安村 崇
6	農林政策課(H28)	主幹	木原 園恵
	徳地農林振興事務所(H29)		
7	水産港湾課	主幹	原田 昌巳
8	農林政策課	主幹	伊藤 辰朗

【計画班⑤】山口・小郡都市核づくり			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	都市計画課	課長	清水 弘美
1	都市計画課	主幹	小野 智紀
2	中心市街地活性化推進室	主幹	中村 史朗
3	都市整備課	主幹	田中 秀実
4	創生推進課(H28)	主幹	金子 隆明
	創生推進課(H29)	課長	
5	新山口駅ターミナルパーク整備課	主幹	小林 由幸
6	ふるさと産業振興課(H28)	副主幹	来栖 佳明
	広報広聴課(H29)		
7	ふるさと産業振興課	副主幹	渡邊 辰行
8	文化交流課	副主幹	吉松 弘樹
9	観光交流課	主幹	藤村 伸一

【計画班⑥】都市空間の質向上による 居住機能の誘導			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	道路河川建設課	課長	八木 正之
1	建築課	副参事	山本 聖史
2	都市整備課	副主幹	浮田 豊裕
3	都市計画課	副主幹	春野 義則
4	管財課(H28)	主幹	田村 博明
	農林政策課(H29)		
5	管財課(H29)	副主幹	高橋 大介
6	生活安全課	副主幹	鈴木 伸彦
7	中心市街地活性化推進室	主査	三戸 貴宏
8	ふるさと産業振興課	副主幹	田邊 京子
9	環境政策課	主幹	福谷 拓則

【計画班⑦】子育て・教育			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	こども家庭課	課長	今井 宏二
1	こども家庭課 (家庭児童相談室)	室長	藤本 緑
2	こども家庭課	主幹	植村 亜星
3	保険年金課	主幹	秋本 浩生
4	健康増進課	主幹	重富 基至
5	教育総務課	主幹	石津 美香
6	学校教育課(H28)	主幹	杉田 則夫
	上下水道局(H29)	補佐	
7	学校教育課(H29)	主幹	塩見 道子
8	社会教育課	主幹	天野 原

【計画班⑧】健康都市づくり			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	健康増進課(H28)	課長	徳本 弘幸
	健康増進課(H29)	課長	河村 一郎
1	健康増進課	主幹	末岡 昭子
2	社会課	副主幹	嶋村 奈緒美
3	観光交流課	主査	町田 貢
	教育総務課(H29)		
4	観光交流課(H29)	副主幹	河村 謙吾
5	高齢福祉課	副主幹	樋元 美帆
6	介護保険課	主幹	渡辺 千絵
7	スポーツ交流課(H28)	主幹	田村 卓司
8	スポーツ交流課(H29)	副主幹	池田 恭子
9	保険年金課	主幹	植村 昇

【計画班⑨】若者や子育て世代の転入増加			
NO	所 属	職 位	氏 名
班長	社会課	主査	國本 高明
1	情報管理課	主査	谷野 昇平
2	大歳地域交流センター	主事	山本 悟
3	高齢福祉課	主任技師	近藤 珠美
4	道路河川管理課	主任主事	井上 勇樹
5	白石地域交流センター	主事	里 和香奈
6	資産税課	主事	山根 寧文
7	道路河川建築課	技師	山本 直樹
8	定住促進課	主事	大谷 友香
H28年度政策研究グループとして実施			

2-4. 山口市総合計画策定協議会

・諮問とその答申

<市長から総合計画策定協議会への諮問>

企第30号
平成28年6月3日

山口市総合計画策定協議会
会長 田中 和広 様

山口市長 渡辺 純忠

第二次山口市総合計画の策定について（諮問）

第二次山口市総合計画を策定するにあたり、山口市総合計画策定協議会設置要綱第2条の規定に基づき、貴協議会に多角的、専門的見地から御意見をいただきたく、諮問いたします。

<総合計画策定協議会から市長への答申>

・委員名簿

(敬称略)

	団体名	氏名
会長	山口大学 副学長	たなか かずひろ 田中 和広
副会長	山口県立大学 副学長	かとう けいこ 加登田 恵子
地域づくり	山口市地域おこし協力隊	ふなせ はるか 船瀬 春香
	山口市自治会連合会 会長	しみず つとむ 清水 力
環境	やまぐちエコ倶楽部	とよた まさこ 豊田 政子
健康福祉	山口学芸大学 教授	もとひろ あけみ 本 廣 明美
	山口市社会福祉協議会 会長	はら まさかつ 原 昌 克
産業・雇用	山口大学大学教育機構学生支援センター 教授	ひらお もとひこ 平 尾 元彦
	山口商工会議所 会頭(前任)	さいとう むねふさ 齋 藤 宗房
	山口商工会議所 会頭(後任)	かわの やすし 河 野 康志
	山口中央農業協同組合 代表理事組合長	やました のぶお 山下 信雄
	山口阿東森林組合 代表理事組合長(前任)	やまもと ひでお 山本 秀生
	山口阿東森林組合 代表理事組合長(後任)	かねこ てるさと 金子 輝郷
	株式会社山口銀行 専務取締役 山口支店長	はらだ つとむ 原 田 勉
都市基盤	山口大学大学院創成科学研究科 教授	いかるが しんじ 鵜 心 治
	西日本旅客鉄道株式会社 山口支店長	あさい まさやす 浅井 昌容
	山口大学大学院 准教授	たきもと こういち 瀧本 浩一
	一般社団法人山口県宅建協会山口支部 山口支部長	にしむら しゅんじ 西村 俊爾
シティセールス	山口文化協会 会長	まつばら きよし 松 原 清
	山口観光コンベンション協会 専務理事	すずき かつひこ 鈴木 克彦
	山口市体育協会会長	おおば たつとし 大庭 達敏
	株式会社レノファ山口 代表取締役社長	かわむら たかし 河村 孝
	株式会社サンデー山口 代表取締役社長	かいさく まさと 開 作 真人
行政	山口県総合企画部 山口県民局長(前任)	かねこ たけし 金子 大
	山口県総合企画部 山口県民局長(後任)	にしだ ひでゆき 西田 秀行
市民公募委員	一般公募	なかむら しょういち 中村 省一
	一般公募	ながやす りえ 長安 里枝

・総合計画策定協議会概要<抜粋>

1) 山口市総合計画における施策別の振り返りと検討の方向性

(1) 健康福祉分野

- ・保育士不足の中ではあるが、人材確保といった量的拡充に加え、人材育成などの保育士の質についても取組みを検討されること。
- ・山口県全体の健康診断等の検診率が全国的にみても大変低い水準にあり、検診率アップに向けた取組みの強化・充実が必要である。
- ・福祉施設、介護施設の設置も考慮し、障がい者や高齢者を支援していく新しい地域包括ケアシステムの構築が必要である。
- ・市域が広域化していることで、本市は複数の医療圏を有している。市中心部を中心とした二次救急医療体制の維持に加え、周辺の農山漁村エリアでの医師の確保や、近隣市の医師会との連携も必要である。
- ・山口の温泉や自然など、多様な地域資源を活用したレジャーや余暇の過ごし方を踏まえ、健康都市やまぐちの実現に向けた施策の展開を検討されること。
- ・保育園整備については、若い世代が転入超過の傾向にある地域周辺で実施を検討されること。<以上、第2回山口市総合計画策定協議会>

(2) 教育・文化分野

- ・日本一本を読むまちづくりを実現する上で、学校図書館と市立図書館の活用に加え、市民の読書環境の充実について努めること。
 - ・コミュニティスクールの実施について、学校と地域が一体となって子ども達を育ていけるよう、着実な施策展開に努められること。
 - ・県立美術館をはじめ、県立博物館や高等教育機関などと連携して、市内で開催される文化行事や教育講座について、市が一体的に情報発信を行い、市民参加の機会創出に努めること。
 - ・市内初となるプロスポーツチーム「レノファ山口FC」との連携による交流人口の拡大や地域経済の活性化など、まちづくりの視点を施策に反映されること。
 - ・ペット医療や留学生のケアも重要と考えており、「ダイバシティやまぐち」といったキャッチフレーズのもと、施策に反映されること。
 - ・子育て支援、観光ニーズを踏まえ、山口産木材を活用した木質のおもちゃ広場の整備を検討されること。
- <以上、第2回山口市総合計画策定協議会>

(3) 生活安全分野

- ・水防法の改正により、「新たな浸水想定基準」に対する対策が必要となる。防災ガイドブックの改訂をはじめ、浸水対策の面では、ハード面・ソフト面の内容の再検討が必要である。
 - ・消防団は、水防法に地域の自主防災組織の指導的役割として位置づけられている。消防団と地域が一体となった地域防災担い手の育成が、計画に位置づけられる必要がある。
 - ・災害に対応する体制整備に関して、災害時における地域交流センターの役割を明確に記載すること。
 - ・安心・安全な暮らしを推進する施策のうち、防犯対策における成果指標では、犯罪の認知件数推移を指標の一つとして設定する必要がある。
 - ・他県で発生した大地震では、地震発生時の建物の倒壊による犠牲者が多数である。本市においても、直下型地震は過去に発生しており、地震発生後の対策のみならず、直下型地震への備えに軸足をおいた施策が講じられる必要がある。耐震は地震防災の根幹である。
 - ・総合計画では具体的な災害事案ごとに、事前予防策を位置づけることに努められたい。
 - ・行政任せにせず、自ら災害時の非常持出品の準備をする必要がある。
 - ・観光客についても要配慮者として計画を立てる必要がある。
 - ・安心と安全は、基本的に概念が違うという認識が必要である。
 - ・小中学校の避難所開設が迅速に実施できるよう、しっかり行政と学校の連携を図ること。
 - ・救急車の利用について指導を行う必要がある。
- <以上、第3回山口市総合計画策定協議会>

(4) 環境分野

- ・市民へのごみ分別方法の周知に関して、分別のしおりを配布するだけに留まらず、出前講座などの啓発が引き続き必要である。
- ・小学4年生をはじめとする環境教育の推進により、20代から40代保護者とその子ども達は、ゴミ分別の意識が高い。
一方で、高齢者にとっては、分別が複雑化している問題がある。
今後、高齢社会や核家族化が進展していく中、ゴミ出しや分別が困難な高齢者への対応が必要である。
- ・ごみ排出量における事務系ゴミの割合が高い。削減に向けた施策の展開についても検討が必要である。
- ・環境保全や環境美化等に関する意識啓発のため、榎野川で実施するク

リーンキャンペーンを佐波川、阿武川水系に拡充することに努められたい。〈以上、第3回山口市総合計画策定協議会〉

(5) 都市整備分野

- ・ 山口市は、線引きを実施していないため、郊外スプロールが進む。今後は、立地適正化計画との整合性も図りながら、郊外スプロールの抑制や、コンパクトなまちづくりについて、明記していく必要がある。
- ・ 山口・小郡両都市核づくりに関し、それぞれの都市核の役割について明記する必要がある。
- ・ 公共交通の維持やサービス水準について、将来ビジョンを明記する必要がある。
- ・ 公共施設、公共スペースといった公共空間について、地域や民間開放することで、にぎわいの創出や新たな交流を生み、都市空間の質を向上させる施策の検討に努めること。
- ・ 細部は、部門計画に委ねるものの将来ビジョンを総合計画で位置づける必要がある。

〈以上、第3回山口市総合計画策定協議会〉

(6) 経済・産業分野

- ・ 湯田温泉を中心に外国人観光客が増加しており、宿泊客室数が不足している。こうしたキャパシティ不足を補うため、中山間地域での民泊受入なども今後、検討していく必要がある。
- ・ 周辺自治体との広域的な観光地経営の視点に立った、行政やコンベンション協会など多様な主体との連携による組織体制（DMO）の構築について検討する必要がある。
また、交流人口の拡大に向けて、連携中枢都市圏を形成する市町において、観光資源を共有し、つなぐことで、圏域内を周遊する新たな取り組みが必要である。
- ・ 高齢化が進展する農業分野において、生産者の所得向上に向けた取り組みの一つとして、6次産業化の促進や農商工連携の促進が必要である。
- ・ 過去5年間における市内の人口移動では、小郡都市核へ一旦転入し、そこから山口都市核へ移り住む傾向にあることから産業の集積だけでは、人口の増加につながらない。生涯住み続けたい場所は、文化であり生活の質を高める環境がある場所であり、山口都市核と小郡都市核のそれぞれの特性を活かしたまちづくりを施策に反映することが必要である。

- ・観光誘客につながる物産のPRは重要である。
 - ・女性の活躍を進めるためにも、夜間保育の環境整備が必要である。
 - ・小中学校において、地元産食材を学校給食に利活用促進されること。
 - ・高齢化の進展を鑑み、森林境界明確化事業の促進を加速する必要がある
 - ・湯田温泉の魅力創造のためには、市民が日常的に温泉を利用し、温泉に愛着をもっていただく、まちづくりを進めていく必要がある。
 - ・宿泊客数だけでなく、市民が湯田温泉に入浴する年間回数も目標数値として検討されること。
 - ・雇用政策について、県と市で明確に役割分担をし、効果的な事業展開を図られること。
 - ・人口増加は、産業集積だけに留まるものではなく、生活の質を高める環境の整備が重要。
- ＜以上、第4回山口市総合計画策定協議会＞

(7) 自治振興分野

- ・若者や高齢者の交流が活発化できるよう、交通手段のシェア化など新たな方策を検討し、都市部と周辺地域のアクセス性を高めることに努めること。
- ・多様な情報伝達手段があふれている中で、効果的な情報発信のあり方について検討する必要がある。
- ・人口減少が進む地域における小さな拠点づくりをはじめとした、日常生活機能などの集積や住民サービスの利便性の向上について努めること。
- ・小さな拠点づくりは、行政サービス、医療、日常生活機能をセットにした取組みとすること。＜以上、第4回山口市総合計画策定協議会＞
- ・公共交通が充実した首都圏からの移住者の増加を目指すなか、先駆的に、「高齢者が乗るマイカーは全て自動運転車」となるまちづくりを検討してはどうか。

(8) 行政経営分野

- ・「まち・ひと・しごと総合戦略」において、若者が働きやすい環境、子育てしやすい環境の整備について確保することに努めること。そのためにも今後の働き方改革の方向性について、総合計画で具体化していくことも検討が必要。
- ・驚流狂言をはじめ、山口にしかない貴重な文化や地域資源について、次なる10年では、具体的なビジョンをもって磨き上げていくことが

必要。

- ・連携中枢都市圏の形成について、人口減少を食い止めるには、いかに交流人口を増加させ、地域の活性化につなげていくかが必要。
<以上、第4回山口市総合計画策定協議会>

2) 山口市総合計画（骨子案）について

(1) 将来都市像について「豊かな暮らしと 交流と創造のまち山口」

～これが私の故里だ～

- ・「ボリュームからクオリティ」というように、これまで量ばかりを求めていたが、これからは、ものの本質を見極めていくことも必要。
- ・農地の活用は、豊かな暮らしに加え心の豊かさにもつながると考える。明治維新150年などを契機に遊休農地の美化運動により、こうした将来都市像の実現に向けた協力もできると考える。
- ・「これが私の故里だ」これは、中原中也の「帰郷」の詩だと思うが、詩で使用される意味と、ここで使用する意味は少しニュアンスが違うのではないか。普通に「故郷」を使用されても良いのではないか。
<以上、第5回山口市総合計画策定協議会>

- ・中原中也「ふるさと」の解釈について、誇らしげにふるさとを語っているとは思えません。懐疑的に述べられているように思います。また、「豊かな暮らしと」の「と」は必要ないのではないか。
- ・将来都市像のフレーズについて、①「豊かな暮らし」②「交流」③「創造」の三つの視点から解説されている。
さらに、①「創造」は、「共に創る」と「シビックプライド」の二点に分けて解説されている。シビックプライドは、まちづくりの到達目標的なものと考え。そのため、シビックプライドは、「創造」の項目で解説されるのではなく、もっと総括的な箇所での解説されてはどうか。
<以上、意見書にて>

(2) 数値によるまちの姿について（人口、交流人口、ふるさと指標）

- ・指標の設定、見せ方がポイントである。例えば、山口市において図書館があるとか、環境整備だけでなく、図書館の利用率であるとか、YCAMの中で最先端の情報やアートに触れた人数など、「こらが私の故里だ」と言えるような指標の設定をお願いしたい。
- ・交流人口の指標は、実は測定する人にしか理解できていない、概念の曖昧な指標である。交流人口の指標を掲載するのであれば、測定の考え方（測定方法）についてきちんと定義する必要がある。

- ・「数値によるまちの姿」で3つの指標を設定されることは良いと思う。特にふるさと指標は、民間で言う顧客満足度であり、市民満足度としての観点からアンケートをとっていただきたい。
- ・交流人口で言えば、昔は観光であったが、現在は、スポーツ、文化、サークル活動など観光だけに留まらず、多くの交流機会を通じて山口市に人が訪れる。こうした意味で諸施策を展開していただきたい。
- ・ふるさと指標を測っていくことは素晴らしい。指標の取り方は大切で、例えば、市立図書館で本を借りた人数ではなく、1年間にどれだけ本を読んでいるのかといった具体的な数字を取ることが重要である。
 <以上、第5回山口市総合計画策定協議会>
- ・市の人口の約半数が、都市拠点に集中する中で、今後10年間に定住人口19万人を「2つの都市拠点と21の小さな拠点」にどのように定住させていくのか。まずは、行政福祉サービス、医療サービス、教育のほか、各拠点を結ぶネットワークアクセスの構築など、各地域拠点の具体的な計画を立て、市民が安心して生活できる体制を構築する「定住環境」を整えることが重要である。このような体制が構築した上で、はじめて交流人口600万人の受入ができると思う。
 <以上、意見書にて>

(3) 目指すまちの姿（政策グループ）

- ・5つの政策グループは大変良く考えられている。山口市はこれだと思われるものを自分なりに考えたとき、「子どもが一番育てやすいまち」という部分を出せたら良い。
- ・健康福祉分野において、医師会と連携し在宅医療の充実に努められたい。
 <以上、第5回山口市総合計画策定協議会>

(4) 目指すべき都市構造

- ・人口が市の一部に集中しているのは、市民のライフスタイルやニーズを表している。そうした中で、都市拠点、地域拠点、生活拠点のそれぞれの役割や機能を持たせて、まちづくりを進めることは良い。
- ・地域の実情に応じて具体的な指標を設定し、基本計画の中で取り組んでいただきたい。
 <以上、第5回山口市総合計画策定協議会>

(5) その他

- ・市民が湯田温泉を利用することになれば、湯田温泉の良いところも広まるのではないかと。
- ・様々な業種において人材不足が言われている。女性や高齢者に働いていただく環境づくりも重要である。
- ・山口市の人口推移のグラフに加え、観光客の滞留時間や、交流人口の拡大を示す表があっても良いのではないかと。
- ・プロスポーツ「レノファ山口 FC」を活用し、交流人口の拡大に加え、山口の情報発信をすることも可能である。

<以上、第5回山口市総合計画策定協議会>

3) 山口市総合計画（素案）について

(1) 基本構想について

- ・「これが私のふるさとだ」の「ふるさと」が平仮名表記となり、共感が持てる。
- ・21地域の特長を生かした地域づくりを進める方向性が基本構想に位置づけられており良い。
- ・人口シミュレーションは、様々な事態に備えて、人口増減の予測幅がある程度の余裕をもって、柔軟な対応ができるようにされたい。
- ・地域拠点構築で、総合支所の機能強化を盛り込まれたのは非常に良い。
- ・地域ごとにそれぞれ異なる特長を出したまちづくりを地域が考えることは大変重要。
- ・市民一人ひとりが当事者意識を持ち、自分たちのふるさとを我々がどう考えるか。温かくて、皆が帰ってこられるような、そういうふるさとを目指していく総合計画だと感じた。

<以上、第6回山口市総合計画策定協議会>

(2) 前期基本計画について

- ・新山口駅から山口線へのつながりが少ない。列車の増便に向けた施策の取組み等も必要がある。
- ・重点プロジェクトと施策の取組みについて、リンゴの木を使った表現は分かりやすい、ただ、プロジェクトの名称は統一的な表現方法に揃えていただきたい。
- ・プロジェクト3「教育・子育てなら山口」において、特別支援の取組みについても検討していただきたい。
- ・プロジェクト6「安全安心で美しい住環境」において、「美しい」よりも「快適」、「豊かな」の方が深い意味を持つのではないかと。

- 子育てから復職する女性について、有資格者の復職や管理職への登用など、女性の活躍できる環境づくりを進めていただきたい。
- 交流人口の増加に向けて、観光客のニーズを重視した「マーケットイン」の視点が重要である。
- 山口市の観光資源も点在しており、それらを周遊する仕組みや、それらを紹介するポータルサイトも必要である。こうした仕組みづくりの財源として、入湯税を利用することも検討されたい。
- 山口市は、地域の特長に応じた様々なスポーツが楽しめるところであり、地域資源を生かしたスポーツイベント等の交流ができればと考える。
- 高校卒業後に市内に若者を留めるには、サービス業の充実が有功であり、山口県央連携都市圏域の取組みの中でも検討されたい。
- **KPI** のひとつに「市内の温泉を利用した市民の割合」があるが、非常に期待している。市民が年間に5～6回は利用するようになって欲しい。
- 避難所運営体制の充実とあるが、避難所そのものの数の充実も必要と考える。

<以上、第6回山口市総合計画策定協議会>

2-5 いっしょに創る未来懇話会

1) 目的

第二次総合計画（平成30年度～平成39年度）の策定に当たり、市民の多様な意見を把握し、計画策定の基礎資料とするため、また具体的な施策（プロジェクト）として反映するため、若者をはじめとした各世代別のグループや属性別の団体等から幅広く意見を伺う場として市民懇話会を開催した。

2) 実施期間

平成28年6月15日～平成29年7月6日

3) 開催実績 全42回開催（参加者248名）

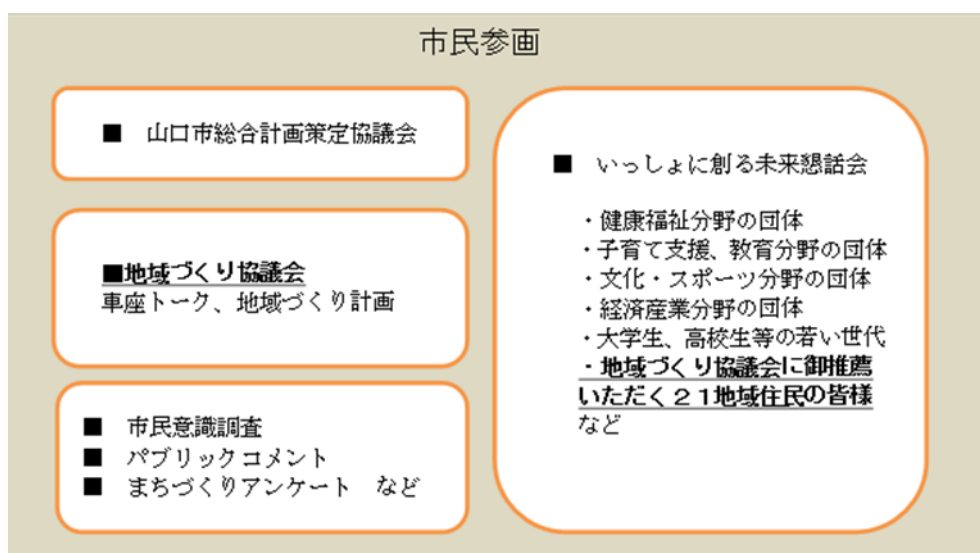
(1) 分野別開催 21回（参加者129名）

幅広い分野、世代への意見収集が出来るように団体等を選定して実施

- ・ 8政策34施策と関係の深い団体
- ・ 女性、高校生、大学生 等
- ・ 一般公募（北部地域・南部地域）2回

(2) 地域別開催 21地域（参加者119名）

市内21地域で、地域づくり活動に携わる個人の方へヒアリングを実施



(1) 分野別開催

■実施回数：実施回数：21回（団体等個別調整19回、一般公募2回）

■参加人数：129名

■参加対象：

- ・テーマ型の市民活動団体、関係機関等
- ・大学（市内3校）
- ・高校（市内6校・分校および山口県鴻城高等学校は除く）
- ・中学生（認定NPO法人こどもステーション山口の協力にて実施）
- ・障がい者 など

開催日	時間	場所	団体名	参加人数
平成28年7月13日	13:00～15:00	YCAM	NPO法人あっと	1
			やの舞台美術	1
			山口県デザイン協会	1
			えくらっちよる	1
			やまぐち県民活動支援センター	1
平成28年9月13日	13:30～15:30	香山公園観光案内所	山口市観光ボランティアガイドの会	3
平成28年9月20日	17:00～19:00	JAビル4階 会議室	JA山口中央	8
平成28年9月21日	18:30～20:30	大殿地域交流センター	山口県国際交流協会	1
			山口鷺流狂言保存会	1
			山口大学4年生	1
			認定NPO法人こどもステーション山口	1
平成28年9月30日	13:30～15:30	白石地域交流センター	やまぐちネットワークエコー	1
			国際交流ひらかわの風の会	2
			大内塗漆器振興協同組合	2
			ゆだもり	1
			おいでマルシェ実行委員会・(株)ミライエfarm	2
平成28年9月30日	18:30～20:30	白石地域交流センター	やまぐちエコ倶楽部	2
			NPO法人消費者ネットやまぐち	1
平成28年12月7日	16:00～18:00	山口高校	山口高校	6
平成28年12月13日	16:00～18:00	山口農業高校	山口農業高校	5
平成28年12月19日	16:30～18:30	大殿地域交流センター	中村女子高校	4
			野田学園高校	3
平成28年12月21日	16:00～18:00	西京高校	西京高校	8
平成28年12月22日	13:00～15:00	山口中央高校	山口中央高校	6
平成29年1月13日	10:00～12:00	大殿地域交流センター	一般公募	8
平成29年1月15日	10:00～12:00	小郡地域交流センター	一般公募	9
平成29年1月25日	10:00～12:00	ウッドムーンネットワーク	NPO法人山口ウッドムーンネットワーク(保護者)	6
平成29年1月28日	10:00～12:00	白石地域交流センター	大路ロビー	7
平成29年2月17日	14:00～16:00	白石地域交流センター	地域おこし協力隊	7
平成29年2月22日	10:00～12:00	山口学芸大学	山口学芸大学	6
平成29年2月22日	14:00～16:00	宮野地域交流センター	山口県立大学	3
平成29年2月24日	10:00～12:00	小郡地区社会福祉協議会	山口市障害者団体連合会	9
平成29年2月24日	18:30～20:00	白石地域交流センター	中学生(認定NPO法人こどもステーション山口)	5
平成29年3月10日	13:30～15:30	山口大学	山口大学	5

129名

■参加者属性

年代・性別

	男性	女性	合計
10代	21	18	39
20代	7	12	19
30代	8	6	14
40代	7	13	20
50代	1	4	5
60代	5	7	12
70代	6	2	8
80代	1	0	1
不明	2	9	11
合計	58	71	129

主な活動分野

分野	人数
保健医療	3
子育て	10
高齢者福祉	7
障がい者福祉	11
地域福祉	7
人権	3
男女共同参画	2
学校教育	13
青少年健全育成	0
文化振興	14
生涯学習	7
スポーツ	13
災害対策	2
消防・救急	0
交通安全	4
防犯	0
消費者保護	2
環境保護	6
観光	19
農林業	13
水産業	0
商工業	5
地域コミュニティ活動	27
市民活動	15

地域

地域名	人数
大 殿	13
白 石	5
湯 田	10
仁 保	2
小 鯖	1
大 内	11
宮 野	15
吉 敷	12
平 川	13
大 歳	4
陶	0
鑄銭司	1
名田島	0
秋穂二島	0
嘉 川	1
佐 山	2
小 郡	23
秋 穂	2
阿知須	3
徳 地	4
阿 東	1
市外	3
不明	3
合計	129

職業

職 業	人 数
会社員	3
公務員	5
パート・アルバイト	9
団体職員	21
自営業	10
会社役員	2
学生	49
その他	16
不明	14
合計	129

その他記述

- ・主婦 2
- ・大学職員 1
- ・地域おこし協力隊 7
- ・農業 1
- ・リタイア 3

■ワークショップ意見集計

意見カテゴリ	問 い			全 体
	残したい・誇りに思うものは？	課題・改善点は？	理想の次の10年の姿は？	
自然	91	8	13	112
食べもの	19	2	3	24
観光	57	21	32	110
観光_全般	43	17	29	89
観光_温泉	14	4	3	21
景色・景観	34	5	6	45
歴史	38	5	4	47
文化	16	10	16	42
施設	29	28	18	75
施設_全般	19	24	13	56
施設_公園	10	4	5	19
にぎわい	17	81	53	166
にぎわい_全般	4	61	32	97
にぎわい_商店街	5	11	6	22
にぎわい_イベント	8	9	15	32
にぎわい_レノファ	7	2	6	15
つながり・交流	26	34	61	121
つながり・交流_全般	5	19	38	62
つながり・交流_地域	21	15	23	59
安心・安全	7	24	11	42
暮らしやすさ	24	4	11	39
環境整備	3	10	0	13
交通	41	131	68	240
交通_全般	14	22	20	56
交通_道路・車	22	39	8	69
交通_公共交通	5	70	40	115
生活インフラ	3	12	6	21
医療・保障	3	9	7	19
教育	17	10	15	42
仕事・働き方	0	24	40	64
農業	2	10	7	19
若者・後継者	1	25	39	65
子ども・子育て	9	20	40	69
高齢者	4	21	47	72
障がい者	0	25	15	40
外国人・国際	4	5	8	17
人口	1	29	26	56
市民の意識	1	20	17	38
人柄・土地柄	57	22	6	85
発信力	0	39	39	78
魅力創出	5	27	38	70
行政の施策	3	9	11	23
その他	12	10	25	47

■ワークショップの様子

①7/13 (水) 13:00~15:00 混合【参加人数：6人】



「私の挑戦」

若い人と一緒に楽しめる街づくりに貢献します
私はもっと未来のことを考えて もっと今のことを知ります
山口市のことを、隅々まで知って、デザイナーとしてPRしていきたい！
山口市をもっと発信するためにオモシロイ事を仕掛けていきます！
山口市の広告塔に俺はなる！
山口市を愛する子どもたちを育てたい！

②9/13 (火) 13:30~15:30 山口市観光ボランティアガイドの会【参加人数：3人】



「私の挑戦」

障害者にやさしいまち
観光のまち山口のために頑張るぞ！！
地域が元気になる山口市に！！

③9/20 (火) 17:00~19:00 J A山口中央【参加人数：8人】



「私の挑戦」

子どもと遊ぶ HAPPY LIFE
山口市の文化や人を大切にします！
私は山口市の観光のために山口市をアピールします
若者にもやさしい街づくり
地域を愛し、人とのつながりを大切にします！！
みんなで創って みんなで楽しむ 新しい山口市にしよう！！
自分のように、心から山口市を愛する友達をたくさんつくります！！
歴史や観光地だけでなく 山口市民の目には見えない 人間的な素晴らしさを広めたいです

④9/21（水） 18:30～20:30 混合【参加人数：4人】



「私の挑戦」

日本人にも！外国人住民も！多様な違いを持つ人が住みやすいまち
 私は、山口市民のみなさんの思いをアウトプットできる山口市職員になります！！
 山口市の未来のための人づくりに貢献できる活動をしていきます！！
 子ども達が仲間といきいきと心豊かに育つ山口に

⑤9/30（金） 13:30～15:30 混合【参加人数：8人】



「私の挑戦」

私は、山口市のみんなの想いをつなげたい！！
 多文化共生の街づくり
 山口市の地域活性化のため頑張ります
 山口市から、未来の「食」をつくります！
 私は山口市の働く元気な女性になる！
 私は、山口市の地域のために力を出します。
 未来を創るために、会社を大きくします！
 私は未来の山口市の子どもたちのために 元気なまちをつくります！

⑥9/30（金） 18:30～20:30 混合【参加人数：3人】



「私の挑戦」

人と人をつなげたい
 みんなで継がる町 継がってる町を！
 私は未来の山口市のために 身体がうごく限り働きます

⑦12/7 (水) 16:00~18:00 山口高校【参加人数：6人】



「私の挑戦」

私は未来の山口市(嘉川)の人と人との交流のために 意識的に嘉川の行事へ参加します
 私は未来の魅力あふれる山口市のために 地域活動に積極的に参加します。
 人や市とのつながりを大切に
 私は未来の山口市の阿知須の活気のために しっかりあいさつします
 私は未来の山口市のために 「きれいな自然」を大切にします
 他人との関係強化のため 会う人全員にあいさつをします。

⑧12/13 (火) 16:00~18:00 山口農業高校【参加人数：5人】



「私の挑戦」

色々な交流を通して 人とのつながりを！
 私は未来の山口のために ちいきの人たちと交流を増やして活性化
 目指せ「けんせつ」の新しい風
 私は未来の山口市に暮らしている方々のために 看護師を目指します！！
 私は、未来の山口市にたくさんの人が訪れてもらえるように 山口市のいいところを伝えていきます！
 私は「食」で人の健康を支えていく

⑨12/19 (月) 16:30~18:30 中村女子高校、野田学園高校【参加人数：7人】



「私の挑戦」

私は市民の交通の足を確保するために JRに税金をつぎ込み 列車の本数を増やすことを提案します
 看護師になって、高齢者の健康寿命を伸ばす指導をします
 私は未来の山口市の子育て支援のために 山口の良さを伝えます
 私は将来山口の人が楽しく安心して暮らせるようにこれからたくさんのボランティア活動に参加します。
 小郡を一番 住みやすい町に☆
 若者が住み続けたいと思えるような町づくりに貢献します！
 僕は、阿知須の美しい自然を保つために積極的に環境整備のボランティアに参加します！

⑩12/21 (水) 16:00~18:00 西京高校【参加人数：8人】



「私の挑戦」

私は、未来の山口市子どもたちが自己実現できる世の中にします！！

私は、未来の山口市子どもたちのために良い教師になります

私は、未来の山口市の若者の人口増加のために生徒に地元愛を伝えていきます

私は、未来の山口市の「子ども」のために、良い保育士を目指します。

中央商店街に自分の会社をつくる

私は、未来の山口市の観光客増加促進のために多くの人にアピールします！

私は未来の山口市の高齢者のために 救命士を目指します。

私は未来の山口市の町づくりのために自ら行動します！

⑪12/22 (木) 13:00~15:00 山口中央高校【参加人数：6人】



「私の挑戦」

私は未来の山口市の自然との共生のため、ごみ拾いをします

私は、山口にいる聴覚障がい者の人たちの助けになるために、手話を勉強します！

私は山口市をより良くするために、各年代の人々の意見を聞き、実現を目指せるように努めます

私は、未来の山口市の豊かな自然のために、リサイクルに努めます

私は、山口の明るい未来のために一人一人の存在を大切にします！

私は、山口市をよりよい街にするために、県庁職員として観光を主体とした取り組みをします！

⑫1/13 (金) 10:00~12:00 一般公募【参加人数：8人】

「私の挑戦」



私は、山口市のおせっかいおばさんになります！

山口市の商業の発展に寄与したい

私は未来の山口市の子どもたちのために応援します

私は、未来の山口市の企業発展のために、サポート・アシストする仕事をします！

ふるさと山口を愛してやまない子どもに育てます！

私は未来の山口市のためにアートでまちの魅力を伝え、世界中から観光客が押し寄せるまちづくりをするよ！

私は未来の山口市の人口増加のために いっぱい山口の良い魅力をアピールしまくります

私は未来の山口市の子どもの笑顔を守る「ママ活動家」になります

⑬1/15（日） 10:00～12:00 一般公募【参加人数：9人】



「私の挑戦」

H30年 きれいな樺野川で遊ぶ親子
 私は未来の山口市が住みやすい町になるよう、地域のことをよく知るママになりたいです！
 山口市の良いところをはどんどん発信します
 自分の体力・気力にあわせたカタチでの「生涯現役」をめざしたい！
 私は山口市の魅力を高めるために技術を提供します
 私は未来の山口市の歴史文化のために職人をやっていきます
 平成維新を起こす！！
 地域、異世代が一つに！！
 私は明日からの未来の山口市の発展のために健康を維持します

⑭1/25（水） 10:00～12:00 NPO 法人山口ウッドムーンネットワーク（保護者）【参加人数：6人】



「私の挑戦」

安心して家族で生活できる山口だったらいいな！
 人にやさしい 思いやりのあるまちになってほしい
 これからも 山口の”いいところ”を発見していきます！
 気づかいのできる人になる
 私が身体障害者の息子と出かけることで、障害者の住みやすい山口市になってもらいたい
 障害の有無に関係なく、共にイキイキ暮らしていける まちになって欲しい！！

⑮1/28（土） 10:00～12:00 大路ロビー【参加人数：7人】



「私の挑戦」

私は山口市の良い所を写真で発信していきます
 私は若い人と地域の方との仲介人になります！
 私は山口市民が豊かに暮らせるように食とアートを使って楽しいアイデアを考えます！
 私は今日からやわらかな山口市のためアイデアマンになります
 私は山口市の観光客が増えるように山口の良い所を多くの人に伝えたい
 私は、山口市って楽しいよ いいところだよと伝えられる人になります
 私は、山口市にはいいところがたくさんあるよ！と伝える人になります

⑩2/17（金） 14:00～16:00 地域おこし協力隊【参加人数：7人】



「私の挑戦」

私は徳地和紙を通じて みんなの交流が生まれるきっかけ作りに挑戦します
 地域住民がワクワクするような「そばカフェ」を開店します
 山口市のブランド和牛存続のため、肥育業務頑張ります！
 私が山口の美味しい物、紹介します
 私は未来の元気な山口市のため、異ジャンルのひと・もの・こととつながりをつくり、興味をもちます
 未来の山口市のために人がつながる場づくりをします
 私は山口市の魅力をもっと発見し、伝えていける人になります！

⑰2/22（水） 10:00～12:00 山口学芸大学【参加人数：6人】



「私の挑戦」

山口市の未来のために教師になって、子どもに教育をします
 私は、人に自然に優しくします！！
 山口市で子ども達のキラキラ光る毎日をつくる！！
 私は、山口市が活気あふれる町になるよう挨拶を大切にします
 私は、山口市の良いところを多くの人に伝えます
 私は、子どもと高齢者の架け橋となれるような教師になります！！

⑱2/22（水） 14:00～16:00 山口県立大学【参加人数：3人】



「私の挑戦」

私は、未来の山口市の”人々”のために”機会”を増やします！
 私は山口市がたくさん交流が生まれるまちにしていきたいと思います！！
 私は、山口の文学と人をつなぐことで、世界に”山口の文学ファン”を作ります！

⑩2/24（金） 10:00～12:00 山口市障害者団体連合会【参加人数：9人】



「私の挑戦」

障害者がめざす旗印
バリアフリーの更なる充実を！
障害者(高齢者)の住み良い社会の実現
これからも生き生きと
障害者におもいやり
地域の一助となりたい
人に対して親切にする
小郡は山口のへソ！交通を中心としたまちづくりと生活を考えて！！
私は大内文化が大好きです。町を変えてほしくない

⑪2/24（金） 18:30～20:00 中学生（認定 NPO 法人子どもステーション山口）【参加人数：5人】



「私の挑戦」

未来の山口市の安全と交流のために難しいことでも努力します
これから自然を大切にしたいです
私は未来の山口市のために、毎日が安全に安心して過ごせるようにします
私の夢は小説家！！もしなれたら、山口をPRする！！
自然ゆたかで、みんながすきといえる山口がいい

⑫3/10（金） 13:30～15:30 山口大学【参加人数：5人】



「私の挑戦」

私は山口市のグローバル化の推進のために、国内の人に山口市の魅力を宣伝します
私は、山口市に良いイメージを与えられるようにあいさつをします！
私はあらゆる不条理をなくします
私は山口市を皆に自慢していきます！
私は未来の山口市のために、会社で”山口”をPRします

私のお
ために
活躍し

YAMA good! CHI
YAMAGUCHI CITY

第二次山口市総合計画策定のための いっしょに創る 未来懇話会

まちづくりの長期的な指針である「山口市総合計画」の
計画期間が平成29年度に終了することから、平成30年度からの
「第二次山口市総合計画」の策定に取り組んでいます。

計画の策定にあたり、市民のみなさんから
幅広くご意見をいただくため、ワークショップを開催します。

山口市のよりよい未来を描くため、
積極的な参加をお待ちしております。

あなたのまちの未来を、
あなた自身の声で作りませんか

市内2会場
にて実施！
要事前申込

詳細は裏面を
ご覧ください

「10年後の山口市のありたい姿」を
語り合うワークショップ、始まります



中部会場

日時：2017年 **1月13日(金)**
10:00～12:00

場所：**大殿地域交流センター**
講堂

南部会場

日時：2017年 **1月15日(日)**
10:00～12:00

場所：**小郡地域交流センター**
視聴覚室

定員：各**15名** ※両会場とも内容は同じです
対象：山口市に在住・在学・在勤のみなさま。申込方法は裏面をご覧ください

申込締切：**1月6日(金)**

主催：山口市企画経営課

Facebookページ
お知らせ
インサイト
投稿ツール



第二次山口市総合計画～いっしょに創る未来懇話会～
@sogokeikaku.yamaguchi

- ホーム
- ページ情報
- 写真
- レビュー
- いいね!
- 動画
- 投稿
- 広告を掲載

「いいね!」済み ▼ フォロー中 ▼ シェア ▼

第二次山口市総合計画～いっしょに創る未来懇話会～さん が写真2件を追加しました。
作成者: 小柳 明子 (7) · 2016年12月16日 ·

改めまして、ご案内です。
来年1月に実施する「いっしょに創る未来懇話会」にご参加くださる方を募集しています。
「未来の山口市がこうなっていたらいいな」について、一緒に考え、話し合ってみませんか?
皆様のお申込みをお待ちしています!
■平成29年1月13日(金) @大縣地域交流センター... もっと見る

次山口市総合計画策定のための
いっしょに創る未来懇話会

【この懇話会の目的】山口市総合計画(第2期)の中期計画(2017年度)を策定するにあたり、市民の意見や要望を積極的に取り入れ、市民の声を反映させること。市民の声を積極的に取り入れ、市民の声を反映させること。市民の声を積極的に取り入れ、市民の声を反映させること。

【懇話会について】
懇話会とは、市民の声を積極的に取り入れ、市民の声を反映させること。市民の声を積極的に取り入れ、市民の声を反映させること。市民の声を積極的に取り入れ、市民の声を反映させること。

【実施日時】
1月13日(金) 10:00～12:00
1月15日(日) 10:00～12:00

【実施会場】
大縣地域交流センター
小縣地域交流センター

【お問い合わせ先】
山口市総合計画課
〒753-8600 山口市東区東2-1
TEL: 083-934-2747 FAX: 083-934-2949
E-mail: sogokeikaku@yamaguchi.jp

リーチ1,311人
投稿の広告を出す

いいね!
コメントする
シェアする

山口 泰斗さん、清山 美咲さん、他5人
日時順 ▼

Facebookページ
お知らせ
インサイト
投稿ツール



第二次山口市総合計画～いっしょに創る未来懇話会～
@sogokeikaku.yamaguchi

- ホーム
- ページ情報
- 写真
- レビュー
- いいね!
- 動画
- 投稿
- 広告を掲載

「いいね!」済み ▼ フォロー中 ▼ シェア ▼

第二次山口市総合計画～いっしょに創る未来懇話会～さん が写真7件を追加しました。
作成者: 小柳 明子 (7) · 2月22日 ·

【実施報告】山口市芸芸大学 2017.2.22AM
市内の高校に続き、大学でも未来懇話会を実施させていただけることに。まずは、山口市芸芸大学へお邪魔しました。山口市出身で、ご実家から通われている学生さんも多かったのですが、地域のスポーツ大会や遊び体験、ふだんの挨拶など、人とのつながりを感じながら育ったという方がたくさんいらっしゃったことが印象的でした。また、「ユニバーサルデザインを取り入れる」「高齢者と子どもの交流が盛んに行われている」「元気な高齢者の社会参加」など、どんな人でも住みやすいまちを望む声や、「山口市の良さを知ってもらうことで、市内の大学への進学を希望する人を増やす」「他が真似しなくなるような先進的な教育のまちになる」といった、教育的に絞った意見もありました。さすが、教育学部の学生さんですね。... もっと見る






リーチ1,311人
投稿の広告を出す

いいね!
コメントする
シェアする

山口 泰斗さん、清山 美咲さん、他5人
日時順 ▼

(2) 地域別開催

■ヒアリング内容

地域の魅力や誇り、地域の中で困っていることや将来への不安、10年後に向けてチャレンジしてみたいこと など

■開催日程

地域	開催日	時間	参加人数
大殿	平成28年9月15日	19:00~20:00	7
白石	平成29年1月28日	19:00~20:00	4
湯田	平成29年2月8日	19:00~20:00	4
仁保	平成28年9月16日	19:00~20:00	5
小鯖	平成28年10月26日	18:30~19:30	7
大内	平成28年11月21日	19:00~20:00	7
宮野	平成28年9月27日	18:00~19:00	4
吉敷	平成28年10月13日	18:30~19:30	6
平川	平成28年10月17日	19:30~20:30	6
大歳	平成29年3月6日	10:00~11:00	4
陶	平成29年3月7日	15:00~16:00	5
鑄銭司	平成28年8月17日	19:00~20:00	5
名田島	平成28年12月5日	19:00~20:00	7
二島	平成28年6月15日	19:00~20:00	9
嘉川	平成28年8月25日	14:00~13:00	5
佐山	平成28年12月9日	20:00~21:00	6
小郡	平成28年11月16日	19:00~20:00	5
秋穂	平成28年10月6日	13:30~14:30	5
阿知須	平成29年7月3日	13:00~14:00	5
徳地	平成29年3月15日	14:00~15:00	8
阿東	平成29年7月6日	19:30~20:30	5

119名

■参加者の年代・性別

	男性	女性	合計
10代	1	0	1
20代	2	0	2
30代	9	13	22
40代	15	12	27
50代	11	5	16
60代	26	7	33
70代	14	2	16
80代	1	1	2
	79	40	119

■主なご意見

保健・医療・高齢者福祉	
【医療・病院】	
デイサービスの車でラッシュになる。仁保園は済生会が経営しているので、デイサービス、入所、済生会病院と本人の病状等にあわせて連携がとれた対応をしていただいている。	仁保
介護を抱えているものにとって、ケアマネージャーの存在は大事。これからもっとケアマネージャーが必要とされることから、育成が必要。	仁保
地域内に病院がない。	陶
休日救急に小児科がなく、防府市で受診している。宇部市にもある。南部に欲しい。	鑄銭司
病院がない。	名田島
病院は多い。（歯科・内科）	嘉川
徳地には住みやすさ、人のあたたかさを感じている。しかし、子どもを育てるとい点では、病院がなく、かかりつけ医は地域外という方が多い。	徳地
医者が少ない。内科は2箇所しかなく、内一つの先生は90歳ぐらいなので、先を考えるととても厳しい。	徳地
病院は徳佐に内科や歯医者はあるが、小児科がないのが困る。	阿東
【高齢者福祉・日常生活支援サービス】	
ゴミ出し支援など日常のちょっとした手伝いを、無償ではなく有償でできる仕組みができればと思う。	仁保
小鯖地域では高齢化が進んでいる。プライドを傷つけないように、家にこもっているお年寄りをどのように引き出すかが課題である。	小鯖
大内でもアパートに一人住まいの老人が増えていることが気になるし、自治会に加入していない高齢者も気になる。	大内
いきいきサロンも、つどいの広場も場を続けることが大事。人が集えば、情報共有も悩みの解決にもつながる。高齢者も、乳幼児を抱えるママも外に出たがらない人を出すようにするのは難しい。	宮野
団地全体で高齢化が進み、新陳代謝が難しい。	平川
高齢者独居世帯が増えてきている。いきいきサロンなどにも出かけないひきこもり気味の高齢者が心配。	大歳
独居のお年寄りが気軽に利用できる支援制度があればよいと思う。チケット制で買い物支援やゴミ出し支援など、全市的に取り組んでどうか。	嘉川
小郡南校区では、自治会もなく、マンション等が多いので、高齢者の実態が分からない。	小郡
老人ホーム等あるが、それは金銭や制度上の要件から入居のハードルが高い。元気でも過疎化で困っている人は近所で助け合っているの、安価なシェアハウスがあればよい。	徳地
地域で買い物弱者対策に取り組んでいるが、行政の関心が低い。	宮野
地域にコンビニはあるが、商店はない。	陶
デイサービスの車を、使ってないときに、買い物支援に使えないか。	陶
お店がない。コンビニ（欲を言えば道の駅）が欲しい。朝市くらいでもできればよいが、大規模店に客が流れる。	名田島
地域に移動販売車がくれば便利ではないか。	二島
お店が少ないので買い物は小郡に行っている。洋服を買えるようなお店があればよいと思う。	嘉川
高齢者のための買物支援（地元のお店の活用、宅配サービス等）が必要。	秋穂

週2日、コープの移動販売が来ていて、これが地域内で好評である。	徳地
【高齢者の活躍】	
町内会において、老人クラブが衰退しており、現在6町内会だけある。老人クラブという名称が良くないイメージを与えているので、名称を変えてみてはよいのでは。	大殿
子どもの見守り活動が生きがいになった。	小鯖
大内まもり隊のようなシニアの活動について、市内全域に広めたい。	大内
役を担うのが嫌だったり、面白いことがないので、老人クラブに入る人が少ない。	陶
子育て支援・学校教育	
【子育て環境・子供が遊べる環境づくり】	
山口市は保育園等で実施される支援センターの未就園クラス、つどいの広場、育児サークルなど、子連れで外出できる場所が多い。	湯田
子どもの歳が近く、同じような悩みを持つ人と出会う「場」が多い。(子どものこと、仕事復帰のこと)	湯田
湯田中学校では、週1回未就園児を持つ親子が通えるクラスがあり、つどいの広場「ちゃちゃちゃ」職員や母推さんが対応してくれる。休み時間などに学生が遊びに来てくれる。月1回、校長先生が親向けにも習字教室や英語教室を開催されていて、楽しみに通っている。	湯田
山口市は田舎的ではあるが、子育てには良い環境。	湯田
こどもの居場所づくりを単位自治会レベルで進めている。家庭環境により、体験活動が少なかったり、学習環境が少ない子もいる。そうした子ども達を地域で育てたい。子どもへの活動を通じて、その保護者やボランティア世代ともつながる。ボランティアをしたいと思っている人はいるので、その活動の場をつくり、ボランティア活動のきっかけとしたい。	大内
子育て支援組織が地域で重複している部分もある。	平川
子育て世帯に選ばれるような市の予算の使い方をしてはどうか。	平川
セミナーパークが近く、子どもを安心して遊ばせることのできる環境がある。	鑄銭司
乳児から中学生までの見守りができている。嘉川子育て支援連絡組織“みらい”(民生児童委員、母子推進委員、子育てサークル等)がつどいの広場「しゅっぽっぽ」や中高生ボランティアサークル「きずな」の立ち上げや運営を支援している。	嘉川
子どもが少なくなってきたので、スポ少に加入する人も少なくなっており、特にサッカー等の団体競技は難しくなってきた。現在は、空手のスポ少が人気。	徳地
子どもが少ないので、競争が少なく、社会に出て行ったときの関わり方が心配。	徳地
防府に通学する子が多いが、バスの定期が高いので、車で送り迎えをする人が多い。	徳地
いきいきサロンも、つどいの広場も場を続けることが大事。人が集えば、情報共有も悩みの解決にもつながる。高齢者も、乳幼児を抱えるママも外に出たがらない人を出すようにするのは難しい。	宮野
子ども達を思いっきり遊ばすときは、中央公園か維新公園を利用している。	湯田
未就園児を連れて遊びに行くときは、亀山公園が多い。	湯田
亀山公園など子連れの親子が多く集まるところには、授乳室や食事のできる屋内休憩所があればよい。	湯田
亀山公園+交通交流広場+井筒屋の回遊ルートが出来た。	湯田
朝倉公園やマックスバリュー前の公園など、ボール遊びが禁止されている公園がある。	湯田
小学校のグラウンドでも、野球部以外は野球が禁止されている。子供たちがサッカーや野球をできるような遊び場がない。	湯田

針の木公園の駐車場が少ないので、利用しづらい。	小鯖
幼児が遊ぶような街区公園があればよいと思う。公園はセミナーパークしかない。	鑄銭司
山口市には山・川・田んぼがあり、子どもに自然とのふれあいを通じた豊かな体験をさせることが出来る。	
雨の日に、子ども連れで遊びに行ける場所があれば良い。	阿知須
発達障害児のための学習支援など様々なサービスが増えるとよい。	阿知須
子ども時代に自然の中で遊んだ思い出が残るので、子どもが過ごすには阿東はいいと思う。	阿東
【小・中学校の存続】	
小学校は全校で100人くらい。新1年生も10人。小学校入学を機に小郡などに引っ越す世帯もある。小郡南小は児童数増加で校舎が手狭と聞いているので、小郡などからの通学者も増やすことが出来ないだろうか。	陶
鑄銭司幼稚園と小学校が連携して行事をするので、顔がつながっていて、安心して小学校に上がることができる。	鑄銭司
鑄銭司は少人数学級なので目が行き届く。	鑄銭司
二島中学校を守りたい。二島中学校がなくなってしまうと、子ども達は二つの中学校に分かれてしまう。	二島
小学校を中心に地域がまとまっている。柚野木小学校、串小学校の維持を望む。	徳地
徳地の小学校にはサッカーチームがあるが、中学校にはないので、サッカーをやりたいから地域外に行くという子がいる。スポーツを選べない。逆にバレーが強くて、そのために外から入学してくる子がいる。	徳地
防府高校佐波分校の今年の志願倍率0.9倍であったが、地元の中学生は高川学園に行きたがる。外から来てもらうには中学校のバレーのように「佐波分校だから」という何かが必要。	徳地
小学生が減り、集団教育が成り立たなくなるのが心配な一方、学年を超えた関わりができるのはよい。	阿東
【保育園・児童クラブ】	
地域内にある幼稚園には地域外からも多くのお子さんが通っている。	陶
幼稚園の預かり時間が短い（通常2時まで、水曜日は11時半）ので、働いている世帯は他地域の保育園に通わせるしかない。	鑄銭司
児童クラブの対象学年が拡大されてから待機児童がでている。特に低学年の子どもが待機になると非常に困る。	平川
児童クラブが小学校近くにないので、反対方向の子の利用や下校時間の遅い高学年の子の利用が出来ない。	陶
児童クラブ施設がある場所は溝蓋がなく危ない。幼稚園施設の方が広く、立派なので、幼稚園で児童クラブを開設してはどうか。	鑄銭司
休日保育や病児保育を充実させてほしい。	阿知須
生活安全・環境保全	
【防犯・交通安全】	
防犯灯を設置したいが、私道のため所有者に同意が得られず、つけられない。通学路なのに、暗くて危ない。	白石
車の抜け道となっているような道路が多いため、車のスピードが速く、危ない。	湯田
信号のない交差点等が多く、子どもを自転車で遊びに行かせるのが心配。	湯田
歩道もない道路が多く、高齢者も子育て世代も安心して通行できない。	湯田

変質者が多いので、防犯カメラ等の設置などがあれば安心。	湯田
市管理地の草刈があまりされていない。不審者が隠れている。	湯田
自転車道や歩道が整備されるとよい。	吉敷
大内方面、小郡方面への通過地域で、交通安全対策や渋滞対策は課題である。インターチェンジ整備により、さらに増える。信号の安全対策は不十分。	平川
防犯灯について、市では補助金も出し、LED化を推進しているが、全体的に平川は暗いイメージ。山大通りは明るいですが、幹線道路から奥に入ると暗く、まだまだ足りないと思っている。	平川
地域の中心に位置する大歳小学校には、石州街道を通学路として多くの児童が通学しているが、交通量が多く危険である。道路幅員が狭く、安全が十分に確保できていない。	大歳
【防災】	
木造家屋の密集箇所や空き家が多い。また、道が狭く、緊急車両（救急車や消防車等）が入れない。火事が怖い。	白石
30年前には土砂災害、洪水等で被災している。災害を心配せず、安心安全で暮らしていけたらよい。	仁保
内水面の水はけが悪く、九田川の氾濫が心配である。	平川
避難場所指定が地域交流センターと小学校しかない。	大歳
独居老人が多いため、支えあいマップを作成しているが、若手は昼間働きに出て地域にいないので、昼間に災害があった場合には逃げる手段がない人がいるなどマップどおりにはならない。	名田島
【環境保全・新エネルギー活用】	
自然を壊さないようなまちづくりをしてほしい。	仁保
水力発電やセルロースファイバー等、地域の資源を活用したエネルギーや新素材の構築を図っていけないか。	仁保
山（財産区）やダムがあるので、水力発電やバイオマスをすればよいのではないか。	宮野
山口市には山・川・田んぼがあり、子どもに自然とのふれあいを通じた豊かな体験をさせることが出来る。	
まわりを山で囲まれ、間田川・仁保川が流れる、川のある風景がよい。遊歩道、休憩所を整備するなどして、河川を利用したまちづくりをしてはどうか。	大内
都市整備	
【公共交通】	
現在のバス路線は県庁、市役所行のルート設定である。観光客が利用しやすいバス路線への見直しや、貸自転車サービスなど交通交流公園をキーステーションとするような利活用を検討したらどうか。	大殿
車がないと生活できない。	仁保
小鯖地域は交通の便が悪く、交通難民が多い。	小鯖
コミタク（コミュニティタクシー）は週何回かあり、乗る人は多いと思う。コミタクは、最寄のバス停まではいくが、ピック等に行くには、またバスに乗り換えないといけない。そのアクセスが悪いので不便である。ピック等に直接いけるような公共交通にならないのか。	小鯖
小鯖地域内での交流を促すには、国道262号を縦断できないとできない。そのような交通体系は考えられないのか。	小鯖
宮野地域は鉄道駅、バスの車庫があり、山口市の中では交通の便が良い。	宮野
地域に基幹交通はあっても、自宅から基幹交通までが厳しい。コミタクも乗り手が少ない。乗り場まで行くのが大変。	宮野
公共交通が弱いと感じる。運転をしない人はどのように生活すればよいか、それを踏まえた公共交通の整備を行う必要がある。	吉敷

中尾地区では移動手段があまりないので、まつり等にも参加しにくい。	吉敷
平川地域ではコミュニティバスが走っていないとよく言われる。幹線道路はいいが、奥に入ると不便のようだ。	平川
幹線バスは県道宮野大歳線に走っている。大歳は石州街道沿いに住宅が立ち並び、居住人口が多いのに、バスがなく不便。タクシーを使う人が多い。	大歳
拠点同士がつながる交通を構築してほしい。	大歳
免許返納が可能な交通整備をしてほしい。	大歳
福祉優待バスの制度があっても、バスの運行が日に5便では利用しづらい。	陶
グループタクシーの制度も、なかなか3、4人のグループをつくるのも難しい。	陶
バスの便が少ないが、バスの便を増やしても乗らないので、タクシーが現実的。	陶
新しい地域交流センターは出来たが、地域交流センターに行くための足がなく、行けない人も多い。	陶
自宅からバス停までの距離が遠い世帯はバス停まで行くのが困難。	名田島
グループタクシーがあるが、利用者はそれほどいない。	名田島
最寄駅は四辻駅（鑄銭司）、バスの本数が少なく、四辻駅行きのバスがない。車がないと買い物が不便である。	二島
秋穂地域は交通の便が悪い。年をとり車を運転できなくなると買物や通院に困る。バスについては、いままで利用する機会がなかったため、高齢になっていきなり利用してと言われても使いにくいと思う。バス利用を促進するにはもっとアピールが必要。	秋穂
柚野地区は高齢化率が高く、一人暮らしの高齢者が多いが、皆さん人に迷惑をかけないように努力して暮らしておられる。困るのは移動。生活バスが出ているので、乗って買い物に行く。廃止されないように、家族の車に乗れるときでも、あえてバスを使われる方がいたり、移動手段としてだけでなく、運転手とのコミュニケーションという点もあるので、乗車率などの数字だけで判断して欲しくはない。	徳地
バスにあまり人が乗らずに座席が余るなら、座席を除けて、コミュニティの場として何かをしたり、多角的な活用をすればよい。	徳地
バス等の交通の便がよくないので、高齢者が通院等で市内中心部まで行く人は少ない。山口市内が遠く感じる。	徳地
どこでもバスが止まってくれるのはよい。	徳地
生活が困るから、免許の返納をする人は少ない。	徳地
J R山口線の主な利用は通学や通院だと思う。	阿東
【中心商店街】	
商店街近くに親子で楽しめる屋内施設や公園が欲しい。	白石
子育て親子の商店街利用は結構多いため、託児機能があれば便利と思う。	白石
空き店舗は市が買い取ったらどうか。空き店舗のままでも構わないという所有者だと、入居が進まない。	白石
白石は祭りが多くてよい。特にちょうちんまつりはキレイ。商店街も協力している。もっと市や湯田温泉と連携できることがあるのではないかと。空き店舗活用してお土産物を売るとか、湯田温泉等からのシャトルバスとか。	白石
アーケードがあり、利便性は高いが、必要なものが商店街では全部揃わないので、休みの日は、郊外や市外に買い物に行っている。	白石
アーケード内は家賃が高いので、若い人が入りづらい。	白石
アーケード内で連携できるようにしてほしい。	白石

観光と商店街がうまく結びつくとよい。	白石
【新山口駅周辺整備】	
駅の南北で、言葉にはしづらいがなんとなく違うというのを感じる。駅南施設は嘉川、佐山、阿知須あたりの方も利用されるが、意外と不便なところで、訪れた人が満たされるコンテンツがない。	小郡
小郡中学校には、名田島から学区外通学で来ていたりするので、新山口駅周辺の開発は小郡の開発ではなく、山口市南部の開発と考えた方がよい。	小郡
小郡駅南は戸建てを立てる土地がないため、家を建てる時には小郡から少し離れたところになるのではないかと。転勤族が多く数年後にはいないかもしれない。駅南の方からは地域住民の声が上がらない。	小郡
小郡に定住するというより、南部を代表する場所として、周りの地域に人が住んで、そこから小郡へ行き来するのでもよい。駅周辺は土地が高い。カフェがない。少し時間ができたときにちょっとコーヒーを飲むようなところがない。	小郡
小郡駅はお土産を買うところはあるが、瓦そばなどの名産品を食べるところがない。乗り継ぎで時間ができたときに食べるところがあると良い。乗り継ぎ時間があるのに、本屋も無く、コンビニも開店時間が短い。	小郡
南北自由通路は、自転車が通れないので、通勤・通学の役に立たない人と思っている人も多い。自分の子どもも、陸橋使って横断しているので、陸橋を通りやすくしてほしい。	小郡
【公園】	
子ども達を思いっきり遊ばすときは、中央公園か維新公園を利用する。	湯田
未就園児を連れて遊びに行くときは、亀山公園が多い。	湯田
亀山公園など子連れが多く集まるところには、授乳室や食事できる屋内休憩所があればよい。	湯田
亀山公園＋交通交流広場＋井筒屋の周遊ルートが出来た。	湯田
朝倉公園やマックスバリュー前の公園など、ボール遊びが禁止されている公園がある。	湯田
小学校のグラウンドでも、野球部以外は野球が禁止されている。子供たちがサッカーや野球をできるような遊び場がない。	湯田
幼児が遊ぶような街区公園が欲しい。公園はセミナーパークしかない。	鑄銭司
噴水のある交通交流広場はよく利用する。	
子どもが集える場、体を動かす公園があればよいと思う。	阿東
【都市基盤整備】	
子育て環境や買い物環境、周辺の公共施設の配置等に恵まれていて、住みやすい。それが、大殿ブランドだと思う。	大殿
堅小路は町屋の並ぶ商店街だった。間口が狭いため、いったん空地になると駐車場になることが多い。空き家があっても、駐車場がない物件も多い。	大殿
9号線の交差点は地下道となっており、高齢者にはつらい。また、陸橋も高齢者には難しいため、歩行者優先の発想があってもよいと思う。	大殿
図書館・美術館の文化施設、商店街、教育機関、病院などが揃い、自転車で暮らせる便利なまち。	白石
猫にえさをあげる人がいて、猫が繁殖していて困っている。行政等の関与はあるが、解決に向かっていない。	白石
YCAMの“コロガルガーデン”には市外からも多くの人がある。駐車場への誘導が悪い。全般的に公共施設内の表示や観光地等への看板等が不親切。	白石
商店街の近くで、生活するのも、飲みに行くにもとても便利である。	白石
早間田や郵便局の前の交差点は、地下道をなくして、きれいな十字路にしたほうがよい。	白石

産婦人科の先生が少ない。20、30代の医師の確保ができるかが肝要である。	白石
道路環境も良く、買い物にしても、県庁までも近く住みやすい地域。	仁保
道路整備はとてもよい。	仁保
小郡より、防府のほうが距離的にも心理的にも近い。	小鯖
上小鯖から大道は通勤ラッシュがひどい。	小鯖
山口市は住みやすく便利な環境。(道路、図書館等の公共施設、買い物等)	大内
大内はショッピングの中心地で、若者も多く集まる。	大内
大内はまわりを山で囲まれ、問田川・仁保川が流れるなど川のある風景がよい。遊歩道、休憩 河川を利用したまちづくりを進めたらどうか。	大内
土地が安いのは強み。ただし、家は安く建つが不便。ドラッグストアばかり増えている。	宮野
道路網はよく整備されている。	吉敷
県道御堀平井線の未整備分について早期事業化をお願いしたい。	平川
ふしの川河川公園、自転車道、吉敷川、維新公園など自然環境に親しむ環境が整っている。	大歳
江戸時代から、石州街道沿線として、街道の通過点となっている地域	大歳
スーパーもあり、病院も集まってきていて便利がよいが、飲食店が少ないので、自炊が出来なくなったときに不安である。子ども食堂もあるとよいと思う。	大歳
交通アクセスが良く、気候もよく、住みやすい地域で、地域独自の祭りは少ない。	陶
土地所有への思いが強いため、道路拡幅や開発などはなかなか進まない。	陶
交通アクセスが良い。(四辻駅、山口南IC、新山口駅にも近い)	鑄銭司
交通アクセスが良い(小郡方面・防府方面・山口方面いずれも)	二島
幼・小・中まで地域内で学び、成長でき、子どもを育てるのに良い環境。ただし、高校になると通学等が不便。	二島
交通アクセスが良い。(四辻駅、山口南IC、新山口駅にも近い)宇部や防府を勤務先とする住民が多い。	嘉川
小郡に比べると地価が安い。	嘉川
徳地は立地がよい。山口、防府、周南の間にあり、通り道となっており、コンビニもお客が多いと聞く。	徳地
徳地は、生活圏が地区毎に違う。柚野は阿東、島地、串は周南、八坂、出雲は防府が生活圏である。	徳地
山口中心部や小郡への交通アクセスもよく、宇部市にも近く、きらら公園もあり、住みやすい地域だと思う。	阿知須
観光・シティセールス	
【観光・情報発信】	
今は大殿地区内の史跡やお店などの情報を集約・発信している窓口がない。交流人口、定住人口を増やすためには行政が発信機能を持ち、もっと強くメッセージを発信すべきである。現在は、ふるさと伝承センターがその役割を一部担っている。	大殿
まつり運営は実行委員会形式となっているが、市の関与が少ないと思う。「協働」なら金を出さずだけでなく、もっとイニシアチブを取ってほしい。	大殿
亀山公園の整備が大事と思っている。山頂から県庁や五重塔を眺め、大殿地区へ来てほしい。	大殿

サビエル記念聖堂に多くの観光客が来るが、お土産屋がない。	白石
山口＝“萩・津和野”のイメージが強い。PR不足。	白石
山口市は湯田温泉＋五重塔くらいしか思いつかない。県外からの来客を次にどこに連れて行こうか迷う。	湯田
山口はPRが足りていない。東京でふるさと納税のチラシ配りをしたことがあるが、よく受け取ってもらえた。県の東京事務所は山口市はあまりこないといっていた。	湯田
魅力を発信できていない。外郎や大内塗りについて知っている人は多いが、徳地和紙はあまり知られていない。山も海もPRできていない。「山口市はこういう所」と印象付けられるようなブランド化を進めるため、資源・素材を掘り下げて、歴史的価値も付与して押し出していくべき。	湯田
県は修学旅行生の受入を頑張っている。どこに行けばいいかの提案を求められるので、楽しめるアミューズメントがあるとよい。YCAMはすごくいいところだが、難しいものをつくっている感じで、観光資源化していない。200～300人を受け入れられる宿泊施設はあるが、維新公園のスポーツ大会と重なると困ることがある。	湯田
まちの入口にインパクトのあるサインがあればよいのではないかな。	大内
中也記念館、観光、歴史など地域資源は多いのに生かしきれていなくて、もったいない。いろんなものをまとめてつないで、ストーリーを作ってアピールすることが必要だと思う。	大内
山口市をもっとアピール（住みよさ・観光・子育て支援）してはどうか。	平川
「徳地といえばこれ」と言えるお土産があればよい。実際は外郎などを買ってしまうが、「これ」と言えるものがあれば、出かけるときに持っていけばPRになる。そうしたものを創っていくのに支援があると良い。	徳地
関東圏の人からみると、山口県といえば下関や萩のイメージが強い。	
「あそこのあれね！」とイメージ出来るような「山口ブランド」をパッケージでイメージ出来るようにしてはどうか。関東圏の知り合いにも送って喜ばれるようなブランド化が出来れば、リピートにつながる。	
【湯田温泉の活用】	
湯田温泉の効用がわからない。キャッチフレーズまたは湯田温泉のイメージができればよいのではないかな。きつねでもいいと思うのでしっかりPRを。	湯田
若い人は楽しめる温泉に入りたいのではないかな。アミューズメント的な要素のある温泉があると良い。	湯田
タウンマネージャーのようなものを置くのであれば、湯田温泉まちづくり協議会等において、不動産のプロや弁護士等の専門家に関わって貰った方が、内容に説得力がでる。	湯田
湯田温泉という資源があるのに活用されていない。もっとイメージを打ち出しては。	嘉川
【スポーツ・ツーリズム】	
レノファの応援によく行く。	湯田
レノファの試合が開催された時は渋滞するし、駐車場が不足している。	吉敷
ツール・ド・ヤマグチ湾については、嘉川ではあまり盛り上がっていないのが現状である。	嘉川
経済・産業	
【働く場の確保・経営支援】	
産業団地の開発ばかりに力を入れるのではなく、今ある中小企業の支援に力を入れてほしい。匠のまち創造支援事業を活用して起業しても、長続きが難しい。その後の経営支援が必要。	大殿
若者を定住させるには仕事の手当が必要。	大殿

一の坂川は風情がある。でも、まち歩きするにはお店や飲食店が少ない。長くお店を続けていけるための支援をしていただきたい。	白石
女性が活躍できるように、女性が働ける環境、Iターンできる環境になるとよい。	大内
山口市に職場を増やさないと、外に出た若者は帰れない。	宮野
高校を卒業すると外に出て行く傾向があるので、そのための対策が必要である。	吉敷
山口市で起業できるような支援を。	平川
地元で就職したいと思った子ども達が残ることができるようなまちづくりをしていただきたい。	平川
企業誘地には工場ばかりではなく、大学卒の学生が働きたくなるよう事業所を誘致しないと、大学生の定住はない。	陶
事務所やテナント用の家賃が高いため、創業や起業するのが難しい。	小郡
起業を促すには、家賃が安いコワーキングスペース等が必要である。	小郡
働く場があれば、防府市にここまで人が流出しないのではないかと思う。学校に空き校舎があるなら、そこを会社として使ってもらうなど、働く場づくりをしてはどうか。	徳地
子育てママでも事業が出来るようなコワーキングスペースがあるとよい。	
【農業】	
農業は担い手がなく、他の人に農地を預けている人が多い。	仁保
営農法人では雇用の創出はできない。農業で生活できるような仕組みづくりをして、地域内での雇用を生み出さなければならない。	仁保
稲作から少量多品目へ転換し、もうかる農業を目指し、若手の定住につなげたい。	陶
次世代の若者のための基盤整備を視野に、圃場整備に向けた取組を進めている。	陶
若者の定住、農業への参加に対する支援を望む。	陶
若物の農業リーダーがいるので、若い人が農業をやるために入ってきている。	陶
農業用機械は高いので、各世帯で不要となった機械を集めて、リースをしたらどうか。	鑄銭司
農業の問題。・働き手を募集しても、人が来ない。後継者がいない。・土地の集約が完全ではなく、飛び地がある。・手がまわらないため、これ以上規模の拡大が見込めない。	名田島
農業を続けるノウハウ、手法を得たい。・狭い土地、少ない担い手で利益を上げる手法。・若い人が意欲を持ってやっていけるような手法。	名田島
多くの農産物があるので、道の駅みたいなものをつくれないうか。つくれなくても、空き家を使って、コミュニティビジネスをすることも考えられるが、そのノウハウがないので、支援してもらえる体制を整備して欲しい。	名田島
従事者を増やして、特産品等で地域おこし。現状、農地を宅地として活用できないのだから、農地として使うほかない。	二島
嘉川には大きな農業法人が2つあり、個人経営している人は少なくなった。堤が古く、改修が必要だが、水路修繕には費用がかかるため、農業をやめていくことが多い。	嘉川
自営の人が多いが、田を人に貸す人も多い。	徳地
消費者と生産者がつながるような取組があるとよいのでは。	
有機農業に興味を持つ子育てママは多い。	
【耕作放棄地の利活用】	
休耕田が多いため、休耕田を利用し、交流を促すようにグラウンドを作って欲しい。	小鯖

耕作放棄地を市民農園・家庭菜園にしてはどうか。	平川
遊休農地が結構ある。10年後はまだ増えるのではないかと心配している。	陶
耕作放棄地の管理を社会福祉法人に引き受けていただいている。	鑄銭司
使っていない田畑が多いのに、農業振興地域内の農地だから転用できず、宅地として利用できない。	二島
協働によるまちづくり	
【地域交流センター機能】	
湯田地域交流センターは講座も充実しているし、足湯もあり、母親クラブの活動でよく利用させてもらっている。	湯田
地域交流センターに自販機を設置して欲しい。	小鯖
外から入ってくる人との交流の場が少ないので、地域交流センターにパブみたいなものがあるとよい。	吉敷
地域づくりの場所として、地域交流センターはなくてはならない。会議、イベント、交流等活用していくには、駐車場も部屋数も少ない。	平川
行政窓口業務も他自体の事例もあることから指定管理で地域に任せたらどうか。ただし、社会教育・生涯学習等公民館機能部分には市職員がいて欲しい。	平川
地域交流センターに道の駅のような商業的な機能があればよい。	平川
地域交流センターについては、駐車場が足りない。また、エレベーターがないため、それを知らずに足の悪い方が2階の部屋を予約されて大変だった。場所は現在地が地域の中心だと地域住民に認識されていると思う。子ども達が学校帰りに寄る施設になればよい。図書室が2階なので、図書室があることを知らない方は多いと思う。	平川
地域包括支援センターは、今、黒川の病院内にあり、行きづらいので、できれば、地域交流センター内に分室をおいて欲しい。	大歳
地域交流センターの図書館にはよく小学生が集って過ごしている。	陶
地域交流センターのエントランスで勉強している中学生が結構いる。中学生がもっと利用しやすい地域交流センターになればいいと思う。	嘉川
地域交流センターは貸し館の建物で自由に過ごす場所がない。	嘉川
地域交流センターと総合支所の合築については、よく考えて欲しい。建設して終わりではない。例えば、民間（各種団体等）も含めた検討を。	徳地
徳地内でのワンストップ機能があるとよい。	徳地
地域交流センターで託児つきの講座、または子どもと一緒に受講できる講座等を開催して欲しい。（英会話や運動など）	阿知須
地域交流センターが一般利用できると思わなかった。講座の募集等はフェイスブックで発信して欲しい。	阿知須
【地域づくりの担い手】	
地域団体の活性化が必要。既存組織は行政が関与しているものが多い。	大殿
公務員が多いが、地域にでてくる公務員は少ないように感じる。	大殿
高齢者が多く、中間層がない。ドーナツ化しているため、世代交代が難しい。	大殿
コミュニティ協議会ができてから、三世代交流事業が盛んになった。一方で、三世代交流が盛んになるほど、高齢者の負担が大きくなっている。	大殿
今後、高齢者の人が地域内でどう活躍するかが課題である。	大殿
地域内で団体が多すぎる。地域内の各団体を運営している人は重なっており、協議会はその集合体なので、各団体を協議会に取込んで、協議会が実施すればよいのでは。	大殿

企業団地と住民との連携はあまりない。	小鯖
小鯖地域は、地域内で生活環境が異なっている。国道が通っているところと、稔畑や小鯖上等では、生活環境が全然違う。また、国道262号沿いでも、地域において生活環境が異なっている。地域づくり計画も、地域に分けて作成したほうがよい。	小鯖
大内では、サラリーマンが多く、若い人が地域活動に関わらない傾向が強い。	大内
大内では、村中でやっていた昔ながらのまつりがなくなっている。新しい人が多く入ってきたが、まつりを継承することができなかった。	大内
地域との連携が進むなど学校も変わり、地域も変わった。県立大学とは菜の花事業、着物喫茶事業などで連携。県立大サークル「エトワール放送局」は敬老会、まつり、運動会などで進行役として活躍。	宮野
役をしないと地域に認めてもらえない、活躍する機会がない。特に移住者はその傾向が顕著。	吉敷
元からいる人と新しく入ってきた人を上手にミックスしてまちづくりができるとよい。	吉敷
中学生、高校生が地域の中で見えないので、活躍する場が必要。	吉敷
後継者となる人材が不足していることから、役を交代することができない。	吉敷
行政主導で地域づくりが進んでいるイメージがあり、自発的なまちづくりは難しいと感じている。	吉敷
地域から情報を発信し、その情報を広めていく必要がある。そのためには、情報の流れがよくなる仕組みが必要である。	吉敷
昔に比べて下請けで地域づくりをしているイメージがある。押し付けでない予算配分はできないのか。市が上手に説明ができていない。	吉敷
幼稚園から大学、特殊学級までそろい、相互交流・活動が活発に行われている。小学校、中学校、西京高校といっしょに地区のスポーツ協議会を作っている。西京生によるランニング教室を行ったりして、こういうことができるのは平川の強み。	平川
地域活動は活発にしているが、役員の担い手等の課題もあり、地域運営・地域活動に行政の支援がもっとあればよい。	平川
大歳地域は東西に細長い地域で、朝田と矢原では課題が違うため、地域住民の中で課題が共有しにくい。	大歳
行事に中学生を入れて行っており、小中学生から地域に入っているところが陶のよいところ。	陶
世代間で考え方が違うので、なかなか世代交代が難しい。価値観が変わってきている。核家族化して、手伝いをしなくなったのが大きな原因ではないか。	陶
高齢化による世話人不足がある。	名田島
現役世代は、たまの休みをボランティアで潰したくない。ただ、自分の子が関係するものなら、出てくると思うので、ゆるい所ですつながりを作って、地域活動に引っ張って来られればよい。	小郡
流動層が多い地域なので、地元感が濃くないほうがよいと思う。地元感を強く押し出すと、新しい人が入りづらくなる。	小郡
いろんな会合で同じメンバーに会うので、こうした人をつなげることができればよいと思う。地域づくり協議会にもっとがんばって欲しい。	徳地
地域団体の高齢化、継承が課題。	徳地
各種団体ではボランティアとして活動されている人が多い。活動を展開する種はあるが、団体活動で終わっている。	徳地
コーディネイト、リーダーシップをする人が少ない。地域では難しいので行政に担ってほしい。	徳地
【自治会】	
集落レベルで空き家・空地・独居老人の情報等が集約できれば良い。	仁保
自治会に入らない人が増えてきた。	小鯖

町内会が弱くなっている。昔は会長が言ったら、それに向かって組織が動いていたが、今はそうではない。単位町内会が弱いから、何でもかんでも地域単位でやるようになってきている。	宮野
新しく家が建ち、水路等を境界にした従来の自治会エリアが壊れてきていると思う。田を手放す方も増えて、住宅地はまだ増えると思う。	平川
開発団地は同世代の方が一斉に入居するので、以前はその自治会が体育行事でも非常に強かったが、現在は高齢化して子どもがいなくなっている。	平川
自治会の担い手不足。自治会一事業等で自治会の絆づくりなどを進めている。自治会長は任期1年が多い。自治振興会に求められることは増え、それが自治会長の負担にもつながっている。	大歳
役が回ってくるのが嫌で、自治会に入らない人が多い。	陶
アパートは多いが、アパート住民で地区に出てくる人は少ない。	陶
小郡南校区では、自治会がないところも多く、防犯灯も少なく全体的に暗く、また、防災体制も整っていない。	小郡
【地域資源・地域づくり活動】	
大殿の歴史・文化は生かしていきたいし、祭りなどで交流人口の拡大を図りたい。	大殿
山口市の歴史は大殿の歴史でもあると思っている。	大殿
大殿は蛍まつり、祇園まつり、ちょうちんまつり、天神祭りなど、子供たちにふるさとで様々な体験をさせてあげることが出来る。	大殿
残すべきものを、民間のするがままにして無くなっていくことがないように、歴史的価値を守っていくという市のスタンスをもって、保護していくことが必要。	湯田
地域内での交流が少ないので、マップを作成し、みんなで歩けるようにして、交流を促したい。	小鯖
山口市には文化、歴史が息づいている。	大内
街路樹や花壇整備を進めるための活動支援がしたい。	大内
コミュニティの関係が希薄化している。顔の見える環境が必要である。	大内
ふるさとをつくるという意識が低いと、成長した子どもたちにふるさとの思い出がないということになる。ふるさととして、子どもたちにどのように思い出を残すかが大事であり、体験活動を通じてふるさとを体験させることがよい。	大内
県立大学があり、若者、知的集団が存在するのは強み。ただし、高い研究機能維持のためには2千人くらいの生徒数を目標にしたい。	宮野
地域づくり協議会では個人負担が多い。	宮野
祇園祭やほたるまつりなど、地域のつながりで祭りが続けられている。イベントやまつりなど地域でつなげてきた絆を大事にしていきたい。	宮野
木戸山公園の桜を以前のように整備したい。	宮野
県立大学の活用が大事である。	宮野
維新公園は利用制限があるが、明るくて活気がある。	吉敷
吉敷には神社等が古いまま、しっかり残っている。	吉敷
他地域と比べ、子ども会加入率が高い。吉敷から湯田・大歳の学校に通う子どもが多いので、子ども会運営に困る面がある。（選択校区）	吉敷
外国人が増えて、留学生のまちになるのは心配。山大生や西京生でも若者が多くて活気があるという良い面と、騒がしい・マナーが悪いといった面もある。良い面・悪い面両面を受け入れて、地域を考えていくべきだと思うが、留学生についてはその段階までいっていないのではないかと。	平川
周布政之助、吉富簡一など地域に縁のある歴史資源の掘り起こしを行っている。	大歳
陶ヶ岳は山登りによい。	鑄銭司

秋穂や阿知須に比べて、嘉川は大きなイベントがない。	嘉川
今年は八幡様の祭りにおいて嘉川自治連合会で作った子供御輿を披露する予定。	嘉川
海岸線がほとんど私有地で、せっかく海があるのにまちづくりに生かせない。活用できる土地がない。	秋穂
地域資源（海、山、田）を活用したまちづくりを進めたい。	秋穂
徳地の人は休みになると外に遊びに行くが、逆に外からツーリングで自転車やバイクがたくさん通る。そういう方をつなぎとめることができればと思う。	徳地
高齢者と子どものコラボレーションが単発イベントで終わっている。行政も支援して欲しい。	徳地
新しい店や特徴的なお店も多く、徳地内の飲食店をはしごする人が結構多い。	徳地
山口市内の地域との交流が少ないので、他地域との交流を促進するとよい。ICTを使った市内との交流があるとよい。	徳地
阿東は人が優しい。子ども達に近所の大人がよく声をかけるので、地域との関わりが生まれる。	阿東
りんご狩りや紅葉のシーズンは渋滞したりするので、外から人は来てくれていると思う。	阿東
【場づくり】	
まちづくりについて、若い人の意見が出し合えるような場をもってほしい。	白石
情報交換できる場として、地域で活躍できる人材発掘の場として、食を提供できるサロンの設置を考えている。	仁保
各地域にサロンがあると良いと思う。空き家や古民家を利用して、世代関係なくだれでもサロンの開設が必要ではないか。そういう場で、みんなでまちづくりについて語る場があればよい。	大内
子育てや高齢者等のサロンが増えて、それらが交流できるようになるとよい。	吉敷
新宿区の事例のように、看護師、地域のボランティアにより運営される「くらしの保健室」よろず相談所がほしい。地域包括支援センターの機能も導入すればよいと思う。	平川
団体等に所属していなくても行けるような場所がない。学校のグラウンドや体育館はスポ少とかに入っていないと使えない。何もなくても集まれる場所がほしい。	平川
大歳にも、いきがいセンターを設置したいが、地元による無償土地提供が難しい。	大歳
若者の会等を開催し、出会いの場を提供できないか。	名田島
スポ少に入っていない小学生や部活をしていない中学生たちが気軽に過ごすことのできる拠点作りをしたいと思っている。	嘉川
JRから嘉川駅舎を無償で貸してもいいという話をいただいているので、形にしたい。	嘉川
小郡南校区でも、交流する場が欲しいという意見もあるが、自治会がないところも多く、意見集約が難しい。	小郡
地域の赤ちゃんでも高齢者でも、誰でも来ていいような居場所作りをしたい。年の近いお兄ちゃん、お姉ちゃんの言うことなら子どもも言う事を聞くし、そういう関係の中でお兄ちゃんも自己肯定感をもてる。また、貧困家庭や学力格差も問題になっており、掛け算ができない中学生もおり、今更できないというのが恥かしいから勉強が嫌いだからやらないと強がっている子もいるのではないかな。家にパソコンがないから、使い方を知らないとか、親がちゃんとしていないから、常識的な年中行事も知らないとか、そういった子ども達の居場所をつくって、格差を固定しないようにしたい。	小郡
【移住・定住】	
「白石ブランド」はある。子供の小学校入学を機に白石に引っ越しをされる方が多い。	白石
土地が荒れていても農業振興地域のため宅地に変更できない。	仁保
仁保には移住者同士のネットワークがある。	仁保

市営住宅を建設する等、若い人が入ってこられるような定住施策を実施して欲しい。	仁保
今ある学校を廃校にしないように、子供を増やすために何かとりくまなければならない。	仁保
人口を増やしたいなら、市で土地を買い、団地整備をし、健康ランドや商業施設をくっつければいい。便利に住めて、健康的に生きられるのなら住みたいという人はいる。	宮野
人材が重要。企業誘致に金をかけるように、人材誘致にもドカッと補助金出すくらいやってもいいのではないか。	宮野
山口市は広島・福岡・県内どこにでも行きやすい。「交通ネットワークの優位性」で山口市のアピールをしてはどうか。「住むには最高。どこでも行ける」	平川
朝田は地形的に洪水対策が必要な地区。防災対策が整えば、自然と定住につながると思う。	大歳
農業振興地域のため宅地がない。	陶
下水道が通っていないので、宅地開発が進まない。アパートもないから、鑄銭司に住みたいと思っても物件がない。	鑄銭司
交通の利便性もよく、子育て環境も良いので、団地があれば子育て世帯に来ていただけたらと思う。	鑄銭司
工場を誘致しても、宅地もアパートもないので、地域への定住者は増えない。	鑄銭司
農業振興地域で、宅地がなく、自由に家を建てることができず、新しい人が入りたくても入れない。	名田島
実際に家を建てる場所がないので、他の地域に行く方もいる。秋穂にある市営住宅に転居する人も少ない。	二島
県道沿いなどは農業振興地域から外し、宅地を可能としてほしい。	二島
子育て世代を、留学（ホームステイ）等の形式で受け入れてはどうか。実際に学校に通ってもらって、地域の中に入って、二島の良さを知ってもらう機会をつくれれば移住者もあらわれるのでは。	二島
子育て世代が住めるような住環境を整えてほしい。	二島
宅地にする土地がない。	秋穂
転勤で来る人も多いが、逆に引っ越す人も多い。	小郡
小郡地域は、地価が高いため、一戸建てを建てたい人が、嘉川に建てる人が多い。	小郡
選ばなければ十分やっていけるが、医者にしろ、塾にしろ、スーパーにしろ、市内中心部ではたくさんの中から選べるが、徳地では選べない。	徳地
千葉にいたときは、住んでいたアパート内の居住者のことを知らず、知らない間に引っ越していたりしていたが、徳地では「あそこの家がどう」とかよく分かる。夫も都会育ちの人間だが、田舎暮らしがいいという。若いときに都会に行ってみたいと思うのは仕方がないが、戻ってきたいと思ってもらえるようにしていかないといけない。	徳地
串地区では、毎年1件ぐらい転入者が入ってきており（40代2世帯、60代1世帯）、転入者への話しかけや気配りを良くやり、地域に馴染んでもらうようにしている。一方で、高齢になり、よそに住んでいる子どもの家に転居する人も多い。Uターンで帰ってくる人はあまりいない。	徳地
地域おこし協力隊同士のつながりが欲しい。	徳地
山口の交通アクセスのよさを生かし、山口市に住んで、他市に通勤するのもありではないか。	平川
阿知須地区は宅地開発が進んでいることで人口が増えている。一方、井関地区は人口が減少している。井関地区の農振地域の解除が必要ではないか。	阿知須
日常生活には困らないが、市街地まで通勤するのは大変。	阿東
【空き家の利活用】	
空き店舗は市が買い取ったらどうか。空き店舗のままでも構わないという所有者だと、入居が進まない。	白石

所有者が空き家（店舗）のまま置いている建物が多い。もったいないので、助成金などで貸しやすくできないか。	湯田
仁保に住みたいという声は多いが、住める空き家が少ない。	仁保
空き家を活用する方法を地域で検討している。	平川
不動産屋と連携するなど、民間の商売の中で空き家を解決する方法はないか。	平川
空き家も多くなっているが、仏壇等があり、すぐに貸せるような空き家はない。貸したがらない。	陶
空き家を活用して、地域活性化ができないか。	陶
空き家を有害鳥獣が住家にしていて、被害がある。	名田島
空き家は多いが、所有者が市場に出さないのが問題であり、これでは人口が増えない。	小郡
空き家が増えて、景観が損なわれると、一層人が来なくなる。「人がいないから環境整備がいらぬ」のではなく、いないからこそ環境整備が必要。	徳地
空き家について、モデルルームのようなものを作れないか。素人は空き家の外から眺めても、自分が住むことになる空間をイメージできない。	徳地
行政経営	
【まちづくりの方向性】	
日本遺産登録をめざしてはどうか。	大殿
今までどおり、大内文化を尊重したまちづくりを進めてほしい。	大殿
西の京としての誇りがある。以前開催できなかった小京都サミットを開催してほしい。	大殿
湯田地域と白石地域の間をどのようにつないでいくかが課題。	白石
市が宮野をどうしたいのかが見えない。住宅地にしたいのか、工業地にしたいのか市の基本方針がわからない。住民に考えてと丸投げにされてもどうすればいいかわからない。基本方針を作って、特徴を出して、それをPRして人を呼ぶことが必要。	宮野
カジカガエルや蜚が生息するなど自然が豊かな地域なので、企業を集積するより、住宅が増えて欲しい。宮野は「住宅地」として、プランニングを示して欲しい。	宮野
ゆめタウンは非常に人が多い。県大跡地にこういう施設があると良い。さらにスポーツ施設や病院などいろんな機能があると人が集まる。	宮野
県庁所在地としてのメリットをもっと活用してはどうか。県との連携を。	平川
地域の特徴を生かしたまちづくりを進めてほしい。	陶
市の計画で「美濃ヶ浜」を活用するものもあつたはず。	二島
市はこれまでの取組を検証すべきである。	徳地
徳地内に徳地地域の将来、まちづくりに対するコントロールタワー、シンクタンクを。	徳地
【その他行政機能】	
市の施策を、市報とかに書いても住民は見ない。情報発信をもっとうまくやれないか。	宮野
市は施設を作り過ぎ。狐の足跡とかつかったが、これ以上施設だけ作ったとしても人は来ない。	宮野
行政サービスのオンライン化が進むと、市民が市役所に行く機会はないのではないか。そうした観点から市役所の場所や機能を検討することも必要ではないか。	平川
市役所の機能も「観光」「農業」「企業誘致」など、21地域の特長を生かして機能分散すれば、地域の活性化にもつながるのではないか。	陶

大きな市の一町になって、情報の得方を知らない人が多い。	秋穂
行政と市民との距離が遠くなった。	秋穂
法定外公共物整備事業はなぜ地域に投げたのが意味がわからない。素人にできる筈がない。	秋穂
木が倒れている、道路が破損しているといったことを通報しようとする、市役所に電話しないといけないが、どこかの自治体ではスマホに入力したら分かるシステムを入れていて、意外とサラリーマンが入力してくれているらしい。自分で入力した箇所が修理されていると嬉しいと思うし、ちょっとした事をやろうという意欲も出るのではないかな。	小郡
職場見学ではなく、本気のインターンをやった方がいいのではないかな。社長が本当の会議や商談につれていくようなインターンもあるらしく、市長に同行するような本気のインターンをやれば、もっと市のことに興味が出るのではないかな。	小郡
高齢者が多くなり、投票にいけない人が多くなっている、移動投票所みたいなものがあるとよい。	徳地
阿知須中学校のグラウンドの拡張をしてほしい。	阿知須

■「次なる10年 私の挑戦」ワンメッセージ

<大殿地域>



「私の挑戦」

働くところのあるまち 若者に魅力(色々な面)あるまち になればいいなあ！
 大殿らしさを伝えていく！
 みんなでたのしいまちづくり！
 みんなの笑顔輝くまちづくり
 未来につながる温故知新 大殿の底力！
 楽しく歩いて暮らせるまち！！
 弱者が喜びを感じられる街づくりをめざす

<白石地域>



「私の挑戦」

色々な人たちに魅力あるまちにしたい！！
 子供と一緒に安全にすごせる、人が集まる街づくりをしたい。輝いていた☆
 子供と成長 主人と成長 地域と成長
 地域医療の水準の維持、発展

<湯田地域>



「私の挑戦」

人と人のつながりを大切に！！皆で出歩こう♪
 子どもが元気に遊べる街にしたいな
 笑顔をさずなを生み出す仕事を！
 今を大切にする

<仁保地域>



「私の挑戦」

自然を生かした農協改革、農業改革した村づくりのできた田舎であってほしい！
 未来の子ども大切に
 安心、安全な仁保に定住を推進する！
 やさしいNIHO

<小鯖地域>



「私の挑戦」

米寿のライブコンサート
小鯖から発進 防府とのパイプを希みます
小鯖を観光事業で盛り上げる！
萩往還道沿いの遊歩道をつくる
OSABAであそぼー！！楽しもう！！
住んで楽しい小鯖 生涯現役 ワクワドキドキキラキラを共に♪
前進！地域へ奉仕！

<大内地域>



「私の挑戦」

人材の発掘
100才まで生きて農業するぞ！！
限りある身の力ためさん
大内の世代間交流広場ができればいいな！
広げよう！！コードモジカン地域の絆
祭りの再興
地域でピザ(おむすび)パーティー
古郷作り
本を出す
山口の歴史を広く発信
大内の町を花いっぱいにする

<宮野地域>



「私の挑戦」

やさしい町に
みんなにやさしい宮野
宮野にスポーツジムを 健康でながいきを 人材育成の山口市

<吉敷地域>



「私の挑戦」

すべての子供の未来のために！！
 夢、幸、コミュニケーション
 子供やお年寄りまでみんなで楽しく暮らせる
 吉敷にする！！私も元気でいつまでもお世話
 します！仙人のような「ばーさまになる」
 音楽で笑顔♪
 無我夢中の時間の中にこそ人生の充実がある
 と思う(安藤忠雄)
 地域で子育てする山口に！
 子ども会で地域を元気に！
 交流センターに飲み屋を作る！

<平川地域>



「私の挑戦」

チャレンジのかなう地域作り
 日本一魅力ある山口市
 生まれて死ぬまで山口市！
 交流センターの機能強化
 (万屋相談、くつろぎ室等を)
 子どもたちを中心に より住み良い平川に
 大人は子どものために
 子どもは大人のために

<大歳地域>



「私の挑戦」

健康長寿
 安全で安心なまちづくり(通学路の安全対策)
 地域振興(発展)
 おとしよりが安心して住める大歳をつくる

<陶地域>



「私の挑戦」

若者定住に資する施策を
 次男の農業支援(若者の定住のために)
 地域と小学校で写真ボランティアをしています。
 体力を保ちながら10年後も続けていき
 たいと思います。
 夫婦お互いに助け合って健康に気をつけて
 長生きしましょう
 「向こう3軒両隣」のつきあい 声掛け 地域

< 鑄銭司地域 >



「私の挑戦」

みんなで楽しく農業
ずっと鑄銭司！！
明るい楽しい鑄銭司作り
子供達の住み良い鑄銭司！！
レノファで山口を盛り上げる！

< 名田島地域 >



「私の挑戦」

若者の元気な名田島へ
のーんびり過ごせる所にしてー
防災に役立つ古式泳法の普及
ラジオ体操 ウォーキング
婦人会員さんと若がえりたい
楽しい農業を！
健康で子供や孫に(自分の)名田島を伝えたい

< 二島地域 >



「私の挑戦」

元気なお年寄りと若者が楽しく暮らせる環境を
たくさんの子供たちの笑顔に囲まれてすごせますように
楽しく三世代交流したい！！なんなら四世代
地域に☆キラリ☆きらめくものを
住 二島に住もう
子どもいっぱいのお島に！！
山口市内で住みやすさNo.1の二島づくりを！！
二島愛

< 嘉川地域 >



「私の挑戦」

笑顔いっぱいの嘉川に
安心安全地域力アップ
子どもたちがあこがれる元気な笑顔の嘉川の住民に！！
日本一住みやすいふるさと嘉川めざし！！
ひとり暮らし高齢者への補助制度
多世代が集える居場所づくり

<佐山地域>



「私の挑戦」

若者のつどい佐山へ
子ども達の笑顔がたえない佐山
若手の育成!!
佐山みんながつながる絆
佐山=笑顔の町 集まれみんな
現状維持

<小郡地域>



「私の挑戦」

俺も子どもも仲間もみんな未来に不安を持ってない!
地域の子供たちみんなが居場所を見つけられる小郡をつくること。大人になって「小郡に帰りたい!!」と思える場所に!!
いつでもどこでもどのくらいでも関わっていければいいかな...
みんなで話せる交流の場!!
みなさんの健康寿命をのばすぞ!!

<秋穂地域>



「私の挑戦」

成りたい自分と住みたい秋穂をPDCAサイクル!
元気な街
地元愛を誇れる街
明るい老人

<阿知須地域>



「私の挑戦」

子育て支援の充実化
子供達がずっと笑顔で成長できますように
阿知須に住もうかな
レノファスタジアムあじす あじす中学校グラウンド拡張
笑

<徳地地域>



「私の挑戦」

みんなで徳地を盛り上げよう
団結 それぞれの地域も山口市全域もひとつにまとまりたい
徳地らしいまちづくりを
柚野地区の道路を改善する。最大の念願(野谷⇄柚木)
森林資源(みつまた、こうぞ)を生かす
たくさんの方に山口に来てもらう
徳地の歴史や文化などの資源を活用して元気で楽しいふるさとをつくろう!
徳地を元気にする

<阿東地域>



「私の挑戦」

子供たちが思いきり遊べる場所を楽しく過ごす
次世代の自由を作りたい
山口市役所職員の皆様お仕事頑張ってください!!
地域と共に生きる

■未来懇話会へ参加した感想

<p>山口市を良くしたいと考えたことがなかったです。いろいろな方の意見を聞いてたくさんの気づきを頂きました。</p>
<p>山口市の現状を知れてよかった。どうすれば山口市がもっと発信できるかを自分でも整理できて良かった。</p>
<p>現状認識ができて良かったです。又、おもしろい人と出会える機会をありがとうございました。どんな山口、どんな若い人が必要と思っているか、又考えていけないといけないなど自覚させられました。課題にさせて下さい。</p>
<p>6人の意見が共有できておもしろかったです。同じことを考えていらっしゃることがわかってよかった。</p>
<p>珍しい座組で、出てくる意見も新鮮でした。</p>
<p>異業種の方と山口市の未来を話すのは初めてだったので刺激的でした。子育てVer.、自営業・商店街Ver.・・・あるのもよいかと思った。</p>
<p>現状、課題等を見つめ直すことができる非常に良い機会を頂き感謝しています。又、郷土愛を再確認できる場でもありました。現行の職務にも関連することであり、地域貢献に向けて思いを新たにしました。ありがとうございました。</p>
<p>地元の色々な意見を聞くことが出来、大変有意義でした。</p>
<p>山口市が総合計画をつくっていることを知らなかったのので、それを知ることができて良かったです。ただ住んでいるだけではなく、自らが行動をおこさなければならぬと感じました。山口市をもっとよい街にしたいと思えて良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>このような機会を与えて下さり誠にありがとうございます。出来れば、みなさんの多様な意見を無駄にせず、施策等に反映いただければ、幸いです。</p>
<p>市に対することを真面目に考えたこともなかったため、時間を取って他の人の意見を聞きながら考えるということが新鮮だった。</p>
<p>山口市について考えることが少なかったのでいい機会でした。人のそれぞれの考えは、聞いていておもしろいですね。</p>
<p>楽しく2時間過ごせました。年代、性別、地域が違っていると色々な意見が出て（むしろみんな違って）良かった。ふだん仕事は同じですが、こういう話ができ貴重な時間でした。</p>
<p>色々な分野の方と楽しく意見交換できました。市民の声が反映された総合計画の策定に期待しています。</p>
<p>参加者のみなさん一人一人の意見が違い、立場やバックグラウンドが違っていると考え方が異なることを改めて感じました。わきあいあいと話し合えたので、大変満足しています。</p>
<p>全く違うジャンル、世代、性別の人と話し、新鮮だったり、共感できることが多かった。</p>
<p>いろんな分野で活動しておられる方との出会いがあって良かった。山口の魅力を改めて感じる事ができました。</p>
<p>若い方をはじめ、異分野の方々との話し合いは元気をいただきました。</p>
<p>初めて知ったのですが、参加して良かったです。</p>
<p>本日は有意義な時間を過ごさせて頂きました。他団体との交流は必要なことです。</p>
<p>様々な活動をしている団体の代表の方と意見交換をすることで視野が広がり、今後の活動の活力になりました。今回はお誘いいただき、ありがとうございました。</p>
<p>山口市の現状や市の取り組みが身近に感じる事ができた。思っていることや、考えを表現する機会があるのは、よいことだと思いました。</p>
<p>いろんな話が聞けて楽しかった。人との出会い大切と感じました。10年後の山口市を改めて考える機会になりました。</p>
<p>自分の目線で考えるのではなく、いろんな立場で山口市のことを考えることができて新鮮でした。山口市の未来を考えたこともなかったのので勉強になりました。</p>
<p>深く地域の問題について考え意見を交流する場はほとんどないので、良い機会になったと思います。問題を考えていく中で、市民だけでも、市という行政だけでも解決できない問題が多くあり、それらを真剣に考える時間は大切だと感じました。</p>

<p>よりよい山口市を作るために課題点を中心に話し合い、参加したメンバー間でも意見の交流ができ非常に良い時間になった。自分たちが出した意見が反映され山口市が変わっていくのがとても楽しみです。もし機会があれば、他の似たような企画に参加したい。</p>
<p>確かに山口県の先は分からないが、しっかりと考え、人と人とのつながりを意識していくことが大切だと思う。いいところはあるのだから、そこをいいと思うだけでなく、そこを活かして今のままだも人が来ることができる住みよい山口になれるといいと思う。また、そのために一人一人が街に興味をもって、一つ一つのイベントに取り組むのが重要だと思う。イベントに参加することも盛り上げる一つの方法だと思う。</p>
<p>山口には悪いイメージの方が多かったが、意外と良い所が出ていたので良かった。市がどのような町づくりを行おうとしているかはよく分からないが、市民の理想に近い町にしてほしいと思う。そのためには、市と人とのつながりをもっと深めていくことが大切だと感じた。自分も山口市民として、山口市のために積極的に行動していきたい。</p>
<p>今日の山口市に向き合う機械が持てて、とても有意義な時間でした。山口市の中でもいろんな地域の意見が聞けて、学ぶことも多くありました。これをきっかけに、これから小さくても何か行動に移していけたらいいなと思います。</p>
<p>山口市だけでなく自身の出身地である嘉川についても詳しく反省でき、更に他の地域の状況も深く知ることができて、とても有意義だった。嘉川の祭りや神社、寺、交流行事などに、一住民として積極的に参加し、それらの良き伝統を決して絶やさないようにしたい。また、人と人との交流がなければ、どんなに良い土地でもゴーストタウンになってしまう。</p>
<p>参加している人が自分以外3年生だったので緊張しましたが、話していると山口のよいところや、それに対して悪いところ、改善してほしいところなどができて緊張していることを忘れて話せたので良かったです。</p>
<p>同じ学校の人としか話ができなかったのが残念だけど、同年代ならではの意見の見方が多く話が広がっていき2時間があっという間だった。別の機会でも参加したい。</p>
<p>山口市の良い所をたくさん知れた。悪い所がたくさん出てしまっているのを減らしていけたらいいなと思います。これからの山口市が楽しみにになりました。ずっと山口市に住もうかなと思えました！</p>
<p>私は今まで、山口市についてこんなに詳しく自分が思っていることを口にして人に話したのは初めてでした。自分が理想としている山口市について、たくさんの意見を出すことができて、とても良い機会でした。</p>
<p>自分が思っていたことが共感されたり、他の人の意見を聞いて共感したりととても楽しくできました。日頃自分が思っていることを話す機会がなかったので、こういう機械があってよかったです。またあったら参加してみたいと思いました。</p>
<p>山口市をよりよい町にしようとする気持ちがみんな強かったので、未来懇話会をする回数が増えたらいいなと思いました。未来懇話会が山口市をさらに良いものにしてくれたら、参加した一人として、とても嬉しいです。</p>
<p>私は将来、山口の町づくりに関わりたいと考えていたので、今日の未来懇話会に参加することができ、とても良い経験になりました。自分が思っていた山口の魅力や、課題、これからの理想の山口について話し、皆と意見を共有し、課題解決のために話し合うことができ、楽しかったです。私が将来、町づくりに関わる際に、参考にしていきたいです。</p>
<p>今回参加して、改めて山口市の現状を意識し、未来について考えることができました。また、10年間の計画を総合計画と銘うって策定することは初めて知りました。山口市の将来像を考える上で、自分の故郷である阿知須を基に考えると、一次産業が主要産業となっており、不安が残るものだと思います。そこで、二次産業の活発化であったり、様々なボランティアを行って、故郷へと貢献できることが分かりました。今回の経験を生かし、ボランティアに積極的に参加していこうと思います。参加できてよかったです。</p>
<p>市政に10代の意見を聞く機会はとても大切であると思う。高校生は人生経験が少ないので、これはと思う意見は出ないけど大切にしてほしい。</p>
<p>今日の話合いに参加して、子供を育てやすい環境を作ることで山口市・県が、発展することが分かり、私もそういう指導ができるようになりたいと思った。まずは、看護師になることからスタートしたい。</p>
<p>今回3つの質問があって、一つ一つが深く考えさせられました。最後の質問では山口の課題や日本での問題まで気づいていった。将来山口の人口は減少していく問題がとても考えることが必要だと感じました。また、グループで話し合っ、気付かなかった現在の山口のことを学んでいきたいです。</p>
<p>山口の今、現在の状況をみんなで話し合うことで、たくさんの意見交換ができ、将来のためにも勉強になった。これからの山口のために今何ができるか1日1日を大切に考えていきたいと思えた。家に帰り家族に話して、少しずつ広げていきたい。楽しかったです！</p>
<p>山口の良い所、課題となる所を改めて考えられる良い機会となりました。ありがとうございました。</p>

<p>今まで考えていなかった山口市の未来のことについて2時間考えることができたので、とてもためになる時間でした。ありがとうございました。</p>
<p>普段考えないことを考えたので、とてもおもしろい時間でした。将来山口市がよりよい方向に向かっていたらいいです。</p>
<p>とても楽しかったです。ありがとうございました。山口市のためにも西京高校での教育を頑張ります。</p>
<p>山口市について皆で意見交換できました。今一度、山口市の良さを確認することができました。</p>
<p>話し合うことで自分自身の感じていることなど再確認することができました。未来の山口市について、色々な意見や考え方を聞くことができ、貴重な体験ができました。</p>
<p>今日のように山口市に対してここまで考えたことがなかったので、とても良い機会でした。これからも人ごとではなく、自らが動いて、人のためになることができたらいいなと思いました。</p>
<p>とても短い2時間内で、自分だけでは考えられないことに気付いたり、人によっては「こんな意見もあるんだ」と自分と反対の意見も一つあり、新しい発見ばかりでした。今日学んだこと、感じたことを今後に生かせるように、日々意識し、努力していくとともに、未来宣言を果たしたいです。</p>
<p>普段はあまりじっくり考えることのない、自分の住んでいる町の課題や問題点について自分の意見を述べるができるよい機会となりました。そうして、他人の意見を聞いて新しい意見もあって、参加して良かったと思いました。</p>
<p>山口市について見つけるいい機会となった。未来の山口市がよりよくなってほしいです。</p>
<p>普段経験しないことをさせていただき、とても貴重なものとなりました。いつも何気なく過ごしている山口市はいざ見詰め合うと普段盲点となっている部分を感じ取ることができました。</p>
<p>参加した人が出した意見の中に、防災に関するものがあって、自分が普段ほとんど土砂崩れや地震が起きた時の対策を考えていないのに気付かされた。災害が起きた時に、近所で集合する場所を家族と十分話して確認した方がいいと思った。</p>
<p>山口のことを住んでいたので大方は知っているだろうと思っていましたが、意外と知らないことが多くあったので驚きました。また、未来について話し合っていると、平穏だけど多くの課題が浮かび上がってきたので大変だと思うと同時に、まだよくなれるんだ、と思いました。この懇話会はとても楽しかったので、参加者全員が集まったらもっと良い意見が出て楽しくなると思いました。</p>
<p>市民のふれあい、話し合いができて良かったです。</p>
<p>同世代の方が多く、意見が似ていたのが印象的だった。山口市のことを考えていたのに、地域や県のことや企業にも派生して行って、こうやってもっと沢山の市民の人の意見も知ってみたいと思ったので、市のHPとかも見てみようと思いました。</p>
<p>ゆったりとした雰囲気の中でワークができてよかったです。この未来の理想の意見が一つでも実現することを願っています。本日はありがとうございました。</p>
<p>山口の未来や、街づくりに関心があったとしても、なかなか具体的に参画する機会や方法もない中で、今日は貴重な学びの機会にもなりました。参加前は不安でしたが、やってみると楽しかったです。</p>
<p>新しい出会いがあり、楽しい時間を共有できてとてもよかったです。懇話会の目的など、詳しく聞くことができ、市民として役に立てた気がしました。プロセス共有の意識づけが素晴らしいと思いました。</p>
<p>参加者の方が若い方が多かったので、未来に向けて楽しいまちの構想を話し合えました。また、このような機会をお願いします。</p>
<p>みんな山口の事を真剣に考えられているんだなあとしみじみしました。こうやって、市民の意見を交換できる場があるのは、すごいです。山口市がその市民の声をちゃんと取り入れて実践してくれることを期待します！</p>
<p>山口市の現在のこと、未来のことをより自分事として感じ、また主体的に関わるという姿勢が生まれました。大変良い機会に参加させていただき、ありがとうございました。</p>
<p>何も考えていない私が…と少し気の重い参加でしたが、始まってしまえば、たくさんの人の意見を聞き、自分が普段「？」と思っていることも、文面化することで何が困っているのか、どうなりたいのか、少し分かるようになったと思います。ありがとうございました。</p>
<p>山口市内に知らないことがたくさんあることを知るきっかけになりました。</p>
<p>参加できて楽しかった。参加できなかった方に「おもしろかったこと」「考えないといけないね」ということを伝えたいです。</p>
<p>異年代、異住者との交流、情報交換ができてよかったです。引き続きこのような場を続けていただきますと幸いです。基本構想に関わっている人たちへ、冊子を送付してもらえると、続けて参加する人が増えると思います。</p>

<p>様々な方と意見を交わすことができ、自身だけでは知りえなかったことを知ることができてよかった。次があれば、またぜひ参加したい。</p>
<p>いろんな皆様のご意見を聞くことができ、勉強になりました。一番大事なことは、他県の追随を許さない教育県を目指し、次の日本、世界平和へ貢献できる山口市になることだと思います。教育に最大の投資を！を願っています。</p>
<p>いろいろな立場の方の想いが聞けて良かったです。</p>
<p>若い人の考えが聞こえて大変有意義でした。次は具体的テーマについて聞いてほしい。</p>
<p>山口市について多くの方の意見を聞くことができてよかった。自分が山口市のためにどんなことができるか考えるきっかけになった。</p>
<p>自分の考えを俯瞰することができ有意義でした。他の人の意見を聞くことで、課題や問題を共有できました。</p>
<p>こういう企画をもっとたくさんやっていったらいいと思います！</p>
<p>とても良い企画です。ぜひ第2次総合計画に参加した人々（団体）を活かしてください。</p>
<p>いいところとか改善点とか、10年後の姿とかを考えて、意見を出し合って、普段なかなかしないことなので新鮮で楽しかったです。話もとても盛り上がり、良かったですと思います。</p>
<p>いつも近くにいる人たちが、どんな考えをもっているか知る機会になり、とてもいい時間でした。</p>
<p>若い世代の意見が参考になった</p>
<p>気軽に意見が言い合える雰囲気で良かったです。</p>
<p>山口市といっても、北と南では全然状況が違う。今日は少人数で意見も言いやすかった。</p>
<p>みんな知り合いだったので、リラックスして話し合えました。同じ境遇の人同士なので課題や魅力を感じる部分が共感できてよかった。</p>
<p>自分が出した意見以外でも、他の人の意見を聞いて、改めて感じることや、納得、共感することが多く、意見を出し合って話し合えて楽しかったです。こういう機会がないと、なかなか改めて深く話し合うことがなかったもので、良い機会でした。</p>
<p>みんなの色々な感想や意見が聞けて、とても有意義でした。今の政策についても興味をもって、明るい将来のために自分にできることをしていきたいと思いました。</p>
<p>移住者・若い世代の方々には、アイデアを面白がってもらえた。同席者の頭の柔らかさは非常に重要だと感じました。</p>
<p>山口市の行政に参加できたような気がして嬉しかった。山口市の良い面を考える機会が普段ないので考える良い機会となった。ありがとうございました。</p>
<p>山口市について考える機会があまりなかったので、いい機会でした。いい所、悪い所それぞれありましたが、山口市をもっと良い所になるように考えるきっかけになったので、とてもよい経験でした。ありがとうございました。</p>
<p>いろいろな立場の人から見た山口市の良い所や、こんな山口市になるといいなという所を知れておもしろかったです。自分がお年寄りや障がいのある人の立場になって考たことと、実際にその人たちが考えたことの違いも知ってみたいなと思いました。</p>
<p>山口市の良さについて再発見することができ、とても貴重な時間となりました。ありがとうございました。</p>
<p>今までは、他の市と比べて悪いところばかりを考えていましたが、良いところも多くあることに気付くことができました。自分も山口市のために多く貢献したいなと思いました。</p>
<p>私の意見が市に生かされるように、私も生かしていきたいなと思いました。教師として、子どもと高齢者をつなげられるような存在になりたいです。そして、もっと山口市について知っていきたいです。</p>
<p>山口市にとって何が必要か、どうすれば良いかが分かったので、これからの学びに役立てたいです。</p>
<p>山口市に住んでいて普段から思っていることを誰かと話し合うということはないので、とてもいい機会になったし、未来の山口を想像するのが楽しかったです！</p>
<p>まちづくりに興味のある学生と意見交換できたこと、また話の中で自分が山口で何をしたいかが明確になったので良かったです。ありがとうございました。</p>

楽しく仲間との意見交換ができ、関連がある話題を語ることができた。
大変ためになりました。
大変有意義だった。人口をいかに増加するかが発展のカギとなることがよく理解できた。税込大を…税込。
みなさんの意見を聞くことができ勉強になり、参加して良かったです。
初めて参加しまして、大変良い勉強をさせていただきました。
大変有意義な会議であった。これからも障がい者福祉向上のため頑張っていきたい。
初めて参加しましたが、こんな大きな問題を議論するのに時間が足りない。
自分には難しい話だったけれど、山口市のことがよく分かったのでよかったです。
自分とは違う意見をもっていて、改めて山口市のいいところを悪いところ分かりました。
山口市のことについて考えることがあまりなかったので、今日のこの会で少し考えることができました。
とても良かったです。参加できた事を嬉しく思います。私たちが今から10年後、ここにいるかどうかはまだ分からないけれど、これからの山口の未来をみんなで考えることができました。中には、私が考えもしないような意見もあって、とても興味深かったです。ぜひまたこのような機会を作ってもらえたらいいです。
山口の良いところや改善ポイント、山口のその先のことなどを話せて、とても良かった。
今日少しの時間ですが、地域開発についていろいろな発想が出ました。いい企画だと思います。
言いたいことを言えてよかったです。
思ったより賑やかな感じでおもしろかった。山口市を考える良い機会だったと思う。
山口市の課題を考えるいいきっかけになりました。自分にはなかったものを知れるのは、すごく刺激的なので自分の視野が広がった。
色んな意見が聞けて楽しかったです。

2-6 総合計画策定に関する山口市議会一般質問 平成28年第3回定例会

現在、想定されている計画策定のスケジュールにおいて、基本構想への議会の意見反映は可能か。「いっしょに創る未来懇話会」において、若い世代に何を期待し、若者の意見をどのように反映させるか。

【答弁】

議会意見の反映につきましては、こうした策定の 各段階におきまして、議論や策定状況を議員の皆様方に御報告させていただく中での御意見や、市議会での議論を計画策定に反映いたしてまいりたいと考えております。(中略)
現在の高校生や大学生は、第二次総合計画の期間中には社会を支える世代へと なってまいりますことから、未来懇話会を通じて本市の魅力やまちづくりの考え方を伝え、本市のまちづくりの担い手となっていただけることを期待するところでございます
未来懇話会において出された御意見やまちづくりへの思いなどは、山口市総合計画策定協議会や山口市総合計画策定本部における協議や検討にしっかりと織り込みながら、計画策定に反映をいたしてまいり考えでございます。

次期総合計画の次なる10年の挑戦として、都市部や農山村エリアといった地域の特性に応じた、定住実現につながる地域の拠点づくりを進めていく必要性を感じている。ワンストップ化や複合化などの集約により、多世代が交流できる拠点施設の整備について伺う。

【答弁】

第二次総合計画の策定におきましては、更新時期を迎える施設の整備を進めるに当たり、一つには人口減少や高齢化が進む 中山間地域などにおいて、健康づくりや介護予防、多世代交流といった健康福祉の拠点づくり、すなわち地域の利便性を高める拠点づくりの方向性の検討を進め、もう一つには都市部における地方定住の受け皿となる地域の拠点づくりとしての施設の複合化の方向性などについて検討を進めてまいりたいと考えております。

現総合計画の策定及び執行状況を踏まえた上で、新たに導入される手法などあればお示しをしてください。

【答弁】

策定におきましては、これまでの政策や取り組みを振り返り、検証し、新たな都市づくりに向けての検討を深め、そして同時に人口減少という時代の転換期において、いかにまちづくりの質一クオリティーを高め、持続可能な

市勢の発展をなし遂げていくのか、こうした視点を踏まえ、大胆な挑戦を進めていかなければならないと考えているところでございます。

第二次山口市総合計画の策定において、障がい者など社会的弱者から意見をどのように収集し、計画に反映されるのか伺う。

【答弁】

第二次総合計画は、市民の皆様とともにつくる総合計画を目指しており、計画策定に当たりましては、市民意識調査やまちづくりアンケートなど従来の市民ニーズの把握手法に加え、いっしょに創る未来懇話会を設置いたしまして、難病や障がい等を抱える御本人やその御家族などを初め、障がい者団体、障がい者を支援する団体の方々などにも直接お会いし、皆様の考える本市における共生社会のあり方をお伺いするなど、計画策定プロセスへの参加機会を確保してまいることといたしております。

平成28年第4回定例会

大内地域の都市化が進み、地域の中心部が狭隘化している現状を踏まえると、今後の都市政策、まちづくりの観点から山口農業試験場を早急に県に移転を申し込むべきではないかと考えるがいかがか。

【答弁】

第二次 総合計画 におけるまちづくりの視点として、大内地域を初め、宮野、吉敷、平川、大歳、阿知須地域など、主に居住系の用途地域が指定されている地域は、引き続き、公園、道路、住宅政策などを通じたエリアマネジメントにより、市街地の生活空間の質の向上を図ることで人口を増加させることが可能となるようなプロジェクトの検討を、次なる10年の挑戦として進めてまいりたい。

次期総合計画において、10年後の本市の将来像を描かれると思いますが、いわゆる抽象的な都市像ではなく、市民にもわかりやすい具体的な都市像の明示が必要不可欠であると考えます。

【答弁】

第二次 総合計画 における本市の将来都市像につきましては、基本構想に位置づけられますことから、市民の皆様の代表である議会の御議決をいただくことで 本市が目指す将来都市像を市民の皆様と共有し、将来都市像の実現に向けて地域社会全体で責任を担い、それぞれが役割を果たしていく共通の指針とする ことといたしております。

次期総合計画策定における指標や目標の設定方法について、今後さらなる人口減少時代や高齢者増加の局面を迎える中では、山口市が10年後にどんな姿になってほしいのか、その理想となる姿を目標数値として設定し、目標に向けた取り組みを進めるバックキャストの手法を新たな総合計画における目標値の設定に利用するべきと考えますが、いかがでしょうか。

【答弁】

第二次総合計画の計画期間は、平成30年度から平成39年度までの10年間でございますが、まち・ひと・しごと創生総合戦略で展望している平成72年の目標値の達成につなげていくために、バックキャストの手法も取り入れ、総合計画としての目標値を設定いたし、その達成に向けたプロジェクト等を展開していく必要があると考えております。（中略）

今後こうしたプロジェクトの検討に加え、総合計画における各政策分野の施策や基本事業などにおける成果指標の見直しや新たな指標の設定など検討を進めてまいります中でも、必要に応じてバックキャストの手法を活用しながら、目指すべき姿を描き、理想とする目標を設定いたしてまいりますと存じます。

第2回山口市総合計画策定協議会を経た現段階において、健康福祉及び教育・文化の2つの分野を中心に第二次山口市総合計画の方向づけについて市長のお考えを伺う。

【答弁】

こうした第2回策定協議会の検討状況の報告を受けた中での私の総合的な所感といたしましては、農山村を初めとした既存の地域資源を徹底的に磨き直し、健康都市づくりや生涯活躍のまちなどにおける施策展開において、積極的に活用することの重要性を改めて認識いたしたところでございますし、磨き上げに際しましては、官民の積極的な連携や基盤整備を通じまして、一定程度の経済効果を生み出すことが可能となるような施策の方向づけも検討を進める必要があると考えているところでございます。

山口市総合計画策定協議会やいっしょに創る未来懇話会などの市民参画による組織体からの意見、地域づくり協議会などからの住民の意見、そして執行部内での様々な意見、これら三者間の意見をどう集約し、成案化していこうとされているのか。

【答弁】

今年度末に私を本部長とする山口市総合計画策定本部において集約する予定

といたしております。また、集約した内容に基づきまして、平成29年5月ごろには策定本部におきまして、本市が目指す将来像を含む基本構想と基本計画の骨子案をお示しさせていただきたいと考えております。

山口市財政運営健全化計画の改訂版が、本年3月に発表されたが、第二次山口市総合計画にどう反映されるのか。

【答弁】

次期財政運営健全化計画の策定につきましては、第二次総合計画を初め、次期の行政改革大綱や定員管理計画との整合を図りながら進めることといたしており、次なる10年への重点施策、具体的には今後予定しております本庁舎の建替等の大型建設事業や新山口駅北地区重点エリア整備による拠点施設の管理運営費などを新たに反映した上で、第二次総合計画の計画期間である平成39年度までの財政見通しを平成29年度中にお示しいたしてまいりたいと考えております。

平成28年第6回定例会

現在、策定を進められる第二次山口市総合計画の策定において、市民意識調査をはじめ、山口市総合計画策定協議会、車座トーク21、地域づくり計画の内容やいっしょに創る未来懇話会などにより、市民意識が測られているが、意見を伺う市民の対象をもっと広げられないだろうか。

【答弁】

対象者の拡大の御提案につきまして、第二次総合計画は、行政だけではなく、地域社会全体が目標を共有する公共計画としての策定をいたしてまいりますことから、議員御提案のとおり、策定過程においては、幅広く市民の皆様の声に耳を傾け、一緒に本市の未来を考えてまいりたいと考えております。

第二次総合計画作成における基本姿勢について、2回目の質問をさせていただきます。国も、地方自治体の特性を生かした施策展開を求めていますことから、本市においても地域の特色を生かし、地域別に特化した施策の展開というものが求められるのではないかというふうに思いますが、このことについてお伺いする。

【答弁】

地域にはそれぞれの特性というものがございます。今おっしゃられたように、次の10年に対する各地域の特性といいますか、そういったものは十分、地域の方々からもお話を聞いているというようなことも含めまして、十分意識

して、これからも策定を進めていきたいというふうに思っております。

本年3月に市では、湯田温泉の日帰り入浴施設に関するアンケート調査を実施されたと聞いております。その内容や集計結果はどのようなものだったのでしょうか、お尋ねいたします。また、この調査結果等を踏まえて、今後どのように活用していこうとお考えでしょうか。

【答弁】

温泉資源の活用は、まちづくり戦略における住んでよし、訪れてよしの都市としての魅力向上を図るための重要な素材でございますことから、既存の民間入浴施設や公共の温浴施設、コミュニティー施設などの状況も踏まえつつ、湯田温泉エリアの機能や役割、ランドデザインを考える中での次期山口市総合計画への検討材料の一つとして活用してまいりたいと考えております。

阿東、徳地、阿知須、秋穂の4地域核における地域の特色を生かした施策展開について、第二次山口市総合計画におけるその方向性を伺う。

【答弁】

現在の総合計画における周辺地域が元気になる取り組みを積極的に進めると同時に、第二次総合計画における次なる10年の挑戦として、地域住民による主体的な地域づくり体制の強化や日常的な集落生活機能の維持を図りながら、農山村エリア等における人口の転出抑制を目指していく方向性を考えているところでございます。

「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による取り組みを「第二次山口市総合計画」にどのようにつなげていくのかを伺う。

【答弁】

やまぐち地方創生100プロジェクトにおける個別の取り組みにつきましては、再度第二次総合計画との整合性を図りながら、第二次総合計画の重点プロジェクトに反映をしてまいりたいと考えているところでございます。とりわけ、生涯活躍のまち構想、COCプラス事業を初めとした大学生等の地元就職促進、連携中枢都市圏の形成などといった総合戦略のもとで本格化してきたプロジェクトにつきましても、第二次総合計画における位置づけをしっかりと検討してまいりたいと考えております。

第二次山口市総合計画において、次の3点をぜひ検討していただきたい。

まず1つ目は、日本遺産への登録を目指すことを、次期山口市総合計画の目標に位置づけ、文化施策の取り組みの方向性として明確にすべきではないか。次に、歴史的風致維持向上計画の認定を受け、環境整備に活用してはどうか**3点目は、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を目指してはどうか。**

【答弁】

日本遺産への登録は、本市あるいは圏域の文化や伝統が国内外から注目される絶好の機会であり、観光振興と同時に、地域住民の誇りと愛着などシビックプライドの醸成が期待されているところでございますことから、本市におきましても日本遺産の登録を目指した検討をいたしてまいりたいと考えております

日本遺産への単独申請をいたす場合、文化財保護のマスタープランに当たります歴史文化基本構想、または議員御提案の歴史的風致維持向上計画を策定いたす必要がございます。基本構想策定に当たりましては、市内21の全ての地域において、地域の皆様とのワークショップ等を通じて、地域の文化財を幅広く的確に把握してまいりたいと存じます。本構想は、平成29年着手となりますことから、本構想による文化財の活用につきましては、第二次総合計画、あるいは関連する部門計画に位置づけてまいりたいと考えております。

(中略)

第二次総合計画におきましては、YCAMが有する創造性とネットワークなどを、本市の地域振興や産業振興、観光振興、さらには教育普及活動などに対してさらに活用するなど、新たな創造につなげていくことが、まちの価値の向上につながっていくものと考えておりますことから、第二次総合計画の策定の中で必要な検討を進めてまいりたい。

第3回の策定協議会の協議を踏まえた上で、大変重要な分野になります都市整備分野における都市構造や山口都市核、小郡都市核づくりの方向性をどのように次期総合計画に位置づけられるのか、市長の御所見をお伺いいたします。

【答弁】

本市は線引きがなされていないために、郊外スプロールが進んでいる現状があり、そのために第二次総合計画においては郊外スプロールを抑制し、コンパクトなまちづくりを進めていくことを明記すべきとの御意見がございました。また、山口・小郡両都市核のそれぞれの役割を明記する必要性と、中心

市街地や大内文化ゾーンについては、単に事業内容を列記するのではなく、どのような社会基盤を導入していくのかというビジョンを示す必要があるなどの御意見もいただいた。

また、公共空間を市民や民間事業者に積極的に開放することで、新たなにぎわいの創出や経済活動の創出、さらには周辺住宅エリアの価値向上が図られるとの御提案をいただいた。

平成29年第1回定例会

第4回策定協議会を経て、現時点における新たな将来都市像について、どうお考えか。平成31年度以降に懸念される財源不足が生じる見通しになっているが、その対応についても伺う。

【答弁】

そこで、第二次総合計画におきましても、現在のまちづくりの基本的な方向性を踏まえながら、多くの市民に覚えていただける将来都市像の案を、新たにお示ししたいと考えているところでございます。

そして、「これが私の故里だ」と多くの市民が感じ、都市部と農山村が調和した、多世代が互いに共感し、自然・歴史・文化など今あるものを活かしながら持続的に成長していくという価値観の共有のもとで、暮らしに豊かさがあるふれる本市の将来都市像を描いてまいりたいと考えております。

これまで、将来の財政需要に備え、現在の財政運営健全化計画のもとで、計画的に積み立てを行ってきました財政調整基金や、減債基金などの特定目的基金の活用を想定いたしているところでございます。また、今後、新たな財政運営健全化計画のもとで、引き続き、内部管理事務経費等の抑制などによる歳出の削減や、市税の徴収率向上、市有財産の有効活用などによる歳入の確保策などを進めてまいりたいと考えているところでございます。

平成29年第2回定例会

5月に次期総合計画の骨子案が示された。その骨子案に記載された基本構想により、市長は10年後の山口市をどのようなまちにしていこうとお考えか伺う。

【答弁】

本市のこれからの10年間における、まちづくりの方向性や目指す姿を明らかにする将来都市像を「豊かな暮らしと 交流と創造のまち 山口～これが私のふるさとだ～」と御提案いたしましたところでございます。

この将来都市像の「豊かな暮らし」の部分では、本市における自然、歴史、文化、産業、まち、人材などの本市の地域資源の多様性こそが本市の豊かさの源であり、これを生かしていくこと、そして、市民一人ひとりの価値や多様性を

大切に、共感することで、豊かな地域社会を築いてまいりたいという思いを込めているところでございます。

また、「交流」の部分における「人と人」との交流では、あらゆる世代や団体等が、互いの価値観を尊重いたしながら、見守り、助け合い、共に地域の課題を解決していく、多様性を大切にする交流のまちを目指してまいりたいとの思いがでございます。

さらに、「創造」の部分では、市民一人ひとりの中にある多様な価値と個性、集落や地域ごとの個性、本市全体としての個性、このように重層的で多様な個性が磨かれ、共感し、交流し、調和していくことで、新たな創造性が生まれ、創造的な人材が集まり、まちの活力が創出されるという思いを込めております。

今後のまちづくりには、AIなどの次世代テクノロジーの活用は避けて通ることはできないと考える。こうした次世代テクノロジーについて、次期総合計画の中で、どのように捉えて方向性を考えていくのか伺う。

【答弁】

本市におきましても、今後、中山間地域をはじめとした地域において、交通手段の維持や運転手の確保、買い物機能の確保、農業の担い手不足、介護現場の人材不足など、地域社会におけるこうした諸課題への対策が必要となっております中で、AIなどの新たな技術の進展を効果的にまちづくりに生かし、地域課題の解決につなげていくことが重要であると考えております。

また、技術革新により、従来型の仕事や働き方を取り巻く環境が変化いたしますことは、個人のニーズにあった、柔軟な働き方が実現できる可能性が高まり、女性、高齢者、障がい者をはじめとする労働参加のあり方の多様性や可能性が広がることなども踏まえながら、第二次総合計画の策定を進めていく必要があるものと考えているところでございます。

今後は、こうした方向性のもとで、ノウハウの蓄積や、市民満足度の向上が期待できる新たな技術につきましては、積極的な導入も視野に入れまして、第二次総合計画への位置づけについて検討を進めてまいりたいと存じます。

基本構想の考え方や方向性から想定される前期基本計画のプロジェクトにはどのようなものがあるのか。現時点で想定される取組みを伺う。

【答弁】

山口都市核では、長い歴史の中で積み重ねてきた行政、文化、教育、商業、観光などの都市の特性や既存ストックをより高めていくとの考え方のもとで、新

本庁舎の整備をはじめ、中心市街地の都市再生や市街地再開発、湯田温泉を活かした多世代交流・生涯活躍のまちづくり、大内文化ゾーンの歴史空間の再生などのプロジェクトを引き続き進めていく必要があると考えている ところでございます。

また、小郡都市核では、新山口駅や周辺市街地を中心に、県全体の玄関にふさわしい、交通結節やアクセス機能の強化を図り、新たな交流や広域的な経済の拠点としての都市空間を形成していくとの考え方のもとで、新山口駅北口駅前広場に続く南口駅前広場の整備新山口北地区拠点施設の整備、市街地再開発、新山口駅北口へのアクセス道路の整備促進などのビックプロジェクトを推進する必要があると考えている ところでございます。

次に、地域拠点につきましては、市内21地域ごとの地域づくり機能や交流機能の中心的な役割を担い、地域の特性と役割分担に応じて、一定の都市機能の維持・集積や、周辺の生活拠点を支える機能の集積を図っていく拠点を形成していく考え方を示しているところでございます。前期基本計画で想定されるプロジェクトといたしましては、小郡、佐山、二島、鑄銭司地域を初めとした地域交流センターの建替整備、徳地及び阿知須地域における健康福祉の拠点づくり、大内や平川地域交流センターの機能強化などを位置づけ、プロジェクトを進める必要がある と考えているところでございます。

また、生活拠点につきましては、地域や集落内外からのネットワークのもとで、地域の実情に応じて、日常生活に必要な機能を複合的に組み合わせ、小規模分散型の居住地域の暮らしを守る役割を担う拠点でございます。市内21地域の地域拠点を補完するかたちで、地域の実情や産業構造等を踏まえた、総合的、複合的な生活拠点の構築も進めていく考え方を示しているところでございます。こうしたことから、阿東地域交流センター篠生分館とJA山口中央長門峡支所、そして、道の駅「長門峡」の機能強化との一体的な生活拠点の形成をはじめ、道の駅「願成就温泉」の機能強化などのプロジェクトを、進めてまいりたい と考えております。

第二次山口市総合計画の策定にあたり、次なる10年においてどのように湯田温泉の活性化を目指されるのか、現時点における市長の御所見を伺う

【答弁】

次なる10年において、本市における交流人口の創出や地域経済活性化を担う重要なエリアの一つであると考えております。

今後の、前期基本計画における重点プロジェクト等の構築におきましては、湯田温泉がこれまで以上に市民の皆様にご利用され、滞在していただけるよう、市

内での経済循環等をさらに高めていく方向性と、そして、市外県外から多くの人に湯田温泉を訪れていただくことで、経済活力を呼び込み、本市全体の魅力を高めていく方向性で、取組みを検討していく必要があると考えているところである。

第二次山口市総合計画の骨子案では、南海トラフを震源とする大規模な地震の発生について触れられているが、大原湖活断層による直下型地震については記述がない。大原湖活断層による直下型地震が発生すれば、本市においても甚大な被害が発生することも予測されることから、総合計画に記述すべきと考えるが、その御所見を伺う。

【答弁】

昨年11月に開催いたしました「第3回山口市総合計画策定協議会」におきまして、防災を専門分野とされる委員から「山口市の防災・減災について」の資料提供をいただき、重点的な議論がなされたところでございます。その中で、本市は大原湖活断層をはじめとする活断層が存在し、直下型の地震が発生する可能性がある地域であること、また、全国の事例をもとに、自身発生による人的被害の大半が、地震発生直後の建物倒壊などが原因であることを踏まえ、住宅の耐震化など、市民一人ひとりの事前の防災対策を促進することの重要性を御提言いただきました。

また、南海トラフを震源とする地震の発生による津波被害については、南部地域を中心に、浸水による公共施設の孤立や、災害対応に対し機能不全となる可能性について、御指摘をいただいたところでございます。こうした御意見を踏まえ、市内に複数存在する活断層で発生した直下型地震の揺れによる被害と、南海トラフを震源とする大規模な地震の発生による津波被害を区別して、記載をしているところでございます。

総合計画の記載にあたっては、市内に複数存在する活断層の個別名称のみを記載するのではなく、直下型地震発生の可能性を分かりやすく市民の皆様にお伝えできるような記載、例えば「山口市防災ガイドブック」の「ゆれやすさマップ」を総合計画に掲載していくなど、より効果的なかたちを検討してまいりたいと考えております。

平成29年第3回定例会

10月に示される素案の基本構想部分について、現時点における検討状況を「素案策定に向けた中間整理」として、今回取りまとめられ。そこで、次なる10年間のまちづくりとしての基本構想部分について、6月議会からの変更点を中心に、現時点における市長のお考えを伺う。

【答弁】

議員お尋ねの基本構想における6月議会からの変更点につきましては、まず、将来都市像である「豊かな暮らしと 交流と創造のまち山口～これが私のふるさとだ～」の「ふるさと」の文字を漢字から平仮名に変更いたしますことで、一人ひとりで異なるふるさとの感じ方、まちづくりへの関わり方、シビックプライドの対象を幅広く捉えた将来都市像であることが伝わるような表現といたしたところでございます。

また、将来都市像を実現するために取り組む本市の 都市政策の柱につきまして、「広域県央中核都市づくり」と「協働のまちづくり」といたしておりましたが、このうち「協働のまちづくり」を「個性と安心の地域づくり」へと表現を変更いたしております。

これは、次なる10年のまちづくりにおきまして、協働によるまちづくりを更に発展させながら、市内21地域のいずれの地域においても、特長や個性をさらに高めると同時に、安心して暮らせる定住環境の確保を図るというまちづくりの考え方を表現したところでございます。

この他に、目指すべき都市構造等につきましては、「重層的コンパクトシティ～好影響・好循環のまち～」といたし、「好影響・好循環のまち」の表現を追加いたしております。これは、これまでの「重層的集約型都市構造の構築」における「集約とネットワーク」の考え方におきましても、各地域や拠点の個性を高め、多様性のあるまちづくりを進めることで、「人・モノ・資金・情報」が活発に交流するという考え方は含まれておりましたが、より一層、滞留方のまちづくりを進めてまいりたい、更なる「好影響・好循環のまち」を目指してまいりたいということを表現いたしたところでございます。

前期基本計画5年間における山口・小郡の両都市核づくりを中心とした広域県央中核都市づくりについてどのような考え方のもとで、プロジェクトを進めていこうとされているのか、とりわけ湯田温泉ゾーンにおける考え方や取組みについて、市長の所見を伺う。

【答弁】

まず、山口都市核づくりにつきましては、長い歴史の中で積み重ねられてきた行政、文化、教育、商業、観光などの都市の特性や既存ストックをより高めていくとの考え方のもとで、新本庁舎の整備をはじめ、中心市街地の都市再生や市街地再開発、湯田温泉を活かしたまちづくり、情報文化のまちづくり、大内文化ゾーンの歴史空間の再生につながるプロジェクトを検討いたしているとこ

ろでございます。

また、議員御案内の湯田温泉ゾーンにおけるまちづくりの方向性につきましては、市外県外から多くの人に湯田温泉に訪れていただく取組を継続することに加えて、豊かな温泉が、街なかに存在するという特長を踏まえ、湯田温泉がこれまで以上に市民の皆様にご利用されるような施策展開、そして、居住人口を増加させる「街なか居住」を促進する施策展開を図るなど、いわば「訪れてよし、住んでよし」のまちづくりを進めていく必要があると考えております。（中略）また、こうした山口都市核づくりを、本市全体としての好影響・好循環のまちづくりにつなげるために、小郡都市核におきましては、新山口駅や周辺市街地を中心に、県全体の玄関にふさわしい、交通結節やアクセス機能の強化を図り、新たな交流や広域的な経済の拠点としての都市空間を形成していくとの考え方のもと、新山口駅北口駅前広場に続く南口駅前広場の整備、新山口駅北地区拠点施設の整備、市街地再開発、新山口駅北口へのアクセス道路の整備促進などのビックプロジェクトをしっかりと推進していく必要があると考えているところでございます。

人口減少が予測される秋穂二島、秋穂などの瀬戸内沿岸部においては、地域の活力を保つため、これまで以上に海洋資源を活用した、交流人口の創出の取組みが求められると考える。そこで、海洋交流拠点づくりを、次期総合計画ではどのような方向性で位置づけられるのか、現時点の市長のお考えを伺う。あわせて、既存の漁港や港湾機能の新たな利活用（例えば、フィッシャリーナ）について、次期総合計画のプロジェクトとして具体的に検討されていくことについて、市長の所見を伺う。

【答弁】

（中略）議員御提案の「海の駅」や、漁業とレジャー機能の連携としての「フィッシャリーナ」の考え方は、本市における漁業従事者の減少や港湾の利用減少の状況から、漁港機能や港湾機能を持続可能なカタチで維持管理していくための新たな手法であるだけでなく、瀬戸内における回遊機能の向上や、秋穂地域を初めとした本市の瀬戸内の魅力の効果的な情報発信につながるものと考えているところでございます。同時に、市内や県央部で暮らす住民の皆様におきまして、海洋レジャーや自然を楽しめる機能が向上することは、リング狩りや、森林ツーリズムなどの地域資源と同様に、地方都市で暮らす豊かさを実感することにもつながる、定住促進の施策であるとの認識をいたしております。既存の漁港や港湾施設の有効活用を図るかたちで、瀬戸内を回遊する拠点機能を強化・整備いたしますことで、漁港や港湾機能の再生につなげますと同時に、あいお荘や、車えび養殖、美濃が浜きらら浜など、多くの観光資源に恵まれる本市の瀬戸内沿岸部を訪れる楽しさ、そして、そこで暮らす豊かさを再認識で

きる、そうした新たな視点、光をあてていく施策を展開してまいりたいと考えているところでございます。

こうした考えのもとで、農山村を面的に再生する、いわば「エリア・リノベーション」が展開可能となるような新たな拠点づくりや取組について、第二次山口市総合計画前期基本計画において位置づけることを、今後、検討してまいりたいと考えております。

合併以前には旧町ごとの総合計画があったはずなので、次期総合計画の基本構想では、地域ごとの特性を把握し、生かすためにも地域版総合計画が必要ではないかと考えるが、市長のお考えを伺う。

【答弁】

(中略) こうした「個性と安心の地域づくり」を実現する諸施策を通じまして、市内21の地域における、地域づくりを推進してまいりたいと考えておりますし、議員御案内の地域版総合計画につきましても、これまでも御説明申し上げておりますとおり、「地域づくりの方向性」として、地域別計画を前期基本計画に位置付け、市の施策との関連付けを記載することといたしております。

現在、各地域づくり協議会と地域交流センターにおきまして、地域づくり計画をもとに、地域の特性や課題、各地域づくり協議会が目指される地域の姿、今後の地域づくりの方向性や取組を検討されているところでございまして、前期基本計画の中で記載いたし、本年10月には、前期基本計画の素案として、お示してまいりたいと考えております。

次期総合計画の策定については、山口・小郡の両都市核のそれぞれの役割分担により、実質的に、小郡地域への本庁舎整備が制限されている。

しかし、小郡地域には、教育機関の立地も多く、今後、新山口駅北口拠点施設には図書館や多目的ホールの整備も予定されている。小郡地域の都市核づくりにおいても、山口都市核と同様に、行政、文化、教育、文化等の都市拠点整備が進められるよう、小郡地域の都市核づくりに制限を設けない内容に、第二次山口市総合計画の基本構想を見直すことはできないか、市長のお考えを伺う。

【答弁】

(中略) 基本構想の骨子案における考え方といたしまして、小郡都市核につきましては、山口、宇部、防府という3つの都市核の中心に位置し、整備された道路網等により、約30分でのアクセスが可能な重要な交通結節点としての優位性から、議員御案内のとおり、まさに県の玄関としての特性と個性を有して

いるものと認識をいたしているところでございます。

一方で、人口集中地区、いわゆるD I Dの人口は、山口が約8万1千人、宇部が約9万人、そして防府が約7万1千人となっております中で、小郡のD I Dは約1万7千人という状況でございます。

こうしたことから、今後、小郡都市核が新たな交流や広域的な経済の拠点として都市空間を形成し、さまざまな民間投資を呼び込んでいくためには、山口都市核はもとより、宇部、防府をはじめとした県央部の各地域の発展が欠かせないものと考えておりますし、また、各地域の発展に向けては、小郡都市核の広域交通結節点としての機能を十分に発揮させていくことが重要であると考えているところでございます。

こうした考え方のもと、山口市総合計画策定協議会や策定本部会議における検討を重ね、基本構想の素案策定に向けた中間整理におきまして、目指すべき都市構造に「好影響・好循環のまち」を掲げ、都市拠点や地域拠点それぞれの個性や特性に応じた機能を高め、つながることで、「人・モノ・資金・情報」が活発に対流する都市構造を目指し、本市全体の発展につなげてまいりたいとの考えをお示しいたしたところでございます。

また、こうした中で、山口、小郡の両都市核における高次の都市機能につきましては、山口都市核には、長い歴史の中で積み重ねてきた行政、文化、教育、商業、観光などの都市の特性や既存ストックをより高める方向性を、そして、小郡都市核には、県全体の玄関にふさわしい、交通結節やアクセス機能の強化を図り、新たな交流や広域的な経済の拠点としての都市空間を形成していく方向性をお示しいたしているところでございます。

現在の小郡都市核づくりにつきましては、新県都のまちづくり計画、いわゆる合併時の新市建設計画をはじめ、新市建設計画の都市像を踏まえた現在の総合計画、そして、この総合計画の部門計画に基づいて取り組んでおり、新山口駅ターミナルパーク整備事業をはじめ、平成32年度の供用開始を目指しております新山口駅北地区重点エリア内における拠点施設整備など、新山口駅や周辺市街地を中心に、県の玄関にふさわしい新たな市街地形成を進めているところでございます。

平成30年度からを計画期間とする第二次山口市総合計画におきましては、これまでの小郡都市核づくりの継続性の観点と同時に、新山口駅周辺の発展、そして、本市全体の発展を願う合併時の多くの関係者の思い、そうしたものを実現いたしますためにも、基本構想における目指すべき都市構造の中で、山口、小郡の両都市核の個性と特長に応じたまちづくりを進めていくことを、明確に位置づけてまいりたいと考えているところでございますので、御理解を賜りたいと存じます。

平成29年第4回定例会

第二次山口市総合計画素案において、「広域県央中核都市づくり」と「個性と安心の21地域づくり」を引き続き、都市政策の柱とされたことに対する市長の思いを伺いたい。

【答弁】

(前略) 議員御案内のとおり、この8つの重点プロジェクトの一つ目に、魅力あふれる県都づくり「広域県央中核都市づくり」を位置付け、二つ目に、協働による「個性と安心の21地域づくり」を位置付けておりますのは、都市政策の2つの柱そのものを重点プロジェクトとして前期基本計画のもとで施策展開し、この5年間において、将来に渡る本市の都市政策の柱を磐石にいたしましたとの考えからでございます。

こうした中で、まず、「広域県央中核都市づくり」につきましては、これまで、県央部の60万人から70万人の都市圏を「広域経済・交流圏」として捉え、圏域全体の経済成長や定住促進に貢献できる、魅力的な県都づくりに取り組んでまいりました。

そして、御案内のとおり、本年3月には、本市と宇部市が連携中枢都市として中心的な役割を果たす中で、連携中枢都市圏である「山口県央連携都市圏域」を、近隣7市町で形成いたしましたところございまして、県央部は、人口減少時代にあっても圏域全体として活力ある社会経済を維持していく都市圏として、国においても位置づけがなされたところでございます。今後、本格的な人口減少時代が到来し、超高齢社会への到達が見込まれる中であって、これまで以上に、本市が県都として、また、連携中枢都市として、その役割を果たしていくことが求められることになると考えております。

従いまして、本市の山口都市核・小郡都市核が互いに個性や特長を高め合い、高次の都市機能を集積し、若者等の雇用の受け皿となるサービス業の振興などを図る「広域県央中核都市づくり」の必要性が、更に高まっているという認識のもとで、第二次山口市総合計画の策定を進めているところでございます。

(中略) 次に、もう一つの都市政策の柱でございます「個性と安心の21地域づくり」につきましては、これまで「協働によるまちづくり」としての位置付けをいたしているところでございます。御案内のとおり、「協働によるまちづくり」は、2度にわたる合併により、広大な市域を有する本市におきまして、地域を大切にされる皆様方の強い思いと、住民自治によるまちづくりのもとで、市内21の全地域で山口式の協働のまちづくり、温かみのある地域社会を構築する取組として根付いてまいりました。

また同時に、市内21地域ごとに異なる個性や特長を生かしていく地域づくり、本格的な少子・高齢社会や人口減少に直面する中での移住定住促進策、農山村エリアの更なる活力アップ、国の小さな拠点づくりの方向性を踏まえた持続可能な日常生活圏の形成や地域拠点づくりなどの取組を、協働によるまちづくりのもとで加速する必要性が高まってまいりました。

こうしたことから、次なる10年においては「協働によるまちづくり」を、「個性と安心の21地域づくり」へと発展させて、必要なプロジェクトを展開してまいりたいと考えております。

「広域県央中核都市づくり」では、山口・小郡両都市核の発展を通じて、周辺部の発展につなげるとされているが、その考え方の根拠について伺う。

【答弁】

(前略) 議員御案内の周辺地域の発展につきましては、本市の個性ある21地域がそれぞれの個性や特長を生かし、連携を図る重層的な都市構造のなかで、本市のあらゆる地域において、豊かな自然、日常的な生活に必要な機能、高次な都市機能が将来にわたって享受でき、農山村も都市部も発展する、山口都市核も小郡都市核も発展する、山口市全体として発展していくなかで、その実現を目指しているところでございます。

こうした考え方のもとで、第二次山口市総合計画前期基本計画における8つの重点プロジェクトを位置づけておりまして、プロジェクトの展開を通じて、農山村の地域産業の振興や、人口転出超過の抑制などを、施策横断的に取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

中山間・南部地域の活力アップの取組といたしましては、移住定住の促進や、地域おこし協力隊をはじめとする外部人材の活用、空き家利活用の促進、地域製品のブランド化などを進めてまいりますとともに、地域が主体的に使い道を決定できる交付金等の柔軟な運用をはじめ、社会教育・生涯学習の充実による人材育成機能の強化や、地域防災力の充実強化、また、総合支所長による地域経営のマネジメントを強化し、総合支所等の機能を充実させ、地域のことは地域で解決できる山口らしい地域内分権の確立を図ってまいることとしております。

さらに、地域づくりの活動拠点となる地域交流センターの順次建替えや機能強化、総合支所と地域交流センターの一体的な整備のほか、阿東簡易水道の計画的な設備投資や、阿東保健センターにおける健康福祉の拠点づくり、持続可能な公共交通の構築など、安心の暮らしの機能を構築してまいりたいと考えております。

また、農林水産業の振興といたしましては、農林水産業における経営基盤の

強化や若者をはじめとする担い手の育成、あとう和牛をはじめとする畜産振興、「長門峡」道の駅や「願成就温泉」道の駅の機能強化、海洋資源の拠点整備などを検討しているところでございます。

こうした取組の展開を通じまして、農山村エリアの地域振興や、人口の転出超過抑制などを図り、市内21のいずれの地域においても、あらゆる世代が将来にわたって、安心して住み続けることができる地域づくりを進めてまいりたいと考えているところでございます。

第二次山口市総合計画（案）の基本構想では、将来都市像の実現に向け、計画期間の最終年度である平成39年度におけるまちの姿を「人口（定住人口）」「交流人口」「ふるさと指標」の3つの数値目標で表している。この3つの数値以外にも、例えば、市内総生産など総合計画の達成度を総合的に評価できる指標があると考えられる中で、この3つを選んだ理由について市長の考えを伺う。

【答弁】

（前略）まず、「定住人口」につきましては、高次の都市機能や、日常生活を支える機能としてのサービス施設は、一定の人口規模の上に成り立っておりますことから、安心の定住環境を確保するためには、人口減少時代にあっても、一定程度の人口規模を維持していく必要があると認識をいたしております。あわせて、人口減少に伴う産業活動や地域活動の担い手不足といったまちづくりへの影響などが予測される中で、御案内のとおり、本市は、「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の人口長期ビジョンにおいて、2060年に人口17万人を維持する展望を掲げているところでございます。この長期目標の達成に向けた諸施策を展開する中で、第二次山口市総合計画の計画期間の最終年度となる2027年度（平成39年度）におきまして、人口約19万人を維持していくことを展望いたしております。

また、「交流人口」につきましては、人口減少時代にあっても、本市が発展を続けていくためには、経営資源である「人・モノ・資金・情報」を市外県外から呼び込み、地域内や市内で循環させることが可能となるようなまちづくりを進める必要があります中で、そのまちづくりの姿を測る指標として、交流人口を年間600万人まで増加させることを想定し、諸施策を展開してまいりたいと考えております。

さらに、「ふるさと指標」につきましては、本市で暮らす「豊かさ」を長期的な視点で、新たに指標化したところでございます。将来都市像の目標としております「豊かな暮らし」につきましては、地域資源や人材の多様性こそが本市の豊かさの源であり、本市のまちづくりで目指す「豊かさ」を「ポ

リユームからクオリティへ」と転換し、暮らしの質を向上していくことといたしております。この暮らしの豊かさをはかる指標の考え方といたしましては、経済指標であるGDPなどもございますが、第二次総合計画では、成熟社会において多様化する「心の豊かさ」や「まちの豊かさ」の価値を包括的に捉えるために、市民の皆様一人ひとりが感じるふるさとへの愛着や誇りをはじめとした20項目をスコア化いたし、本市独自の「ふるさと指標」として表してまいりたいと考えているところでございます。

成果指標は、単年度ごとに事業の成果や進捗状況が適切に評価できるものが相応しいと考えているが、中には、効果的な事業の実施がされたにもかかわらず、その成果が数値に表れてこない指標も見受けられる。

【答弁】

(前略)議員御案内のとおり、こうした指標の中には、社会情勢や市民意識の変化に影響され、単年度の事業実施における活動量を増やし、施策展開の努力をしているにも関わらず、単年度の成果として現れにくい指標もございます。

こうした中で、施策別計画の指標につきましては、今のまちづくりの現状や到達地点を、社会情勢の変化等の諸要因も含めて確認し、評価するという側面もございますことから、現在のようなかたちで、指標を設定しているところでございますが、議員御案内のように、社会情勢の変化に、総合計画の指標が柔軟に対応できていないという課題も十分に認識をいたしておりますことから、第二次山口市総合計画における基本事業の指標につきましては、5年間の前期基本計画で設定いたしました後は、毎年度の実行計画におきまして指標の設定や見直しが可能となるかたちにしてまいりたいと考えているところでございます。

加えて、第二次山口市総合計画では、施策別計画の指標設定のほかに、8つの重点プロジェクトにおいても新たに指標を設定していることも特長でございまして、例えば、重点プロジェクトの「安全安心のまち」プロジェクトのKPIでは「災害への備えをしている市民の割合」という市民の主体的な行動を測る指標を設定いたしております。こうした重点プロジェクトの指標と、従来からの施策別計画の指標を併せてお示しし、評価することで、施策の成果を総合的に把握できるものとも考えているところでございます。

3. 「大好きなまち山口」 絵画コンクール

第二次山口市総合計画の策定は、市民の皆様とともに進めてまいりました。

市内小中学生の皆さんには、「これが私のふるさとだ 山口」をテーマに絵画の募集を行い、山口市の未来の姿を自由な発想で描いていただきました。

テーマ：これが私のふるさとだ 山口

応募期間：平成29年7月10日（月）～9月5日（火）

応募点数：507点うち（入賞29点、入選144点）

最優秀賞

小学校低学年

阿知須小学校2年 ^{むかいやま} 向山 ^{たくみ} 拓実さん
「うんどう大好き 山口市」



小学校中学年

附属山口小学校4年 ^{たにがわ} 谷川 ^{きら} 煌さん
「山口のちょうちん祭」



小学校高学年

附属山口小学校6年 ^{いしい} 石井 ^{すずな} 鈴菜さん
「ずっと大好き 笑顔いっぱい



中学生

白石中学校3年 ^{さとう} 佐藤 ^{のぞみ} 希さん
「輝く、山口。」



優秀賞

小学校低学年

小郡小学校2年 やまね いすず 山根 五十鈴 さん
「自然と音楽のまち - やまぐち -」



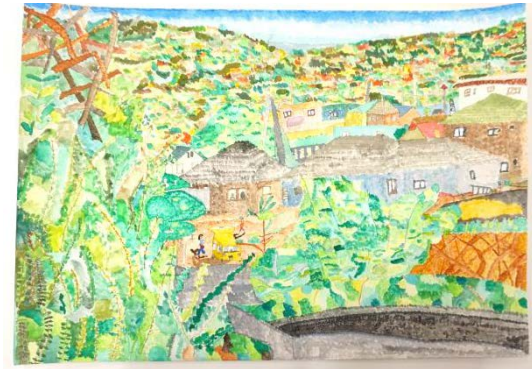
小学校中学年

陶小学校3年 とみむら しょうたろう 富村 祥太朗 さん
「未来へむかってかわる山口 かわらない
ぼくのふるさと」



小学校高学年

嘉川小学校6年 みお けいこ 三輪 恵子 さん
「大好きな町」



中学生

附属山口中中学校2年 ふくだ はるか 福田 遥 さん
「花火を見ながら」



レノファ賞

良城小学校5年 浦^{うら}ことみさん
「レノファ J1めざしてみんなで応援！！」



特別賞 (小学校低学年)

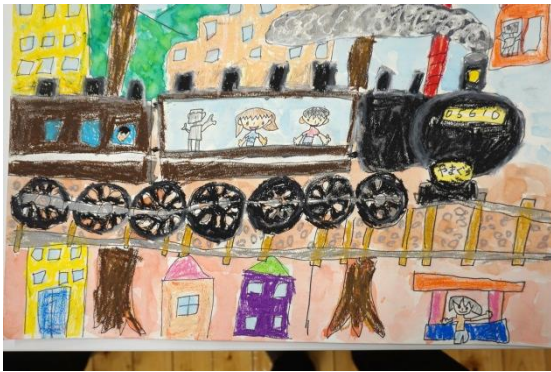
大歳小学校1年 ^{このの}今野 ^{このみ}心美さん
「みどりのやまぐち」



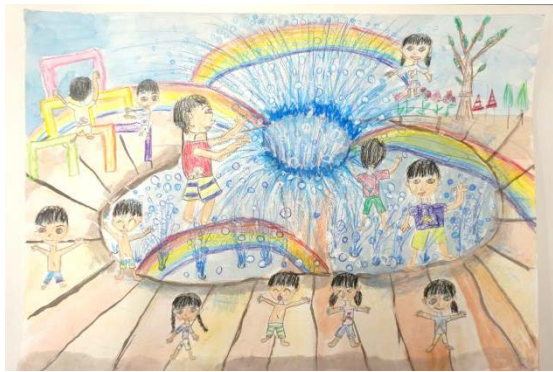
小鯖小学校1年 ^{しばさき}柴崎 ^{ひまり}向日葵さん
「いつまでもしぜんいっぱい山口」



上郷小学校1年 ^{ないとう}内藤 ^{みう}美羽さん
「エスエルみらいのへや」



大内南小学校2年 ^{なかむら}中村 ^{ゆうか}ゆうかさん
「いつまでもみんなあつまれ ふんすいひろば」



附属山口小学校2年 ^{やすもと}安本 ^{りお}梨央さん
「ゆめのまち やまぐち」



特別賞（小学校中学年）

生雲小学校3年 ^{すいず}水津 ^{まさき}真稀さん
「しぜんがいっぱい山口市」



大内小学校3年 ^{すえなが}末永 ^{あや}綾さん
「山口のSL」



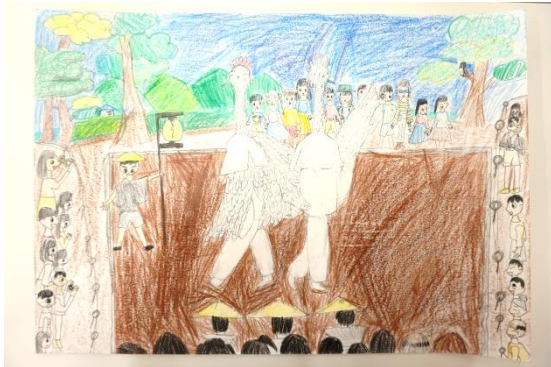
湯田小学校4年 ^{たなか}田中 ^{はる}華さん
「かわいい楽しい山口市」



宮野小学校4年 ^{みぎた}右田 ^{あい}愛佳さん
「緑ゆたかな温かい町」



良城小学校3年 ^{もとしい}元石 ^{ななみ}ななみさん
「みんなでみた白サギのまい」



特別賞（小学校高学年）

良城小学校6年 伊藤 里紗 さん
「がんばれレノファ！！」



湯田小学校6年 中村 敬久 さん
「どこへでもひとつとび」



小郡小学校5年 原田 汐乃 さん
「残したい山口」



陶小学校6年 福江 真歩 さん
「みんないきいき 幸せあふれる山口」



鑄銭司小学校6年 山下 詩瑠葉 さん
「家から見た景色」



特別賞 (中学生)

附属山口中学校2年 ^{おおつか}大塚 ^{てんせい}天誠さん
「ホタル舞う山口」



鴻南中学校1年 ^{おだ}小田 ^{ひまり}日鞠さん
「お年寄りと子供のふれあい」



附属山口中学校2年 ^{かおもり}兼森 ^{まみ}方実さん
「いつまでも同じ夜空」



附属山口中学校3年 ^{こうの}河野 ^{りな}李奈さん
「世界へ発信! ~いろんな国から おいでませ~」



附属山口中学校2年 ^{わたなべ}渡邊 ^{りんか}凜香さん
「姫山」



4. 市民意識調査結果概要<抜粋>

(全編は、第1回山口市総合計画策定協議会「資料3」にて配布済)

1) 調査概要

(1) 調査の目的

山口市は、平成19年11月に『山口市総合計画』を策定し、10年後のめざすまちの姿「ひと、まち、歴史と自然が輝く交流と創造のまち 山口」の実現に向け、諸施策に取り組んでいるところである。

次期総合計画の策定を平成30年に控え、本格的な人口減少時代や高齢社会の到来、経済のグローバル化など、本市を取り巻く環境は大きく変化している。

こうした状況を踏まえ、『市民意識調査』を次期計画策定にあたっての基礎資料とするために実施したもので、将来的な行政ニーズやこれからの市民意識がどこに向かおうとしているのかを把握することを主な目的としている。

(2) 調査対象者

山口市内に在住する18歳以上の市民約5,000人(無作為抽出)

(3) 調査方法

郵送方式・本人記入

(4) 調査期間

平成27年9月8日(火)から9月30日(水)まで

(5) 調査項目(全12問(28項目))

- ①回答者の属性
- ②生活形態(充足度)
- ③地域・市の満足度
- ④誇れる地域資源
- ⑤今後のまちづくりについて
- ⑥現状の市民意識
- ⑦人口減少・高齢社会について
- ⑧総合計画の現状満足度

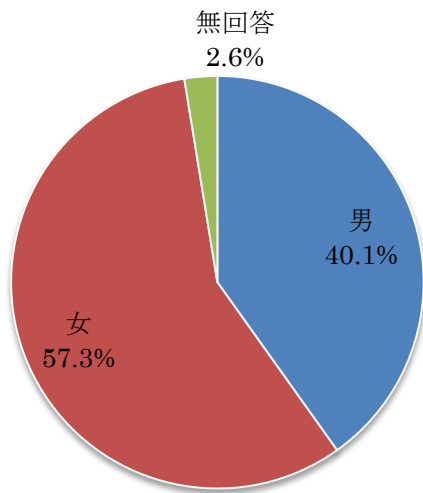
(6) 回収結果

総配布数 5,037人
回収数 2,573人
回収率 51.1%

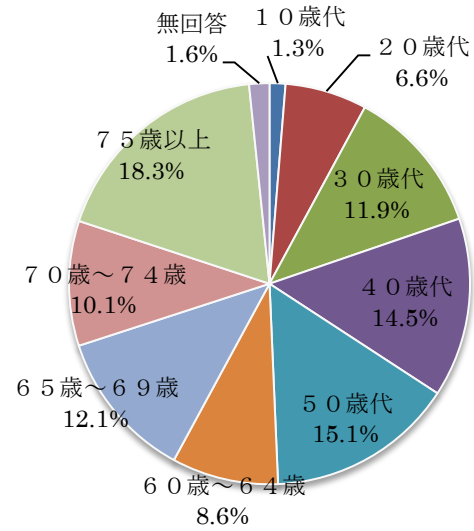
2) 集計結果 (一部抜粋)

(1) 回答者属性

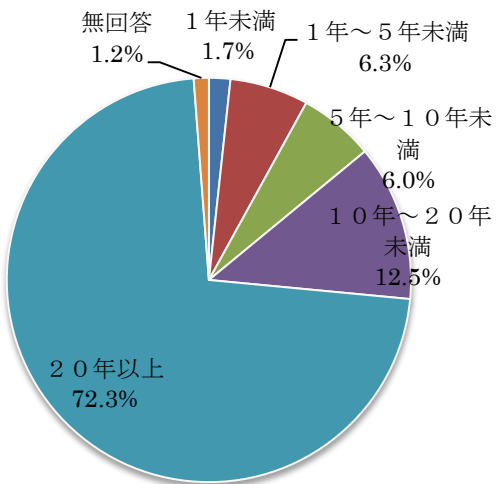
①性別 (n=2,573)



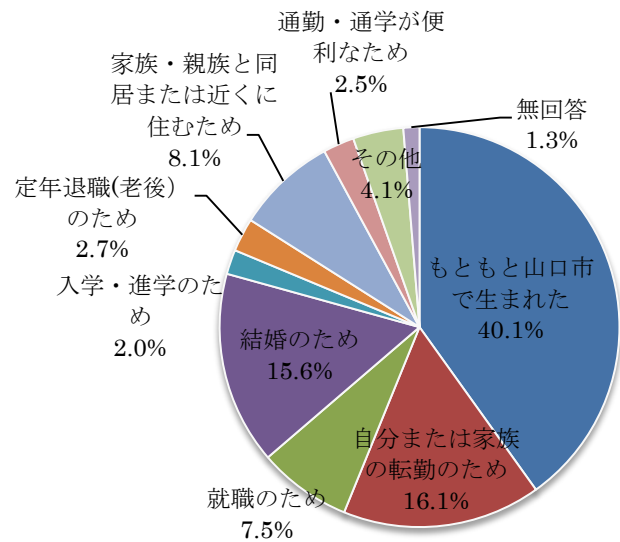
②年代別 (n=2,573)



③居住年数別 (n=2,573)



④居住理由 (n=2,623)

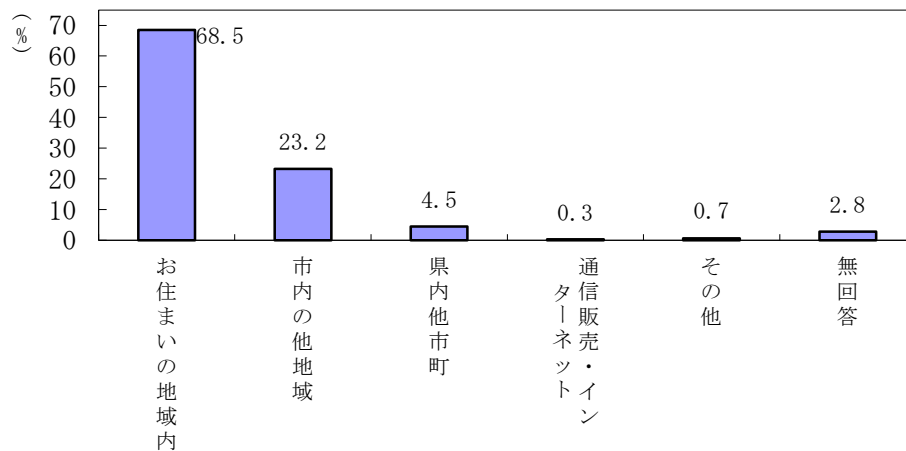


(2) 食料品、日用雑貨などの買い物場所

食料品、日用雑貨などの買い物場所については、「お住まいの地域内」が68.5%と最も高い値を示し、続いて「市内の他地域」が23.2%となっている。

地域別では「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、大内の95.1%、小郡の87.4%、平川の83.8%など、「県内他市町」で高い数値を示しているのが、徳地の31.0%、阿知須の22.6%、佐山の20.0%などとなっている。

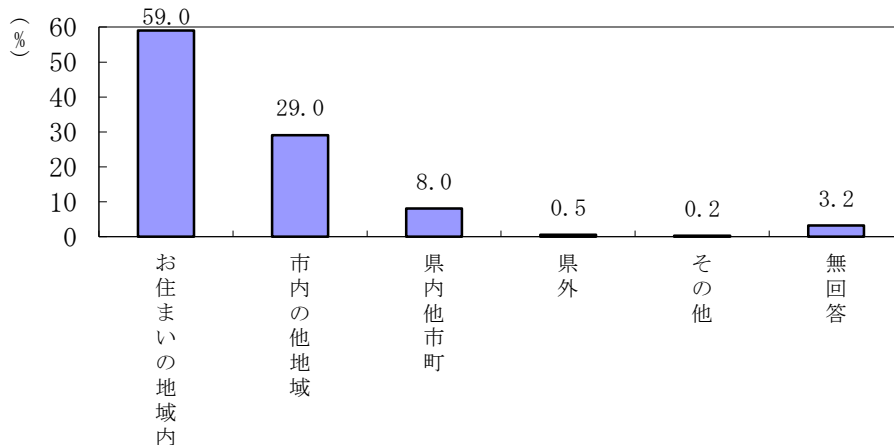
年齢別では「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、75歳以上の77.1%、20歳代の72.4%となっている。また「県内他市町」で高い数値を示しているのが、50歳代の6.7%、40歳代の5.9%となっている。



(3) 通院医療機関の所在地

通院医療機関の所在地については、「お住まいの地域内」が59.0%と最も高い値を示し、続いて「市内の他地域」が29.0%となっている。

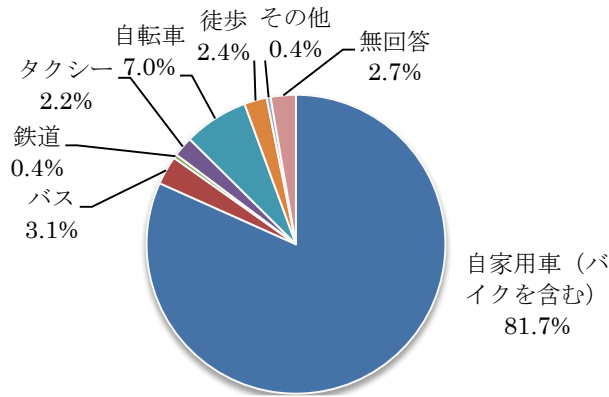
地域別では「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、小郡の84.6%、湯田の74.8%、大内の70.8%など、「県内他市町」で高い数値を示しているのが、徳地の74.0%、秋穂の29.6%、阿知須の26.1%などとなっている。



(4) 買物や通勤の際の交通手段

全体では、1位が「自家用車（バイクを含む）」の81.7%、続いて「自転車」の7.0%、「バス」の3.1%、「徒歩」の2.4%、「タクシー」の2.2%、「鉄道」の0.4%、「その他」の0.4%となっている。

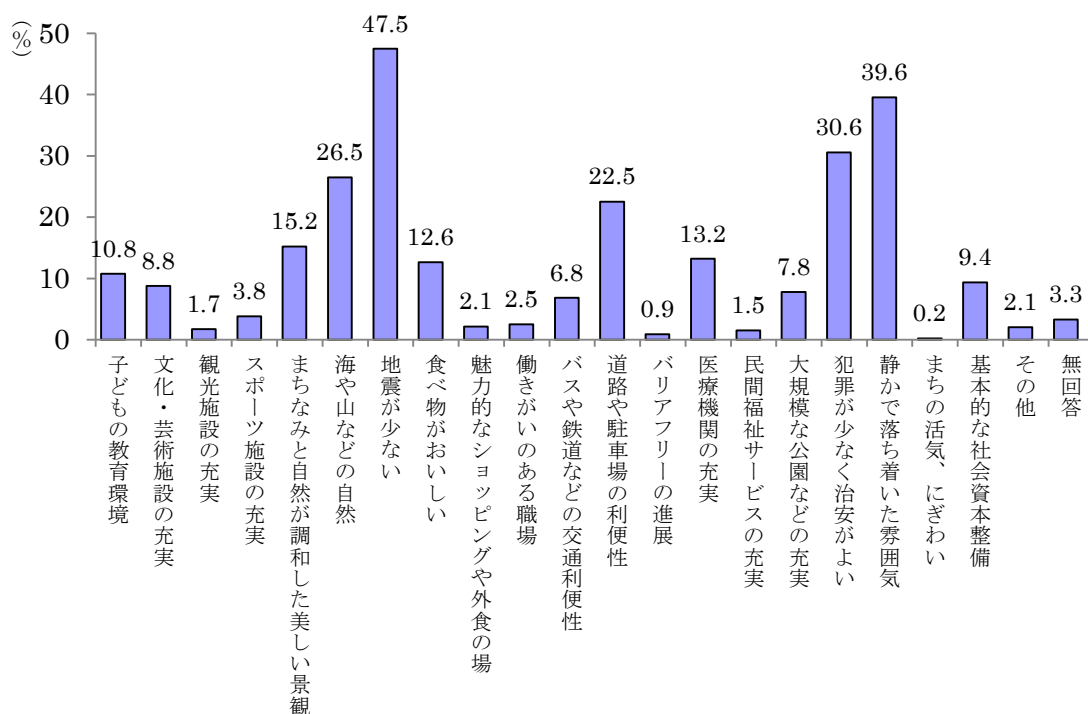
年齢別では、10歳代の「自転車」（51.5%）、「徒歩」（6.1%）が他の年齢に比べて高くなっており、75歳代以上の「バス」（11.0%）、「タクシー」（9.3%）が他の年齢区分に比べて高くなっている。



(5) 山口市で暮らす上で評価していること

「山口市で暮らす上で評価していることを、3つまで選んでください」の設問に対する回答として多かったのが、1位が「地震が少ない」で47.5%、2位が「静かで落ち着いた雰囲気を持っている」で39.6%、続いて「犯罪が少なく治安がよい」が30.6%、「海や山などの自然に恵まれている」が26.5%、「道路や駐車場が整備され自動車の移動に便利である」が22.5%、となっている。

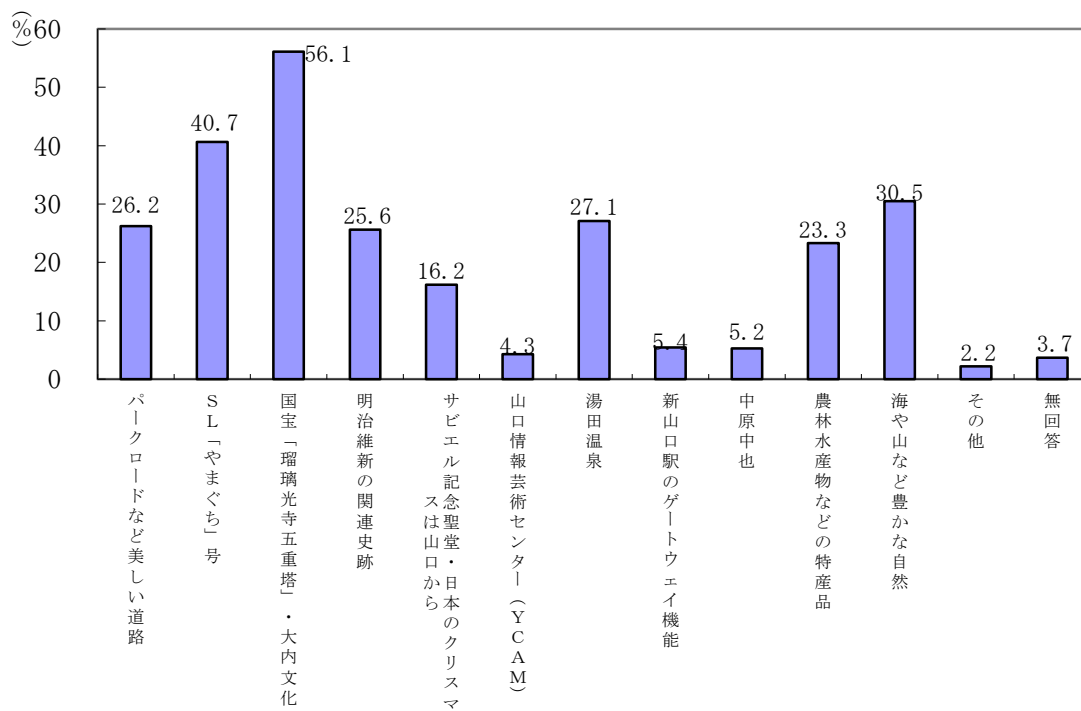
年齢別では、「地震が少ない」が10歳代、40歳代以上で1位、「静かで落ち着いた雰囲気を持っている」が20歳代、30歳代で1位となっている。



(6) 山口市の地域資源（3つまで選択）

全国に誇れる山口市の地域資源については、最も多いのが「国宝『瑠璃光寺五重塔』・大内文化」で56.1%、次いで「SL『やまぐち』号」で40.7%、続いて「海や山など豊かな自然」で30.5%、「湯田温泉」が27.1%、「パークロードをはじめとした美しい道路」が26.2%、「明治維新の関連史跡」が25.6%、「農林水産物などの特産品」が23.3%となっている。

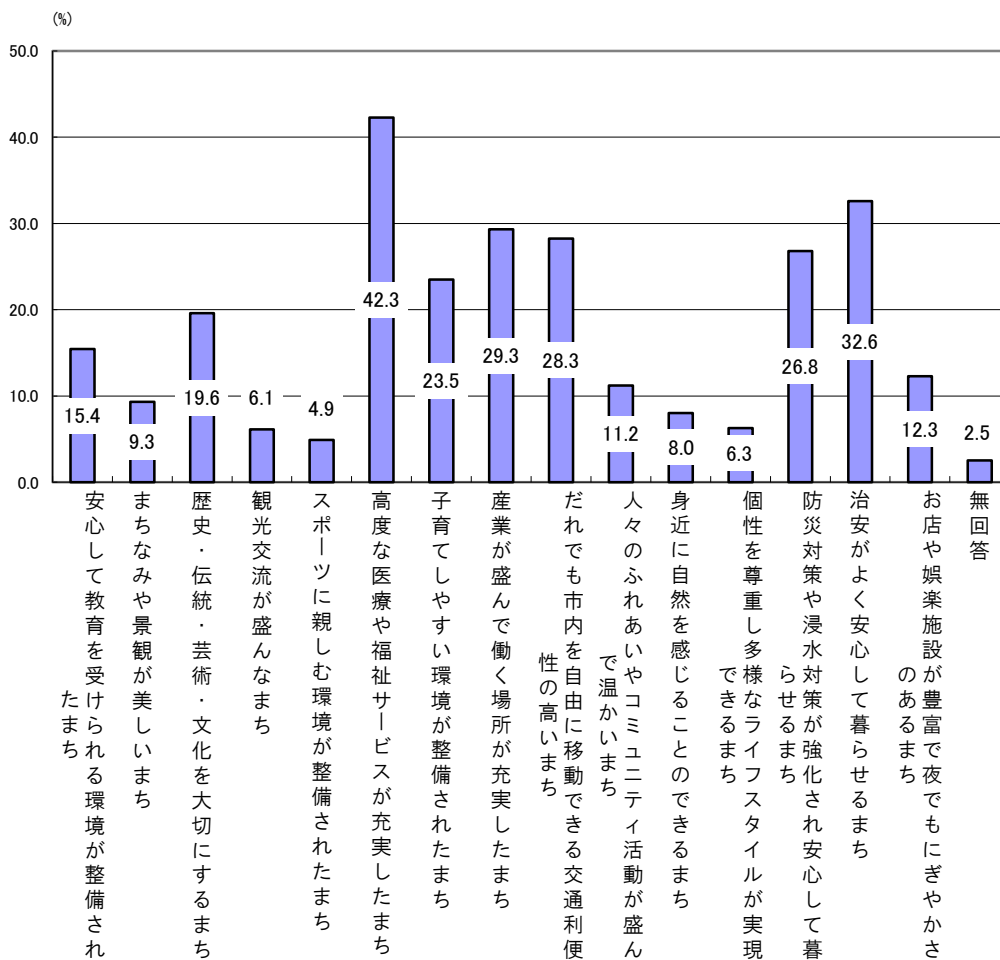
年齢別では、「SL『やまぐち』号」が30歳代以下で1位、「国宝『瑠璃光寺五重塔』・大内文化」が40歳以上で1位となっている。



(7) 今後のまちづくりに必要なこと（3つまで選択）

「今後のまちづくりに必要と思われること」についての回答は、最も多いのが「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」で42.3%、次いで「治安がよく安心して暮らせるまち」で32.6%、続いて「産業が盛んで働く場所が充実したまち」で29.3%、「だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち」が28.3%、「防災対策や浸水対策が強化され安心して暮らせるまち」が26.8%、「子育てしやすい環境が整備されたまち」が23.5%となっている。

年齢別では、「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」が40歳以上で1位、「子育てしやすい環境が整備されたまち」が30歳代で1位、「だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち」が20歳代以下で1位となっている。「お店や娯楽施設が豊富で、夜でもにぎやかさのあるまち」が20歳代で1位（20歳代は上位2項目が同率）となっている。



(8) 山口市が目指すまちの姿（記述回答）

「山口市が目指すまちの姿」についての記述意見は、全体で1, 561人の記載があり記載者割合は60.7%となっている。

意見は、下表のとおり、前述の「今後のまちづくりに必要なこと」の設問区分に分類し、複数分野にわたる意見は「まちづくり全般」として分類した。その他、どの区分にも属さない意見については、「その他」として分類した。

最も多いのが、「まちづくり全般」で365件、次いで「産業が盛んで働く場所が充実したまち」が246件、「交通利便性の高いまち」が217件、「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」が145件、「子育てしやすい環境が整備されたまち」が126件などとなっている。

区分	意見件数
1. 安心して教育を受けられる環境が整備されたまち	29
2. まちなみや景観が美しいまち	25
3. 歴史・伝統・芸術・文化を大切にするまち	51
4. 観光交流が盛んなまち	51
5. スポーツに親しむ環境が整備されたまち	15
6. 高度な医療や福祉サービスが充実したまち	145
7. 子育てしやすい環境が整備されたまち	126
8. 産業が盛んで働く場所が充実したまち	245
9. だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち	217
10. 人々のふれあいやコミュニティ活動が盛んで温かいまち	76
11. 身近に自然を感じることのできるまち	29
12. 個性を尊重し多様なライフスタイルが実現できるまち	18
13. 防災対策や浸水対策が強化され安心して暮らせるまち	93
14. 治安がよく安心して暮らせるまち	80
15. お店や娯楽施設が豊富で、夜でもにぎやかさのあるまち	115
16. まちづくり全般	365
17. その他	34
合 計	1,714

【参考】市民の皆様が考える「今後の山口市のまちづくりに必要なこと」（上位3つ）

- 1位「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」 42.3%
- 2位「治安がよく安心して暮らせるまち」 32.6%
- 3位「産業が盛んで働く場所が充実したまち」 29.3%

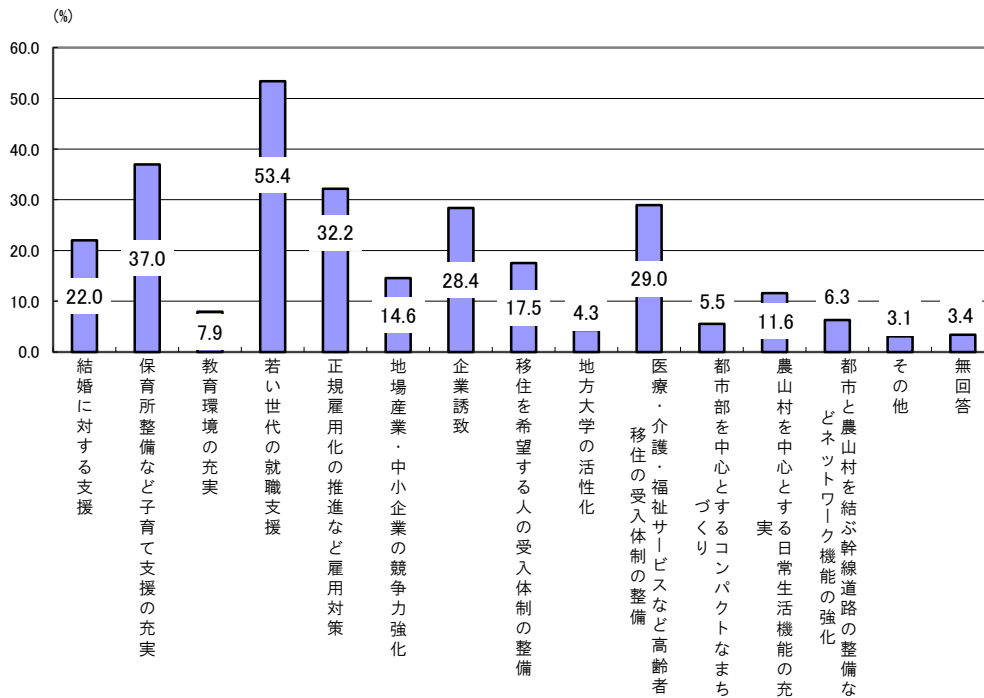
こうした、市民意識調査で高かった項目は、重点プロジェクトとして反映しております。

(9) 人口減少や高齢社会の歯止めをかけるのに必要な取り組み（3つまで選択）

「人口減少や高齢社会の歯止めをかけるのに必要な取り組み」についての回答は、最も多いのが「若い世代の就職支援」で53.4%、次いで「保育所整備など子育て支援の充実」で37.0%、続いて「正規雇用化の推進など雇用対策」が32.2%、「医療・介護・福祉サービスなど高齢者移住の受入体制の整備」が29.0%、「企業誘致」が28.4%となっている。

男女別では、「企業誘致」が男性31.1%に対して女性26.5%、「地場産業・中小企業の競争力強化」が男性18.7%に対して女性11.7%と、男性のポイントが高くなっている。

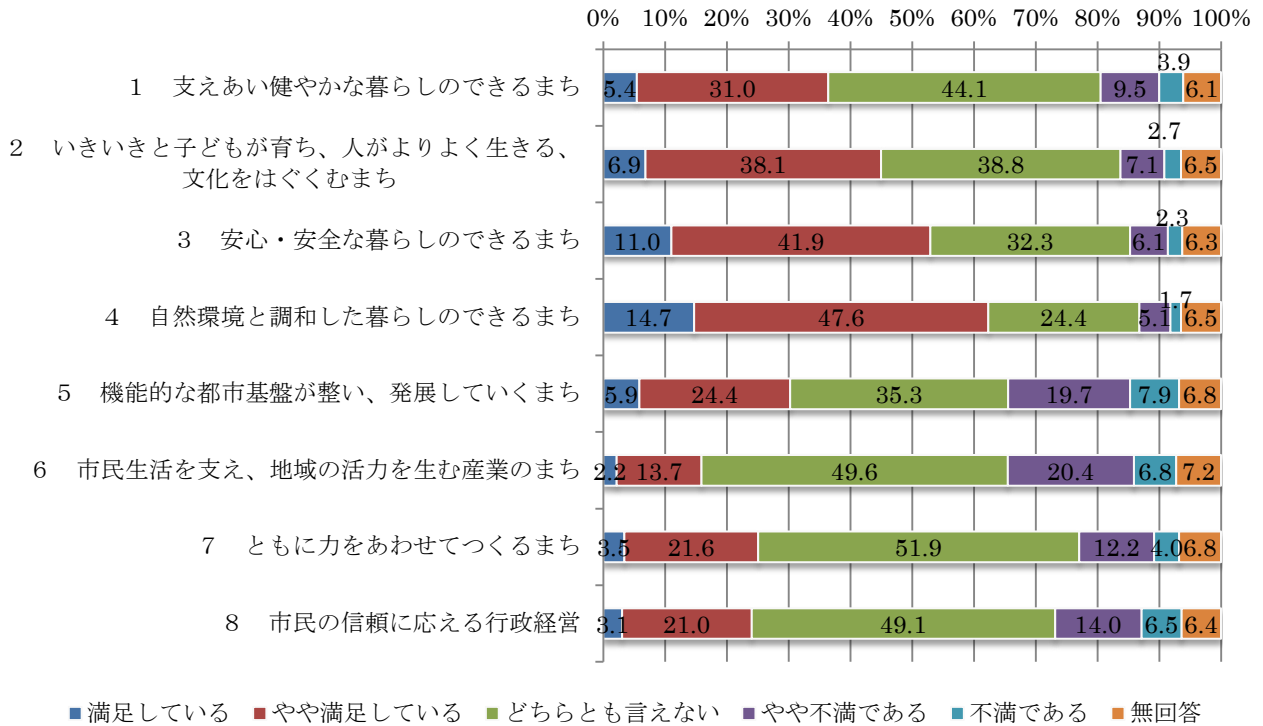
年齢別では、「若い世代の就職支援」が30歳代を除く年齢区分で1位となっている。30歳代は「保育所整備など子育て支援の充実」が1位となっている。



(10) 山口市のまちづくりに対する満足度

分野ごとに「山口市が取り組んでいるまちづくりについて、どのくらい現状に満足されていますか」と尋ねたところ、「満足している」「やや満足している」の割合が高い分野は「自然環境と調和した暮らしのできるまち」(62.3%)が最も高く、次いで「安心・安全な暮らしのできるまち」(52.9%)が高くなっている。

一方「市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち」(15.9%)や「市民の信頼に応える行政経営」(24.1%)は低くなっている。



5. パブリックコメント

1. 募集期間 平成29年11月29日～平成29年12月28日

2. 意見提出者 4名

意見者	意見の要旨	意見に対する市の考え方
意見者1	① 山口市は車が無くては生活できない地域。それ故、施設には無料の駐車場を完備することを基本としてください。	① 市の公共施設の駐車場につきましては、駐車場の利用状況や民間駐車場などの周辺状況のほか、市民会館など施設の目的に応じて、受益者負担などの観点から、駐車場の無料、有料を検討する必要があると考えております。
意見者2	<p>① 新庁舎の位置について、山口市の総合的な発展とともに中核市になれる位置(新庁舎の位置)を自らふさぐようでは大した発展は望めない。</p> <p>② 南部地域について都市計画ができていないところが多すぎる。都市計画が北部に偏っており、限界にきていることに気付いていない。</p> <p>③ 山口市の市政の相談相手が学識経験者を多く求めていることに問題があるといえます。民間の実業の経験者の意見を多く入れないと。</p>	<p>① ⑥新本庁舎の整備につきましては、「山口市本庁舎の整備に関する検討委員会」においてご審議いただき、本庁舎整備の必要性、本庁舎に必要な役割や機能、規模、候補地など本庁舎の整備の方向性について答申をいただきました。</p> <p>新本庁舎を整備する位置につきましては、検討委員会からの答申書のほか、「移動市長室」でのご意見や、山口・小郡都市核づくりなどを踏まえまして、本市において改めて検証を行い「現在地及び中央駐車場」において整備していくことを「山口市新本庁舎整備基本方針(案)」にお示しいたしました。</p> <p>② ご指摘の内容は意見として参考にいたします。</p> <p>③ 山口市総合計画策定協議会の委員は、都市計画や防災の学識経験者をはじめ、自治会連合会、商工会議所、観光関連団体、農業協同組合、森林組合、金融機関、宅建協会、交通事業者、報道関係、教育・子育て、福祉、環境、地域連携、一般公募などから構成され、幅広い分野からご意見をいただいているところでございます。</p>

	<p>④ このような人口の県都に責任を感じていない市政の運営者がおおすぎるところに問題がある。</p> <p>⑤ 納税者のことをもっと考えないと総合的な山口市の発展はないと思います。</p> <p>⑥ 新庁舎の位置について旧小郡町の住民に代表されるように、もっと本質的にグローバルな発展を思考しての合併ができたことを忘れて、手前みその従来の市政に小さく治まろうと見て取れる。 Change, Challenge が不足している。</p>	<p>④ ご指摘の内容は意見として参考にいたします。</p> <p>⑤ ご指摘の内容は意見として参考にいたします。</p> <p>① とあわせて考え方をお示ししています。</p>
<p>意見者 3</p>	<p>① 「本市の最上位の計画」としているが、市役所の仕事・役割のみの経営計画なのか。市民・民間事業者の力・協力、役割分担を要請する必要はないのか。</p> <p>② ・産業・雇用構造において、市域内の産業構造の実態把握が計画作成の思考ベースとして必要ではないか。(市民が他市の工場に従業しても本市の製造業としてカウントしていると思われる。)</p> <p>・安全安心意識の高まりの指摘はあるが、病院・養護・介護等の施設の充足度は他都市と比較してどうなのか、記載が欲しい。</p>	<p>① 第二次総合計画の基本構想は、地域全体で目標を共有する公共計画です。そのため議会の議決をいただき、計画を策定することとしております。</p> <p>② ・国勢調査では、「山口市内に常住する就業者総数」と「山口市内で従業する就業者総数」を産業別に調査結果として公表されています。また、経済センサスにおきましても産業別に従業者数なども公表されているところです。総合計画策定にあたりましても、こうした統計調査に基づきまして、本市の産業構造について把握しているところです。</p> <p>・県内の医療提供体制の現状につきましては、県の「山口県保健医療計画」において掲載され、また、本市の「山口市介護保険事業計画」、「山口市高齢者保健福祉計画」、「山口市元氣いきいき推進計画」では、健康福祉の各分野における本市の現状把握や、施設の整備計画など掲載しているところです。</p> <p>総合計画の策定にあたりましては、施設の充足度に関する他都市との比較ではなく、本市の医療・介護の現状を踏まえた上で、具体的な事業の検討を進めてきたところでして、市民の健康づくりを支える環境づくりとして、多世代交流や生涯</p>

	<p>・他都市との安全安心施設の密度比較の一つとして、東洋経済社の「すみよいまちランキング」におけるランクアップを計画の目標の一つにすることを提案します。</p> <p>③ 時代の潮流や課題の項目において、市民性、教育水準、教育機関、文化水準などの課題が欠落している。教育分野では、市内の高校に電気・化学・建築・土木科がない。設置を希望・促進はしないのか。</p> <p>④ 「連携中枢都市圏の形成」、「高次都市機能の集積・強化」について、内容等を具体的に示す必要がある。</p> <p>⑤ 生産性の高い産業の集積・強化、とりわけ製造業で経済活動を引っ張る発想はできないのか。</p>	<p>活躍の場づくりなどをプロジェクトに位置づけたところであります。</p> <p>なお、本市の医療や福祉の充実度につきましては、今後も、市民アンケート等を通じ把握してまいり、必要な施策の展開を検討してまいります。</p> <p>・ご提案の「すみよいまちランキング」の指標設定でございますが、第二次総合計画では、実際に現在本市にお住まいの方が、どの程度住み良いと感じていただいているのか、市民アンケートを通じた「ふるさと指標」をこの度、新たに目標数値として設定いたしました。</p> <p>なお、全国都市との相対的な比較が有効な本市の認知度を測る指標といたしまして、「文化・スポーツ・観光なら山口」プロジェクトにおいて、ブランド総合研究所による「地域ブランド調査」の市区町村ランキングのランクアップを設定する予定としております。</p> <p>③ 本県は、県土構造として中小都市が分散する分散型都市構造にあり、県立高校の学科設置につきましては、県内の産業構造に基づき県において進められてきました。今後の社会情勢の変化などを注視し、必要に応じて県に働きかけしていくことも検討してまいります。</p> <p>④ 「連携中枢都市圏の形成」、「高次都市機能の集積・強化」につきましては、「重点プロジェクト1 広域県央中核都市づくりプロジェクト」の中で取組みを掲載しております。なお、ご意見を伺い、用語の説明について、用語集において補足説明をさせていただきます。</p> <p>⑤ ご指摘のとおり、生産性の高い産業の集積・強化を目指し、新しい産業団地の整備をはじめ企業誘致の取組みを強化していくこととしております。また、地方都</p>
--	--	--

	<p>⑥ 山口市に「豊かさ」があるのか。(山口には自然しかない)有りすぎて量より質への転換と受け止められる。質の向上は当然のこと。あえて強調する必要があるのか。</p> <p>⑦ 「交流」とは行き来、一定時間ごとに交互に逆向に流れること。「人と人」は交流しない。「ふれあう」「仲良くする」などの表現が抜けていないか。</p> <p>「地域と地域」も交流しない。地域の人が他地域へ行きやすいように道路や交通手段を整備する意味だと思う。</p> <p>「都市と都市」も都市間の無駄な競争を避け、機能・役割分担、仲良くして共に発展しようという意味ではないか。であれば、表現が不十分と思う。</p> <p>⑧ 交流人口の規模が市民経済・市民所得にどの程度の影響・寄与しているのか説明がほしい。</p> <p>また、交流人口の定義が必要ではない</p>	<p>市における若者の雇用の大半を占めるサービス業の振興も進めることとしています。</p> <p>⑥ 「豊かさ」につきましては、本市における自然、歴史、文化、産業、まち、人材などの本市の地域資源の多様性こそが本市の豊かさの源であり、これらを生かしていくこと、そして、市民一人ひとりの価値や多様性を大切にし、共感することで、豊かな地域社会を築いてまいりたいと考えております。</p> <p>こうしたことから、豊かさの価値観、豊かさの「ものさし」をボリュームからクオリティへ転換していくことを目指していくこととしております。</p> <p>⑦ 交流には、人や地域などがつながり、地域の産業や文化を活性化させ、経済効果を生み出す3つの交流のあり方を定義付けております。</p> <p>まず、「人と人」の交流として、あらゆる世代や団体等が、見守り、助け合い、共に地域の課題を解決していく交流のまちです。</p> <p>次に、「地域と地域」の交流として、市内21地域が、それぞれの地域特性や個性を高め、地域間交流やネットワークの強化を図ることで、市内どの地域でも住みよいかたちとなる交流のまちです。</p> <p>さらに、「都市と都市」の交流として、近隣都市や海外との連携を図り、活力ある経済活動や高次の都市機能が確保された交流のまちです。</p> <p>こうした交流が、重層的につながるまちを目指しているところです。</p> <p>⑧ 交流人口増大による経済効果は観光庁において試算されており、定住人口1人当たりの年間消費額(124万円)は、宿泊26人分又は、日帰り旅行者83人分</p>
--	---	--

	<p>か。(通勤・通学で本市に流入する人も含めていないか)</p> <p>⑨ 「佐山」や「鑄銭司」の工業団地は人口集中地域から遠く離れている。団地の近くに公営住宅などつくる用意はあるのか。人口集中地域の宮野・大内・小鯖に企業誘致を積極的に進める計画がほしい。</p> <p>⑩ 技能・職業訓練所や土木施工資格の取得教育塾等の誘致などはしないのか。</p> <p>⑪ 21地域の各拠点から1km以内に新規立地する企業の固定資産税5年間免除等の優遇策で拠点集中化を誘導すべきと思う。同様に、阿東地域、徳地地域など過疎化が進む地域について、「移住後5年間の固定資産税免除」、「空き家への転居は家賃補助」などどうか。</p> <p>⑫ 市内の観光資源は、温泉、大内遺産、維新遺産のみ、自然遺産は皆無に近い。直ちにできることは、「継続で四季変わる植栽や香り彩で町並みや地域を形つくる」運動を先導する計画を提案したい。</p> <p>⑬ 地域別計画について、21地域それぞれ</p>	<p>に相当するものとされています。</p> <p>本市では、こうした試算を踏まえたうえで、人口減少時代における地域経済の縮小を交流人口の増大による経済効果で置き換えることも可能であると考えおり、交流人口の増加をKGIとして設定しております。</p> <p>また、交流人口は、他都市やこれまでとの比較が可能となります県の「観光客動態調査」の数字を用いております。</p> <p>なお、この「観光客動態調査」は、通勤・通学などは含めておりません。</p> <p>⑨ 新たな産業団地の整備地につきましては、企業誘致及び産業集積可能性調査や産業団地の適地調査の結果に基づきまして、南部地域の鑄銭司において整備することとしております。</p> <p>また、企業誘致につきましては、現在も本市全体で進めており、第二次総合計画におきましても引き続き取り組んでまいります。</p> <p>⑩ 都市機能や教育機能等の集積につきましては、第二次総合計画におきましても引き続き取り組んでまいります。</p> <p>⑪ 阿東や徳地地域をはじめとする人口減少が進展する地域におきましては、移住・定住の施策を進めることとしており、ご提案の内容につきましては、具体的な事業を実施する際に参考にさせていただきます。</p> <p>⑫ ご指摘の内容は意見として承ります。</p> <p>⑬ 地域別計画は、地域が主体となって作成</p>
--	---	---

	<p>に、山口市のなかでの位置づけ、役割の記載がない。インフラ特に道路の整備が計上されていない。宮野地域は、県道204号の早期整備が必要。県立大学の跡地利用について、県立の技術系高校の新設、野田学園の移転、宮野中と大殿中の合併中学を提案したい。</p>	<p>したまちづくりの計画であり、地域づくりの方向性として、総合計画に記載し、位置づけたものです。また、ご提案の県立大学跡地利用につきましては、「安全安心のまち」プロジェクトにおきまして位置付けているところでございます。</p>
<p>意見者4</p>	<p>① 第二次山口市総合計画（素案）では、山口市の将来人口推計について、独自推計を採用されています。しかしながら、山口市立地適正化計画では、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計をもとに協議が進んでいると思います。異なる人口推計で、計画間の整合性は図られるのか。</p> <p>② 地域別計画のうち「吉敷地域」では、「オリンピック金メダリストの輩出」とありますが、まだ評価の固まっていない人物であり、今後も現在と同じ評価を得られる保証がないので、表現を削除してほしい。</p> <p>③ 施策3-1 防災対策の充実のうち、基本</p>	<p>① ご指摘のとおり、山口市立地適正化計画では、人口等の将来見通しは、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が公表している将来人口推計の値を使用しています。</p> <p>これは、国において、「人口等の将来見通しは（中略）社人研が公表している将来人口推計の値を採用すべきであり、仮に市町村が独自の人口推計を行うとしても、社人研の将来推計人口の値を参酌すべきである」とされていることによるものです。</p> <p>一方、総合計画では、社人研による将来推計人口の値ではなく、本市独自の人口推計を行っております。総合計画では、人口構造の変化を地域ごとに捉え、きめ細かな政策立案が必要となります。</p> <p>こうしたことから、社人研による本市全体の将来人口の推計を使用するのではなく、本市独自の人口推計を使用しているところでございます。</p> <p>なお、立地適正化計画の策定にあたっては、上位計画である総合計画との整合を図っております。</p> <p>② ご指摘の内容は意見として参考にいたします。</p> <p>③ 自主防災組織率は、単位自治会等を母体</p>

	<p>事業2において「自主防災組織率」をKPIに設定されている。最終目標が71%とのことだが、100%とすべきである。達成できそうな目標値を設定する項目ではないと考える。地域防災力を向上させないと、次の大災害で高齢者等の避難対応等で不測の事態を招く。</p>	<p>とした組織のうち、自主防災組織として認定した組織の割合で、自主防災組織の認定を受けることで、設置や運営に関する補助制度を利用することができます。</p> <p>一方で、認定は受けずに自主防災等の活動をされている自治会等もありますので、市として、自主防災組織の結成を促すことはあっても、必ずしも認定を求めているものではないと考えています。</p> <p>また、地域防災力の向上に関しましては、自主防災組織に限らず自治会等による活動も重要と考えていますので、外部団体や県等による「自助」「共助」の考え方をはじめとした防災研修等を、組織の形に関わらず市内全域で実施してきたところです。</p> <p>なお、成果指標の目標71%につきましては、より身近な単位自治会等における活動の目安として設定しています。自主防災組織認定を希望されない自治会等もございますので、組織率の状況をみながら、適宜見直しを行うこととしております。</p>
--	---	--

6. 参考資料

「第1回山口市総合計画策定協議会」、「第2回山口市総合計画策定協議会」で配布した「山口市のまちづくりの現状」を掲載予定（資料編1.～5.と重複する項目は除く）

* 1	山口市総合計画の枠組（現在）	1
* 2	第二次山口市総合計画の協議スケジュール（予定）	3
* 3	現在の山口市総合計画の主な指標と現状	5
* 4	人口と世帯数の推移	8
* 5	2-1 地域別人口の推移	9
* 6	市内2-1地域の概況	10
* 7	県内・県外の転出入状況（H22.10.1～H27.9.30）	11
* 8	交流人口の推移	12
* 9	就業人口の推移	13
* 10	広域経済・交流圏及び市内総生産の推移	14
* 11	将来人口推計	15
* 11-2	将来人口推計（15歳から64歳を生産年齢人口と仮定した場合）	
* 12	人口ピラミッド	17
* 13	2-1 地域別将来人口推計	18
* 14	山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口長期ビジョンとの比較	19
* 15	20～30代の女性人口の将来推計	20
* 16	合計特殊出生率の推移と人口長期ビジョンにおける目標値	21
* 17	これまでの振り返り	22
* 18	部門計画一覧表	29
* 19	山口市の地勢等	35
* 20	2-1 地域別 地域の概要、将来人口推計、市内・県内・県外の転出入状況	38
	20-1大殿、20-2白石、20-3湯田、20-4仁保、20-5小鯖、20-6大内、20-7宮野、20-8吉敷、 20-9平川、20-10大歳、20-11陶、20-12縛銭司、20-13名田島、20-14秋徳二島、20-15嘉川、 20-16佐山、20-17小郡、20-18秋徳、20-19阿知須、20-20徳地、20-21阿東	
* 21	山口市の財政状況	80
* 2	第二次総合計画の協議スケジュール（予定）（再掲）	88
* 22	都市の将来像（他市事例）	90

7. 用語集

後日掲載予定